

ISSN 1344 7920

名古屋大学医学部保健学科

教 育 ・ 研 究 年 報

第11卷



*Annual Report
of
Nagoya University School of Health Sciences*

2008

名古屋大学医学部保健学科

教育・研究年報

第十一卷（二〇〇八）

目 次

1 . 各専攻の教育・研究活動.....	1
2 . 公開講座.....	21
3 . 業績.....	27
看護学専攻.....	29
放射線技術科学専攻.....	61
検査技術科学専攻.....	81
理学療法学専攻.....	105
作業療法学専攻.....	119

1 . 各専攻の教育・研究活動
(平成19年度)

看護学専攻

看護学専攻における教育の目標は、学部教育では看護専門職を総合的に理解し、教育・指導できる幅広い教養と知識を身につけた人材の育成である。看護学教育内容においては看護教育学や看護研究法を充実し、将来を担う教育・研究者の育成を目指している。大学院医学系研究科博士前期課程では、専門看護師認定制度も視野にいれた高度専門職業人の育成、国際的視野で教育・研究できる実践活動の蓄積と修了後はさらに専門職として社会に寄与できる人材の育成を目標としている。さらに、博士後期課程では、教育・研究・実践活動で得た新規性を備えた創造的かつ先駆的な研究者の育成と様々な看護課題について多角的な問題解決法を看護モデルに基づいた視点と立場で解明できることを目指している。平成16年度より、国立大学法人における中部地区唯一の看護学博士前期・後期課程教育システムを備えた大学として、その責務を果たすために、看護学専攻における重点課題の明確化、看護学研究課題の共有化・独自性の確保、他専攻、他分野との合同研究推進（トータルヘルスプランナー育成や高度専門医療の実践家養成）に取り組んでいる。

1. 運営

1) 教員の構成

学部は4講座（基礎看護学、臨床看護学、発達看護学、地域・在宅看護学）で構成、運営している。教員数は基礎看護学講座10名、臨床看護学講座8名、発達看護学講座9名、地域・在宅看護学講座8名の35名である。教育内容や教育方法の向上及び研究の活性化は教員の責務である。教育・研究の円滑な推進のために看護学専攻会議（教授と助教授）は定例で月1回開催し、教育に関連する諸課題や学生指導に関する諸問題、予算措置などについて検討している。また、効果的な実習を行うために附属病院看護部との専門委員会を年数回、また、地域看護学領域、在宅看護学領域、助産学領域においても各実習施設との委員会を適宜開催、運営を行っている。

2. 教育活動

1) 学生について

平成19年3月、保健学科第5期生の卒業式が行われ、看護学専攻卒業生 名が社会人として巣立っていき、同年4月、新入生83名と編入生10名が入学した。更に、医学系研究科前期課程21名（基礎看護学分野9名、臨床看護学分野5名、発達看護学分野7名）が入学し、平成20年3月には20名の修了生を送り出した。同時に平成19年度後期課程7名（健康障害看護学分野3名、健康発達看護学分野4名）入学した。

2) ガイダンスについて

平成19年4月3～9日に、学部新入生（1年、編入生）および新2～4年生に対してガイダンスを行った。ガイダンスの内容は学習関係、学生生活および諸手続、図書・情報関係などである。同様に、大学院前期・後期新入生に対しては入学式後に学修関係、図書・情報関係についてガイダンスを行い、その後教員や在学生を交えて意見交換会を行った。

3) 新入生合宿研修

新入生に対する合宿研修は4月21日（土）～22日（日）の期間に愛知県青年の家（岡崎市）において実施し、新1年生、編入3年生、上級生、合宿担当教員等が参加した。合宿を契機に教員や上級生と交流をもち、看護学に関する事柄や学生生活での内容について意見交換や質疑応答を行った。

4) 感染対策

看護学専攻として専攻内感染対策委員を中心に学生ガイダンスをはじめとして、感染予防における検査やワクチン接種等の指導・実践を行っている。また、実習における感染予防対策についても、看護部や病院の感染対策窓口と有機的連携のもと、感染予防に努めている。

5) 博士前期課程（平成19年4月～平成20年3月まで）

平成19年度は20名が修士論文を提出し、学位を取得した。以下に学生名と論文題目を記す。

がん看護 CNS 教育においては平成19年3月に看護系大学協議会からコース認可され、臨床看護学分野の教員が中

心になり教育を推進している。

氏名	修士論文テーマ
田中 裕一	精神科看護師の「怒りの感情」とその対処に関する研究
三上 勇気	精神科に勤務する看護師の抑うつと怒り感情との関連および、その認知的特徴についての検討
杉田 豊子	臨床看護師の感情労働の課題 ー怒り喚起場面における対処の分析を通してー
井上 佳代	ホスピスケア認定看護師の役割認識の構造に関する検討
藤田 紀見	終末期在宅がん患者に対する訪問看護師の専門的機能
牧野 雅子	喉頭摘出者の代用音声の評価とコミュニケーションに関する研究
稲泉 朋子	腰部温電法による温熱刺激と肛門管上部の粘膜および肛門周囲の皮膚血流との関連
野村 雅子	ICNFP(R)看護実践国際分類を用いた看護行為の記録の可能性および問題に関する検討
今磯 純子	人工呼吸器装着のALS在宅療養者に対する気管内吸引実施能力に関する研究
高田 真澄	Calvanic Vestibular Stimulation を与えた際の動揺図の検討
平良 美栄子	看護師のフィジカルアセスメント看護実践とその影響因子との関連
福井 完児	心拍数の変化によるヒトが感じる時間の長さについて
松永 信美	1歳児を持つ母親の事故防止行動の特徴と過去の経験・周囲のサポートとの関係
佐合 真紀	食物アレルギー反応のある幼児を養育する母親の食生活管理における負担・養育態度・QOLの 関係
針ヶ谷 美智子	妊娠期における夫婦、の性教育を取り入れた親教育プログラムに関する研究
橋本 妙子	助産学実習における妊娠期の親準備ケアの認識に関する研究
山本 由美子	出生前診断における女性の意思決定に関する助産師によるサポート活動と役割意識の研究
廣瀬 允美	妊娠中期の腰痛と前屈動作時の筋電図波形 ベルト装着の腰痛への効果ー
藤丸 郁代	男性販売労働者の抑うつ症状と労働負担との関連
糟谷 歩	男性労働者におけるBMIと睡眠時間の関連について

6) 博士後期課程(平成19年4月~平成20年3月まで)

博士後期課程完成に向けて、院生が研究に取り組んでいる。平成20年3月には2期生2名が修了している。

氏名	博士論文テーマ
小松 美砂	エビデンスに基づく骨折・骨粗鬆症予防に関する研究
西谷 直子	Relationship of BMI increase to eating behavior and job stress in a 2-ysar cohort study of non-obese male Japanese workers (日本人の非肥満男性労働者における2年間のコホート研究によるBMI増加と食行動及び職場ストレスとの関連)

3. 研究活動

各教員が現在取り組んでいる研究課題の一部を紹介する。

《基礎看護学》

太田勝正 教授：患者情報の共有における情報プライバシーの問題

河津芳子 教授：教育評価に関する研究

後藤節子 教授：周産期の精神的健康支援に関する文理複合研究
不定愁訴をきたす病態への生理学的アプローチ

山内豊明 教授：看護におけるフィジカルアセスメント教育に関するアウトカム評価研究
医療チューブ類事故防止対策に関する学際的探索研究
医療事故防止のためのヒヤリ・ハット事例の定量的分析に関する研究

難病訪問看護実践に必要とされるアセスメント技能に関する研究

堀 容子 准 教 授：笑いが心身に及ぼす影響に関する研究、在宅における家族介護者の心身の健康に関する研究、スーパーマーケットにおけるヘルスプロモーション活動に関する研究

河 野 由 理 准 教 授：精神科訪問看護の技術と評価に関する研究
看護師のメンタルヘルスに関する研究

藤 井 徹 也 准 教 授：看護技術教育における専門基礎知識に関する研究
看護技術の検証に関する研究

新 實 夕 香 理 助 教：患者情報プライバシーに関する研究

岡 本 明 子 助 教：途上国のへき地の看護師に対するフィジカルアセスメント教育の検討に関する調査研究

永 谷 幸 子 助 教：体位変換時の判断と実施方法に関する研究

《臨床看護学》

安 藤 詳 子 教 授：緩和ケア病棟・緩和チーム・在宅ホスピスに関連する研究、がんの集学的治療及び高度先端医療における看護に関連する研究

池 松 裕 子 教 授：心タンポナーデ患者の Dysphoria

水 溪 雅 子 教 授：看護師の看護活動における感情に関する研究
総合失調症の2人の息子を持つ家族システム面接の試みと課題

横 内 光 子 准 教 授：救急看護、周手術期看護、災害看護に関するケアの方法論、医療システムの分析

国 府 浩 子 准 教 授：がん患者の意思決定支援に関する研究
乳がん看護領域に関する研究

澤 井 美 穂 助 教：ホスピスケアに関連する研究

竹 井 留 美 助 教：ストーマ保有者とその家族に関する研究

永 井 邦 芳 助 教：精神障がい者家族に関する研究

《発達看護学》

浅 野 み どり 教 授：アレルギーをもつ子どもと家族の QOL 向上（食物アレルギー，AD）
予防的育児支援に関する研究（広汎性発達障害の子どもを養育する家族への育児ライフスキルの促進，多胎児をもつ家族への支援）

鈴 木 和 代 教 授：ライフサイクルにおける性教育に関する研究

奈 良 間 美 保 教 授：家族を主体とした医療者との協働による小児在宅ケアプランの実践とガイドライン作成

立 岡 弓 子 准 教 授：女性のドメスティックバイオレンスに関する研究

高 橋 由 紀 助 教：出生直後の気道吸引が健康な正期産児に及ぼす影響に関する研究

清 水 三 紀 子 助 教：妊産婦のエンパワーメントを刺激する出産準備教育に関する研究

村 上 泰 子 助 教：小児がんの子ども・家族と看護師の関係性の研究

山 口 香 苗 助 教：断乳が母子に及ぼす影響

《地域・在宅看護学》

梶 田 悦 子 教 授：地域高齢者の大腿骨頸部骨折予防のための地域看護モデルの構築
エビデンスに基づいた骨粗鬆症予防対策の有効性評価

榊 原 久 孝 教 授：生活習慣病予防支援プログラムの開発
肥満と産業ストレスとに関する研究
生活習慣病予防の保健活動に関する研究

平 井 眞 理 教 授：在宅医療におけるインターネット活用に関する研究
- インターネット対応心電計による伝送心電図等の応用 -

前 川 厚 子 教 授：ストーマ保有者の生きる意欲に及ぼす WOC 看護の国際比較研究
小児炎症性腸疾患の発症に関連する因子の疫学的検討

吉 田 久 美 子 助 教 授：子ども虐待予防ネットワーク構築の検討

桜井志保美 助 教：在宅における主介護者の睡眠と循環器機能に関する研究

志澤美保 助 教：子どもの生活習慣病と保健対策に関する研究

伊藤尚子 助 教：地域高齢者の転倒予防に関する研究

4．対外的な活動

1) 附属病院看護部との関係

教員による臨床指導者研修講師を派遣し、有機的な連携をはかっている。

ユニフィケーション委員会

看護の質の向上推進のため、看護部との円滑な協力関係をはかることを目的に、主任および基礎看護、臨床看護、発達看護、地域在宅看護各講座長、看護部からは看護部長、教育担当副看護部長、実習調整師長等が中心となり、隔月1回程度の委員会をもっている。

主な内容は病院における効果的な実習体制や方法、学生実習に対する感染対策、就職に関連すること等である。

実習委員会

学部における実習全般に関する事項を取り扱い、学内外の調整を行っている。また、感染対策委員と協力して、学生の感染対策を強化するとともに、「事故発生時の対応経路」「事故、ヒヤリ・ハット報告書」の検討などを進め、事故対策の整備をすすめた。最近では個人情報保護に関連して検討を加えている。

2) 日本看護系大学協議会開催の研修会への出席

日本看護系協議会総会、看護教育ワークショップに看護教員が持ち回りで参加した。

6．今後に向けての課題

1) 名古屋大学法人の一員として保健学科看護学専攻の果たす役割と自覚を新たにする。

2) 看護学博士前期・後期課程一貫教育の下に、新たな時代にふさわしい人材の育成と名古屋大学ブランドにおける新規性、独自性に富む研究成果を生み出す。

3) そのためには、看護学専攻全体が志を一つとして教育研究体制の大幅な改善を図っていきたい。

(主任：前川厚子)

放射線技術科学専攻

はじめに

放射線技術科学専攻、並びに、大学院医学系研究科・医療技術学専攻・医用量子科学分野における教育と研究の目標は、医療現場で使われている放射線を利用した種々の医療機器の原理や特性をよく理解し、その能力を最大限引き出すとともに、診断画像からの確かな情報を取り出したり、治療のため人体に的確に放射線を照射したり、また、医療放射線が人体に及ぼすかも知れない影響についての幅広い知識と応用力、専門知識ばかりでなく豊かな人間性を合わせ持つ人材の育成、また、これらの人々を指導していく人材の育成である。一方、研究活動を通しては、将来、医療技術者、研究者、教育者として、日進月歩する医療分野の進歩を理解し、それに適応できるばかりでなく、自ら医療の進歩を創生することが出来る科学者の育成を教育・研究の目標としている。

1. 運営

放射線技術科学専攻（大学院医学系研究科・医療技術学専攻・医用量子科学分野を含む）は、基礎放射線技術学講座と医用放射線技術学講座の2つの講座より構成されている。教育・研究の目標を達成するためには講座単位ではなく専攻全体としての運営が必要であり、教育に関するさまざまな問題、教育研究費の予算配分等の運営は、毎月1回の専攻会議、並びに専攻教授会の合議に基づいて行われている。

2. 教育活動

学部教育：

平成19年度の新入学生は、新1年生が41名、3年次編入者は5名であった。2年生は44名、3年生は45名（編入生5名を含む）、4年生は46名（編入生4名を含む）で、4年生は12名の教員のもと、それぞれの研究室で卒業研究を行った。また、3年生以下の学生も、12名の教員が指導教員となり、勉学、生活の両面で指導を行っている。

診療放射線技師国家試験は卒業生41名が受験し、そのうち40名（97.6%）が合格した。編入生を含む卒業生41名の進路は、医療機関に27名、企業に5名、その他に1名、大学院進学が8名であった。

学部教育は、専任教員による授業の他に、非常勤講師を招いた特別講義、臨床実習、臨床現場の見学（名古屋大学医学部附属病院をはじめ、学生の出身地や学生の希望就職病院など）、放射線管理に関連して原子力発電所の見学（中部電力浜岡原子力発電所）など、将来、医療あるいは生産現場で役に立つと思われる教育活動が行われている。

大学院教育：

平成14年に大学院医学系研究科・医療技術学専攻が創設されたが、平成19年度は、博士課程前期課程1年10名、2年10名、博士課程後期課程1年3名、2年7名、3年6名の計36名であった。前期課程の最終年度にあたる学生9名が修士論文を提出し、修士の学位を取得した。以下、学生名と修士論文題目を記す。

浅井久美子	乳腺超音波検査における事前情報の診断プロセスに及ぼす影響
奥平訓康	ウェーブレット解析を用いたライナックグラフィの画質改善法の構築
笹田裕也	X線CTの線量指標測定に影響を及ぼす諸要因の検討
杉浦明弘	教育機関におけるPACSを用いた実習環境の構築に関する研究
捩垣智博	治療用フィルムによる線量分布測定の基礎的検討
旗道子	医療用および汎用液晶モニタの物理特性に関する研究
人見理香	特異点検出法に基づくCT画像の雑音除去法に関する研究
松本麻衣子	CT画像における雑音評価法に関する研究
山崎明日美	位相コントラストマンモグラフィ（PCM）における画質特性の物理的解析

後期課程の最終学年にあたる6名のうち、2名は博士論文を提出し、博士の学位を取得した。以下、学生名と博士

論文題目を記す。

- 下 郷 智 弘 非線形計画最適化法 BFGS 準 Newton 法を用いた、放射線治療装置から出力される高エネルギー
ックス線スペクトルの算出に関する研究
- 服 部 真 澄 頭部 CT 画像を用いた側頭葉内側部委縮の自動計測法の開発

3. 研究活動

当専攻の教員は幅広い専門分野を研究領域としているため、個々の教員が独自の研究活動を行っている。一部にグループによる研究活動、専攻以外との共同の研究活動も行っている。以下には各教員の研究領域を示し、外部と協力して実施している研究活動の一部を示す。

- 青 山 隆 彦 教 授：医療放射線による被ばく線量計測システムの開発。医療放射線による被ばく線量の測定・評価。
- 池 田 充 准教授：モニタ診断精度に対するモニタの解像度の影響に関する研究。胸部単純 X 線画像における結節の検出能に対する「解剖学的雑音」の影響に関する研究。コンピュータ診断支援システムに対する画像撮影系の特性と雑音が与える影響に関する研究。ROC 解析の手法に関する研究。
- 石 樽 信 人 教 授：PET 施設における職業被ばくの実態とその低減法。内部被ばく線量評価手法の開発：(a)体外計測装置の校正方法、(b)摂取された放射性核種の体内挙動の計算シミュレーション。
- 伊 藤 茂 樹 教 授：マルチスライス CT を用いた画像診断技法の開発とその臨床応用。腹部（特に肝胆膵領域）の画像診断。胸部（特に肺癌）の画像診断。心血管系の画像診断。vascular interventional radiology.
- 今 井 國 治 助教（学内講師）：数理統計学及び情報理論を用いた CAD のための画質評価法の構築。高電圧下における誘電・絶縁材料の放電劣化・破壊現象に関する研究。
- 緒 方 良 至 助 教：水素同位体分離に関する研究。環境放射能の測定 - 特に環境レベルのトリチウムの測定に関する研究。放射線取扱施設の安全管理に関する研究。
- 小 幡 康 範 教 授：原体照射法。生物学的線量評価法・治療領域線量測定法
- 川 浦 稚 代 助教（学内講師）：人体ファントム計測システムを用いた医療被ばくの測定・評価。放射線が生体へ及ぼす影響に関する研究。線虫の動態解析システムの開発。線虫を用いた放射線の生物影響評価に関する研究。
- 小 寺 吉 衛 教 授：医用画像の評価法の開発。検出器、表示系を含む医用画像の解析・評価。画質の向上と被曝線量の低減を目的としたデジタル画像処理。3次元画像表示システムの開発。
- 小 林 嘉 雄 准教授：コンピュータ画像診断支援。
- 小 山 修 司 講 師：診断領域 X 線の計測法の研究。医学における知能情報学の応用。X 線 CT の患者・術者の被ばく線量計測。診断領域 X 線のエネルギー計測。マンモグラフィにおける線量計測。
- 島 本 佳 寿 広 教 授：乳腺・甲状腺の画像診断における、特に超音波による悪性腫瘍の診断に関する研究。フィルムレス読影の診断能に与える因子を明らかにし、診断能に悪影響を与えないモニタの基準、読影環境、端末の操作性等を確立する研究。画像診断をすすめる際の診断論理過程を明らかにするとともに、診断医の判断の再現性と一致度を解析することにより、その診断論理の妥当性を検証する研究。
- 田 伏 勝 義 教 授：放射線治療における線量測定。放射線治療の最適照射法・チェレンコフ光の測定への影響。モンテカルロシミュレーションによる線量計算。
- 津 坂 昌 利 准教授：診断用 X 線スペクトル測定とその応用に関する研究。IT 活用による医療技術者教育システムの開発。高速画像ネットワークの技術開発と応用。X 線 CT の性能評価に関する研究。CT 画像を用いた診断支援システムの開発。暗号化通信技術の遠隔医療への応用。

成田 憲彦 助 手：骨密度測定に関する研究。放射線被ばく線量評価に関する研究。

本間 光彦 助 教：放射線治療領域における放射線計測法に関する研究。CRの応用利用法。人体解剖実習前のX線撮影に関する研究。放射線カウンセリング。

前田 尚利 教 授：医用画像観察下における医療従事者の視覚特性の解析とこれを応用した画像評価法の構築。核医学的手法を用いた心臓の収縮の解析。正常および異常な収縮運動をする心臓のファントムの作成。

4. 対外的な、または社会に関わりある活動

- 1) 国際放射線防護委員会(ICRP)第2専門委員会委員および内部被ばく線量評価に関するタスクグループ「INDOS」委員として、ベルリン(独)でのICRP第2専門委員会会議、フロリダ(米)でのINDOS 2007年会議に出席する等、放射線防護に関する新しい基本 勧告の策定ならびに第2専門委員会の刊行物の原稿執筆に専門家の立場から参画した(石樽)。
- 2) 経済産業省原子力安全・保安院総合資源エネルギー調査会臨時委員として、経済産業大臣より当調査会への「今後の原子力安全確保及び電力の保安のあり方」に関する諮問についての審議に参画した(石樽)。
- 3) 放射線医学総合研究所物理学的線量評価ネットワーク会議委員として、原子力災害・放射線被ばく事故時における国としての迅速な線量評価体制の整備および技術上の指針に関する審議に内部被ばく線量評価の専門家の立場から参画した(石樽)。
- 4) 文部科学省放射線審議会委員として、関係府省における放射線障害の防止に関する技術的基準の斉一化に関する審議に専門家の立場から参画した(石樽)。
- 5) 内閣府原子力安全委員会専門委員として、原子力の安全確保に関する専門の事項の審議に専門家の立場から参画した(石樽)。
- 6) 国際原子力機関(IAEA)における教育訓練を通して医学物理士の強化を図るプロジェクトの「診断医学物理士のための能力開発に関する運営会議」に専門家として参画し、平成19年10月29日から11月2日までフィリピン、スービック市で開催された会議に出席した(小寺)。
- 7) 社団法人日本放射線技術学会会長として春(横浜市)と秋(名古屋市)の学会大会ならびに3回の市民公開シンポジウム(防護関係：千葉市、脳卒中関係：京都市、心筋梗塞：東京都)などを企画、開催した(小寺)。
- 8) 有限責任中間法人日本ラジオロジー協会(JRC)の副理事長として、横浜市で開催されたJRC2007の企画・運営に関わった(小寺)。
- 9) 社団法人日本放射線技術学会 第35回秋季学術大会(名古屋市)を大会長として企画、開催した(津坂)。
- 10) 社団法人日本生体医工学会の実施する第2種ME技術実力検定試験・試験委員長として、試験問題の作成、試験を実施した(津坂)。
- 11) 有限責任中間法人日本医療情報学会の実施する医療情報技師検定試験において、試験委員として問題作成と試験の運用を行った(津坂)。
- 12) 平成19年8月17日(金)、愛知・岐阜・三重地区エネルギー・環境・放射線セミナー(東海市)で、セミナーの実行委員として企画・運営に関わるとともに、セミナーでの実験(霧箱、はかる君)の講師を担当した(緒方)。
- 13) 平成19年5月25日(金)、日本アイソトープ協会主催の放射線取扱主任者定期講習で非密封アイソトープの安全取扱に関する課目の講義を担当した(緒方)。

(主任：小幡康範)

検査技術科学専攻・病態解析分野

本専攻は、高度に専門化した医療に対応できる基礎力と応用力を備え、かつ医療人として不可欠な倫理観に裏付けられた豊かな人間性を備えた臨床検査技師、さらに検査技術科学を学問として追及する教育・研究者を育成することを目的としている。病態解析分野は、環境病因解析学、病態化学解析学、病因病態解析学、生体生理解析学、形態情報解析学、分子病態解析学の6領域からなり、先端的の研究、学際的な病態解析、技術開発を進めるとともに、先端医学につながる病態解析学研究を遂行できる能力の育成、指導的立場に立つのに必要な高度な専門知識・技術を有する人材を育成することを目的としている。

1. 学部構成・運営

本専攻は2つの大講座（基礎検査学講座と病因・病態検査学講座）によって構成されているが、講座の壁をなくし、専攻が一丸となって運営している。専攻の運営は全教員が参加する専攻会議の決定に従って行われた。専攻会議は第1と第2水曜日の12時および第4水曜日の17時から開催された。

2. 教育

- 1) 4月に第10期の入学生41名（推薦入学生15名、前期日程入学生23名、後期日程入学生2名、私費留学生1名）を迎えた。
- 2) 4月の新入生ガイダンスには専攻主任、学生生活委員、教育委員、教員と1年生全員が参加し、専攻の教育と学生生活のガイダンス、教員の紹介、指導教員の紹介、学生の自己紹介などが行われた。
- 3) 4月の第8期編入生（入学生5名）ガイダンスには専攻主任、学生生活委員、教育委員が教育と学生生活、教員紹介、研究室紹介、研究指導教員などについて説明した。
- 4) 4月には検査技術科学専攻の2年生が中心になって教員と共に新入生歓迎会を大幸厚生会館にて開催した。
- 5) 8月31日に第6回大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学分野（博士前期課程）の入学試験を実施し、14名の合格者を決定した。また、9月1日には第5回の大学院同（博士後期課程）の入学試験を実施し、4名の合格者を決定した。
- 6) 8月に第9回の3年次編入試験を行い、5名の合格者を決定した。
- 7) 4月に第6期生の臨地実習を充実させることを目的に医学部附属病院検査部の教員および技師との合同会議（臨床検査専門委員会）を開催した。
- 8) 平成20年3月には本専攻の第7期生の卒業生として、編入生を含め44名を社会に輩出した。そのうち11名が大学院博士前期課程へ進学し、就職希望の33名は主に国公立大学病院、公私立病院等の検査部に就職し、就職率は100%であった。
- 9) 第7期生の第54回臨床検査技師国家試験（平成20年2月29日）の準備として全教員による教育指導と3回の模擬試験を実施した。7期生の第54回臨床検査技師国家試験合格率は85%であった。

3. 研究

本専攻では4月5日に15名の博士前期課程第6期生を迎えた。第4期博士後期課程に5名を迎えた。9月16日に4名のD3院生による第1回大学院医療技術学専攻病態解析学分野博士後期課程研究発表会（予備審査会）を行った。平成20年1月13日に第1回の病態解析学分野博士前期課程研究発表会（いわゆる修論発表会）を開催し、前期課程・第4期生21名中20名が発表した（なお、1名の社会人大学院生は病院職務の関係で発表できなかった）。学部関係では11月23日に第7期生による卒業研究発表が開催された。以下に各講座における卒業研究発表内容を示す。

【免疫・微生物系（病因病態解析学）】

担当教員：長瀬文彦、川村久美子

1. MRSA 全国サーベイランス株を対象とした消毒薬耐性遺伝子の保有調
2. methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* (MRSA) における薬剤耐性機構, small colony variants の解析
3. LPS によって骨髄系樹状細胞に誘導される indoleamine 2,3 dioxygenase とヘムオキシゲナーゼ - 1 発現の二コ

チナミドによる相反的な調節

4. LPS によって骨髄系樹状細胞に誘導される indoleamine 2,3 - dioxygenase 発現のヘムオキシゲナーゼ - 1 誘導剤と阻害剤による調節
5. LPS によって骨髄系樹状細胞に誘導される indoleamine 2,3 - dioxygenase 発現のヘムオキシゲナーゼ - 1 発現のトリプトファン代謝産物と抗酸化剤による調節

【病理系（形態情報解析学）】

担当教員：横井豊治、川部 勤、橋本克訓

1. 医療における細胞診の意義とあり方に関する細胞検査士の認識についての調査
2. 大腸がんの形態計測的、免疫組織化学的、分子病理学的解析

【生理系（生体生理解析学）】

担当教員：古池保雄、永田浩三、野田明子

1. 食塩感受性高血圧ラットにおけるロサルタンとヒドロクロロチアジドの血圧及び臓器障害に対する効果の検討
2. テルミサルタンは食塩感受性高血圧ラットにおいて新肥大及び心筋繊維化を抑制する：PPAR γ の役割
3. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群における CPAP 療法中の睡眠、覚醒リズム評価
4. 健常人における睡眠時の自立神経活動解析
5. 睡眠不足による血管機能への影響
6. 熟成にんにくが心血管機能に及ぼす影響
7. 2D speckle tracking 法による肥大型心筋症における左心機能評価
8. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群における運動負荷心エコー法の有用性

【血液系（分子病態解析学）】

担当教員：村手隆、小嶋哲人、高木明

1. ホルポールエステル TPA は K562細胞において sphingosine-1-phosphate lyase 発現を上昇させる。
2. Growth associated protein-43の発現調節機序の解析 ~ sphingosinekinase 1 が与える影響を中心に
3. von Willebrand 病事例の遺伝子解析
4. 17 β -Estradiol が *PROS1* 遺伝子の転写活性に及ぼす影響
5. 女性血友病 A 症例の分子病態解析
6. 先天性第 1 因子欠損症事例の遺伝子解析

【分析系（病態化学解析学・環境病因解析学）】

担当教員：高木健三、涌澤伸哉、高木健次、近藤高明、上山純

1. ミリセチンの抗アレルギー作用における heme oxygenase (HO)-1 の役割
2. ケンフェロールの抗アレルギー作用における heme oxygenase (HO)-1 の役割
3. 肥満細胞におけるケルセチンの heme oxygenase (HO)-1 活性化抑制機序の検討
4. グレリンによる肥満細胞活性化機序の検討
5. 健常成人集団での好氣的運動負荷と血管内皮由来 NO 濃度との関連
6. 若年健常人で strain-gauge plethysmograph による前腕血流量測定結果の個人内変動
7. 健常成人集団で血中 polyamine がメタボリック危険因子に与える影響
8. 健常成人集団での血管内皮由来一酸化窒素の血清中と尿中の値の相関と血清 carotenoid との関連性
9. 新生児ヘモクロマトーシス 1 症例の遺伝子解析の試み
10. P-glycoprotein の発現におけるドキシソルピシンと茶葉カテキン EGCG の相互作用
11. 生活習慣病モデルラット SHR/NDmcr-cp の肝臓における薬物トランスポーターの解析
12. 生活習慣病モデルラット SHR/NDmcr-cp の肝臓における protein kinase C の解析
13. エンドトキシンがおよぼす無アルブミン血症モデル動物の肝薬物代謝酵素発現及び薬物輸送担体機能への影響
14. 有機リン剤系殺虫剤暴露評価における血漿中 β - グルクロニダーゼ活性測定の有用性の検討
15. 衛生害虫防除作業者の殺虫剤散布とアレルギー様症状との関連

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

A) 国際交流

小嶋哲人教授は、7月に第21回国際血栓止血学会(Geneva, Switzerland)において2題の保健学科での研究成果の発表を含め、8演題を発表した。

横井豊治教授は、10月に、10th Korean-Japanese Joint Conference of International Academy of Pathology (Jeju, Korea)に参加し口頭発表を行った。また、5月に、5th International Academy of Pathology Asia Pacific Meeting (Singapore, Singapore)に参加し、筆頭演者としてポスター発表を行った。

永田浩三准教授は10月にMeet the Specialist in Nagoyaにおいて海外演者による講演の座長を務めた。11月にAmerican Heart Association, Scientific Sessions 2007(Orlando)に共同演者として7演題を発表した。

川部 勤准教授は5月に米国胸部疾患学会(American Lung Association/American Thoracic Society San Francisco)で発表した。

上山純助教は9月に北京での第七回国際職業・環境衛生バイオロジカルモニタリングシンポジウムで発表した。またKim Heon教授(国立忠北大学;韓国)および上島通浩准教授(名古屋大学医学部衛生学教室)との共同研究で韓国の農業従事者に対する労働衛生的な指導および研究に貢献し、韓国側共同研究グループの研究者に測定法の技術指導を行った。

B) 大学間交流 国立大学臨床検査技師教育協議会 -

平成19年度は信州大学医学部保健学科を会長校として、6月8日(金)に第44回国立大学臨床検査技師教育協議会が開催された(出席者:古池教授)。主な議題:1)役員の選出(名古屋大学は会計監事校に選出)2)平成19年度予算案、3)学生に対する感染予防策に関するアンケート調査の解析結果、4)ワクチン接種による学生の感染対策、5)国家試験問題基準検討委員会報告、6)e-learningの導入について審議した。

承合事項として、1)大学院教育の学部教育に及ぼす影響、2)大学院入学定員と実際の入学者数(名古屋大学)3)学生のための傷害・賠償保険の加入状況と適応例、4)協議会簡素化、などを話し合った。

C) 地域との連携

古池保雄教授は、野田助手とともに平成11年から睡眠外来を継続し、学会認定技師の資格取得を可能にすべく、本学の検査技術科学の教育研究の向上への努力を継続している。また、東海地区の検査技師技術向上を目指して脳波検討会(中部脳波検討会)を定期的開催し、さらに、「名古屋臨床脳波検討会」、「東海パーキンソン病研究会」、「自律神経懇話会」などの研究会継続に努力している。

高木健三教授は、愛知・岐阜在宅酸素療法研究会の会長、東海喘息研究会および愛知成人喘息研究会の代表世話人として活動した。また、日本アレルギー協会理事(東海支部長)として、東海4県のアレルギー週間行事を統括するなど地域社会への啓発活動を推進している。さらに、第80回日本薬理学会年會開催記念市民公開講座「喘息とつきあっていくために」の座長をつとめた。

伊藤秀郎教授は、平成19年度も名古屋市内の総合病院微生物検査室との共同研究で院内感染起因菌の薬剤耐性遺伝子の保有調査と消毒薬耐性遺伝子について調査研究した。その成果は院内感染防止対策に有効に利用された。

村手 隆教授は、愛知県特定疾患認定審査会委員として申請書類の審査に関わった。

横井豊治教授は、専門である呼吸器疾患の病理診断学の立場から、呼吸器疾患を中心に病理診断のコンサルテーションを行い呼吸器領域の診療・研究に貢献した。また、第5回名古屋呼吸器領域卒後専門教育セミナーにおいて、びまん性肺疾患の病理について講演した。また、日本臨床細胞学会東海連合会会計幹事として運営に携わり、6月に同会主催の細胞診基礎講習会において呼吸器細胞診の講義を、10月、11月に同会主催の細胞診模擬試験および実技講習会の世話役ならびに講師として臨床検査技師、細胞検査士の育成、生涯教育に貢献した。

小嶋哲人教授は、医師、臨床検査技師を対象とする東海血栓症研究会、東海血栓症セミナーの世話人として活動した。また、碧南市医師会医学研究会および検査技師を主な対象者とする血液ネット臨床セミナーにて講演し、愛知県特定疾患研究協議会では血液凝固異常症調査研究を行った。さらに、日本臨床血液学会の中部地区幹事として活動した。

高木健次准教授は、愛知県下にある殺虫剤などの薬剤を取り扱う作業者集団の薬剤曝露による健康影響の調査研究

を2月および8月に行った。問診と尿中の有機リンおよびピレスロイド代謝物を測定により曝露評価を行った。

近藤高明准教授は、犬山市健康プラン推進委員会の学識者委員ならびに健康プラン10年計画の評価委員長として中間評価をとりまとめた。愛知県職員の健康管理アドバイザーとして2回の講演を行った。愛知県内の防虫作業従事者を対象とした撒布作業に関連する特殊検診に2月と8月に調査員として参加した。北海道八雲町での生活習慣病リスク調査のフィールド調査に参加し、結果を学術的にまとめるとともに地域住民の健康増進に還元した。財団法人循環器病研究振興財団が研究成果等普及啓発事業として東久留米市での一般市民向けの研究成果発表会にシンポジストとして発表を行った。学内では、大幸医療センターで自由診療外来を担当し、ピロリ菌検査希望者に対する除菌治療を行い、除菌薬代謝酵素に関連する遺伝子多型の判定結果を用いた除菌効果の向上に努めた。ライフトピア研究会には委員として出席し、ライフトピア連携地域支援研究センター構想の実現に向けて、大幸地区寄付講座や愛知県健康福祉部からの代表委員と検討を重ねた。市民向けのライフトピアシンポジウム「高齢期の生活習慣病」で講演を行った。

永田浩三准教授は10月に第24回日本心電学会学術集会の学術諮問委員会提言シンポジウムにおいて抗アルドステロン薬の心筋保護効果及び抗不整脈効果の分子メカニズムに関する講演を行った。同月にHypertension meeting 2007において「肥大心の病態」と題する特別講演を行うとともに座談会のアドバイザーを務めた。同じく同月の「Meet the Specialist in Nagoya」講演会において海外演者の特別講演の座長を務めた。平成20年2月には第110回健康運動指導士養成講習会（愛知会場）において実習を担当した。同月に第3回名大臨床検査フォーラムにおいて臨床検査技師を対象として「日本人の高血圧に最適な治療法を求めて」の講演を行った。

川部 勤准教授は文部科学省先端融合領域イノベーション創出拠点「分析・診断医工学による予防早期医療の創成」に研究員として活動した。アレルギー診断用ペプチドアレイを作成するチームの医学部側代表として医療のニーズと基礎免疫学的な考え方を工業製品に結び付けるための模索を行った。3月に第4回名古屋呼吸器領域卒後専門教育セミナーのプログラム委員として、喘息・アレルギー領域のセミナーを企画実行した。4月に名古屋市環境局公害対策部が開催した療養指導保健師等業務研修会にて療養指導保健師を中心とする名古屋市職員に「COPDの病態生理と予防について」と題して講演した。東海分子呼吸器研究会、東海喘息研究会、呼吸器疾患研究会等の世話人として呼吸器・アレルギー疾患の基礎ならびに臨床研究の活性化に尽力した。

（主任：村手 隆）

理学療法学専攻

1) 前文

本専攻の教育・研究目標は、高度医療・技術を支える豊かな人間性の形成を基本とし、理学療法に必要な基礎・臨床医学的知識を身体機能と障害の観点から再編して体系化し、機能と障害を生体の情報として分析・評価し、それらの回復や予防への科学的関連づけを可能にすることである。これにより新たな理学療法を理論的に構築し、より高度な知識と技術を身に付けた理学療法士を養成するとともに、最近必要性が高まりつつある健康医科学領域への道を拓き、さらに高齢社会に対応できるよう地域や高齢者に対する理学療法を強化する。さらには、理学療法研究を通じて理学療法学を実証的学問として確立し、医療の場、教育の場、地域において指導的役割を果たすことができる教育・研究者の養成を目指すものである。

本専攻は、東海地区では唯一の博士課程を有する理学療法士の教育・研究機関である。博士課程の専攻はリハビリテーション療法学専攻であり前期と後期課程からなる。前期課程は理学療法学分野と作業療法学分野に分かれるが、後期課程は2分野には分かれずリハビリテーション療法学専攻のみである。前期、後期課程とも大学院生が活発な研究活動を展開している。

2) 運営

本専攻は基礎理学療法学講座と病態理学療法学講座の2大講座から構成されているが、専攻運営は、講座の壁をはずし全教員（総数10名）による専攻会議（毎週水曜日12時から開催）における協議・決定にしたいが進められている。さらに、学部運営では関係の深い作業療法学専攻との両専攻会議（毎月第3水曜日）を行い、また大学院の運営に関しては関係教員によるリハビリテーション療法学教員会議（毎月第1水曜日）を行っている。

(1) 基礎理学療法学講座：理学療法研究の基礎となる知識や技術を開発・発展させるための生体の構造と機能を関連づけた体系的な基礎教育、身体運動からみた人体機能の体系的教育、機能と障害に重点を置いた臨床医学実践の基盤となるような基礎（医学）教育、機能異常や障害を病態として把握し的確な分析・評価能力を培う教育を実践しつつ、それらを裏付けるための研究を推進している。

(2) 病態理学療法学講座：理学療法の実践に必要な科学的知識と技術を発展させるため、経験や感覚に頼りかちな生体反応の認識を生体情報として定量的に評価すること、障害を機能的に分析し理学療法の適用との理論的関連を追求すること、またそれらを通して障害からの回復のための治療法・障害の予防方略などに科学性を持たせることを目標とし教育・研究を行っている。

これらの教育・研究を実践するため、全教員が基礎的テーマと臨床的テーマをできるだけ合わせ持つようにして、研究を推し進めている。

3) 教育活動

学部生としては、4月に保健学科理学療法学専攻第10期生として20名の学部学生を迎え入れた。選抜方法による内訳は、推薦入学7名、前期日程試験入学11名、後期日程試験入学2名、性別では男子学生10名、女子学生10名であった。また、今年度から国立大学としては初めての試みである2年次編入に合格した学生2名が加わった。大学院には、前期課程に10名（一般選抜9名）、後期課程に1名が入学した。こうして、理学療法学専攻としての学生数は、1年生20名、2年生24名、3年生22名、4年生23名、大学院博士前期課程リハビリテーション療法学専攻理学療法学分野の1年生10名、2年生8名、後期課程のリハビリテーション療法学専攻理学療法学関係は1年生1名（一般選抜1名）、2年生3名（一般選抜1名、社会人特別選抜2名）、3年生5名（一般選別1名、社会人特別選抜4名）となった。

新学期には4月3日（火）に編入2年生に対する編入ガイダンス、4日（水）に新入生、編入2年生および在校生（各学年）ガイダンスをおこなった。また、作業療法学専攻と共同で、全教員との顔合わせと新入生に対して学生生活のガイダンスを行った。在校生ガイダンスでは、共通科目については理学療法学専攻・作業療法学両専攻合同で、専門科目については理学療法学専攻単独で、各学年別に1時間ずつを使い、本年度のカリキュラムの説明、学生生活のルールの再確認を行った。5日（木）に入学式（午前）と大学院生ガイダンス（午後）をおこなった。これらにより、本

専攻に所属する学部学生、大学院生のすべてに対して、カリキュラムの説明、学生生活のルールの説明・再確認がおこなわれた。説明は主任、教育委員、学生生活委員、授業担当教員が担当した。

4月14日(土)には、専攻内での新入生歓迎会を行った。新2年生が幹事となり、土曜日半日を使い、在校生、新入生、教員が全員参加し、全員の自己紹介、懇親会(大幸厚生会館)を通じて人間的交流・連携の強化を達成した。

4月中旬から臨床実習、が始まる4年生に対し、各教員が臨床実習に必要な項目についての学内実習をおこない、4月23日(月)から実際の医療機関での臨床実習が始まった。この実習は各種疾患を観察し、臨床実習指導者のもとに基本的評価を実施することを目的としている。学生は多くの不安を抱きながら、実習先に向かったが、4週ごとの反省会で、種々の問題点などが指摘されながらも、全員無事この実習を終えることが出来た。2年前から開始した臨床実習前の学内実習もあって、各学生とも実りの多い臨床実習を経験できたものと思われた。臨床実習は7月5日(金)に終了した。4年生は7月6日(金)に臨床実習反省会とともに、地域理学療法学実習のガイダンスをおこなった。地域理学療法学実習は訪問理学療法の実際を見学できる貴重な実習である。6月1日(金)の名大祭第1日目の夕刻、保健学科別館中庭において、理学療法学・作業療法学専攻の学生主催のバーベキューパーティーがおこなわれ学生間交流が図られた。

医学部主催の人体解剖トレーニングセミナーで解剖されたご遺体が提供された。学生にとっては人体構造と機能の理解を深めるとともに、ご遺体に対する感謝の念を通して人の命の尊厳を考え、将来の医療人としてのあり方を考えるよい機会となった。

8月28日(火)には平成20年度2年次編入学、29日(水)には大学院博士前期課程、30日(木)には同、後期課程の入試を実施し、2年次編入に3名、リハビリテーション療法学専攻博士前期課程理学療法学分野に10名(一般選抜8名、社会人特別選抜2名)、博士後期課程理学療法学関係に2名(一般選抜1名、社会人特別選抜1名)が合格した。

10月2日(火)には博士後期課程の論文発表会(予備審査会)が別館第11講義室で行われ、理学療法関係からは4名の学生が発表した。

昨年度より継続している大学院FDは2回開催された。第3回大学院FDは9月12日(水)東館大講義室で、保健学科教員55名の参加者を得て、看護学専攻・前川教授が「大学教育の国際化推進プログラム海外先進教育実践支援」- Warwick大学でのFD研修報告-をテーマに報告された。第4回大学院FDは「高度職業人と研究者の養成:教育と研究の質の向上にむけて」をテーマとして、専攻ごとに12月~平成20年1月にかけておこなわれた。リハビリテーション療法学専攻は、「大学院教育成果の把握と今後の教育戦略 アンケートの検討と実施」をサブテーマとして、平成20年1月16日(水)と1月30日(水)の2回行った。対象教員21名全員が参加し、活発な討論がなされた。

後期授業では4年生の卒業研究の後半部分が再開され、11月29日(水)に東館大講義室において最終発表会が開催された。23題の発表があり、教員ならびに在學生との活発な討論が交わされた。1、2年生にとっては将来の自身の研究の参考になったと思われる。また、3年生の卒業研究中間発表会は平成20年2月19日(火)に大学院講義室で行われた。合計22題の発表があり、1、2年生からの質問も多く、活発な発表会となった。中間発表会終了後に、3年生に対し大学院ガイダンスと就職ガイダンスがおこなわれた。

大学院では、平成20年2月14日(木)に作業療法学専攻を含むリハビリテーション療法学専攻理学療法分野(博士前期課程)2期生の修士論文ならびに博士後期課程博士論文発表会が行われ、前者8題、後者2題、合計10題の発表があった。また、2月15日(金)には前期課程1年生(7期生)の中間報告会が行われ、理学療法分野から10題の発表があった。博士前期課程修了者は8名で、社会人特別選抜修了者3名を除くと、就職3名、博士後期課程進学者1名であった。博士後期課程修了者のうち、2名が学位を取得した。

3月2日(日)には理学療法士国家試験が施行され、本専攻学部平成19年度卒業生20名が受験し全員合格した。3月25日(火)には保健学科第6期生の卒業式が執り行われた。本専攻は編入学生を含め22名の新卒業者を世に送り出した。そのうち15名が病院に就職し、7名が大学院へ進学、その他1名であった。

4) 研究活動

本専攻では、平成19年3月に木山喬博准教授、肥田朋子講師の定年退職、転勤に伴い、平成19年4月に内山 靖教授、太田 進助教がそれぞれ就任され、新しい組織となった。

前述の通り本専攻は、全教員が基礎的テーマと臨床的テーマを可及的に併せ持つように努力し、研究を進めている。各教員の研究テーマは、以下の通りである。

河村守雄 教授：実験的異所性骨化と関節運動および不動化の関係、骨形成因子の特性と臨床応用、脊髄損傷モデルマウスの病態、慢性腰痛症状保有者の再発予防対策

鈴木重行 教授：培養筋細胞を用いた機械的刺激の影響、筋ストレッチングと疼痛抑制法の臨床的効果、女性尿失禁に対するバイオフィードバック療法、糖尿病と関節拘縮モデルラットを用いた理学療法効果の検証

山田純生 教授：循環器疾患の運動介入・疾病管理、骨格筋パワーを用いた運動処方、運動習慣化を促進する指導方策、電気刺激療法と運動耐容能、運動中の換気様式に関する研究

鳥橋茂子 教授：マウス ES 細胞を用いた骨格筋形成機構の研究、間葉系幹細胞の研究、消化管の発生研究

内山靖 教授：姿勢・運動の制御と運動学習に関する研究、動作の観察と分析、症候障害学、理学療法学教育に関する実践的研究

河上敬介 准教授：機械刺激に対する培養細胞の形態応答のメカニズムの解明、伸張刺激による骨格筋の可塑性のメカニズム、筋・筋膜連結の形態と臨床的意義

石田和人 講師：脳出血モデル動物における中枢神経の病理変化と運動療法の効果に関する研究、ニューロン障害の最初期像の解析とその予後に関する研究、糖尿病モデルラットを用いた理学療法効果の検証

宮津真寿美 助教：伸張刺激による内皮細胞の細胞骨格・接着斑の動態、伸張刺激による骨格筋の可塑性のメカニズム

加藤智香子 助教：高齢者の身体活動量・筋力・バランス・QOL など、転倒予防、ヒッププロテクター

林久恵 助教：末梢循環障害に対する理学療法、重症虚血肢に対する物理療法、透析患者に対する理学療法

太田進 助教：バイオメカニクス的手法を用いたスポーツ傷害・変形性関節症の予防及び高齢者の運動機能向上に関する研究

現在上記の研究テーマをもとに、リハビリテーションに関係した臨床系の研究、生体の微細構造究明に関する研究、物理療法機器の開発と治療効果に関する研究、モデル動物を用いた各種病態究明と治療・予防法の確立に関する研究の4本柱を構築し、それぞれの研究室を整備・充実させているところである。

5) 対外的な、または社会と関わりのある活動

臨床実習指導者連絡協議会(スーパーバイザー会議)は平成18年7月30日(水)に行った。内容は、臨床実習全般(理学療法イントロダクション、同コミュニケーション、a、b、)についての報告と反省、2年前より開始した臨床実習前の学内実習である臨床実習bの実際と学習効果、さらに臨床実習、について本学の理念や目的と実習施設における実習目的との差などについて協議した。更に、後期より始まる臨床実習a、理学療法コミュニケーション、同イントロダクションについて協議した。

専攻代表が出席した学外関係会議は、臨床実習東海地区理学療法士養成施設連絡協議会(平成19年9月14日(金)会場：中部大学技術医療専門学校) 全国理学療法士・作業療法士学校養成施設連絡協議会(6月9日(土)神戸市、神戸学院大学)、第10回国立大学理学療法士・作業療法士教育施設協議会(9月27日(木)-28日(金)担当：弘前大学)である。

毎年夏に催される名古屋大学・大学説明会(オープンキャンパス)は8月8日(金)に行われた。昨年度より保健学科は大幸キャンパスを主会場とし、保健学科全体の説明がなされた後、参加した高校生に本専攻の特徴などについて鈴木教授が説明した。その後、本専攻主催の説明会には約162名が参加し、教員と学生が施設を案内し、質問に答えた。質問も多く、高校生の興味の深さが伺われた。

鳥橋教授、河上准教授が中心となり、保健学科解剖実習室を使用して、東海地区の理学作業療法学を含む5施設から延べ383名の学生が解剖標本見学の受託実習を行なった。

10月10日(水)には防災訓練が行われ、保健学科全体で、教職員75名、学生173名が参加し、救助袋による避難訓練、

初期消火訓練として消火器の取扱説明、消火栓による放水などがおこなわれた。

また、10月13日(日)には東館4階大講義室において、平成19年度保健学科市民公開講座「健やかに過ごすためのリハビリテーション」を開催した。今回は理学療法学、作業療法学専攻合同開催で、本専攻からは加藤助教、太田助教が、それぞれ「転倒・骨折を防ぐためには」、「膝の痛みを防ぐためには」について講義した。参加者は120名で、中・高齢者の参加が特徴的であった。

全国PT・OT学校連絡協議会のもとに、東海地区(愛知、岐阜、三重、静岡)の理学療法・作業療法に関係する各養成校の教員及び関連する教育に関わる専門職の資質向上を目的とした東海地区教育部会(会長;鈴木重行教授)主催の研修会が平成19年7月29日(日)日本医療福祉専門学校珪山ホールで「学校および臨床における「障害」のとりえかた」～ICIDHとICFを用いた学生教育の現状と課題～をテーマに開催された。

以上とは別に、本専攻は名大理学療法研究会の事務局を置き、短期大学部理学療法学科と保健学科理学療法学専攻の卒業生の研究活動を支援している。当年度は、平成19年8月4日(土)と平成20年1月19日(土)にそれぞれ「糖尿病の基礎と臨床」、「治療指向的な理学療法評価/診断」をテーマとして研究会が開催され、毎回40名ほどが参加した。

その他、大幸医療センターでの相談外来は、河村教授の腰痛相談室、加藤助教の転倒予防教室(転ばん大幸教室、名古屋市との共同主催)、鈴木教授の女性尿失禁相談外来が引き続き行われた。

以上

(主任:鈴木重行)

作業療法学専攻

作業療法学専攻は、作業療法に関する学問的体系の確立と高度専門職業人の育成、および教育者、研究者の育成を目的として設置された。本専攻は、作業療法士専門職教員と医師教員から構成され、それぞれの専門を活かした教育・研究活動を通して作業療法学の発展に努めている。

1. 運営

平成19年度の本専攻は、田川義勝主任ほか4名の教授、准教授2名、講師1名、助教3名より構成され、保健学科の他の専攻と同様に大講座制である。専攻の運営については、全教員が参加する作業療法学専攻会議（毎週水曜日開催）によって専攻の具体的な活動が決定される。保健学科全体の委員会等の報告や専攻内への持ち帰り事案の審議がなされ、それに対する作業療法学専攻としての方針や見解が審議決定される。具体的には、全体を通しての専攻の年間行事、事業についての計画とその計画進行状況の確認をはじめとして、予算に関する事案、学生の教育に関する事案（成績関連、単位認定、進級関連、卒後進路など）、学生生活に関する事案、臨床実習に関する事案（実習計画、臨床実習施設との連携など）、その他保健学科全体の抱える諸問題について専攻としての方針や考え方を討議決定している。

専攻会議の他に人事など教授専任事項については月1回の専攻教授会議にて審議を行っている。この会議は構成メンバー全員の意見の一致を原則として運営されている。また、月1回の頻度で作業療法プロパー会議が作業療法士専門職教員によりもたれている。プロパー会議では、より効果的な教育成果実現のため、とくに作業療法教育プログラムについて検討している。また、プロパー会議では専門職教員は全員が日本作業療法士協会会員であり、協会および関連学会と相互協力するための情報交換も行われる。

同じリハビリテーション領域で密接な連携関係にある理学療法学専攻と共に毎月両専攻会議を設け、作業療法学・理学療法学の全教員が参加し、両専攻共通の課題に取り組み、連携・協力を図っている。

大学院運営の機構としては、作業療法分野は理学療法分野とともにリハビリテーション療法学専攻を構成するために、両分野の大学院担当教員によって月1回の大学院・リハビリテーション療法学専攻会議を開いている。

2. 教育活動

19年4月に保健学科作業療法学専攻第9期生として20名の学部学生を迎えた。選抜方法による内訳は、推薦入学5名、前期日程試験入学12名、後期日程試験入学3名であり、性別では男子学生4名、女子学生16名であった。また平成19年度より2年次編入生を募集し、2名（男女各1名）の入学者を受け入れている。

大学院博士課程前期課程作業療法学分野には10名（一般選抜7名、社会人入学3名）、博士課程後期課程作業療法学分野に2名が入学した。また、19年10月よりブラジルから1名の本邦国費留学生（作業療法士）を研究生として受け入れている。

19年度の教育活動

- 1) 19年4月3日～：新入生・編入生および学年別ガイダンス。新入生および編入生のみならず在校生各学年別に毎年実施している年度当初ガイダンスである。当該年度における教育内容、学生生活に関する説明と確認を行っている。大学における学修と生活の基本的内容については作業療法学専攻および理学療法学専攻と合同で行い、個別の内容について専攻別にガイダンスを行っている。この時期4年生については臨床実習が既に始まっているために、ガイダンスは前年度末までに行われている（下記）。
- 2) 19年4月14日～15日：犬山ガイダンス。通称犬山ガイダンスは、一泊二日の日程で行われる学部と大学院の新入生・在校生合同（学部4年生を除く）の年度当初ガイダンスである。本年度も昨年と同じく愛知県犬山市犬山国際ユースホステルで開催した。新入の学部学生および大学院生が円滑に快適で充実した学生生活を送るという目的で開催され、本専攻の教員や2年生3年生先輩からの公私的な示唆や助言などを通して行われた。同時に学年相互の交流・親睦を目的として種々のイベントを開催した。

- 3) 19年4月2日から8月上旬：4年生臨床実習実施。学部4年生を対象とし最終年次前期期間中、学外臨床施設にて臨床実習を行った。実習期間を3期に分けて身体障害分野、精神障害分野、発達障害分野および老年期障害分野の医療機関・施設で臨床実習を行なった。総計18週間の実習を行った。
- 4) 19年6月27日：博士課程後期課程大学院生研究課題中間発表会。リハビリテーション療法学専攻作業療法学分野2年生に在籍する大学院生(1名)が研究テーマについての進捗状況を報告した。研究発表会では今後の研究方針について教員からアドバイスやなされた。
- 5) 19年8月10日：オープンキャンパス開催。大幸キャンパスにおいて保健学科全体および作業療法学専攻の大学説明会を実施した。説明会参加者に対して、講義室や実習室等を案内し、本学における本専攻の教育理念、方針、具体的教育内容について説明した。
- 6) 19年8月28日：学部2年次編入生入学試験。
- 7) 19年8月29日：大学院博士課程前期課程入学試験。
- 8) 19年8月30日：大学院博士課程後期課程入学試験。
- 9) 19年9月7日：卒業研究中間発表会(学部4年生)。卒業研究の途中経過の報告と教員による指導の機会として行われた。
- 10) 19年9月中旬：作業療法入門実習(学部1年生)。本専攻に入学してから最初の臨床実習である。作業療法における主要な分野(身体障害分野、精神障害分野、発達障害分野、老年期障害分野)の関連の機関・施設6ヶ所の見学実習を行なった。
- 11) 19年9月下旬から12月下旬：作業療法基礎学実習(学部2年生)。作業療法の対象となる施設や対象者を理解する目的で2年後期に実施している。学生は、身体障害分野、精神障害分野、発達障害分野の医療機関・施設それぞれ1ヶ所、計3ヶ所で3日間の実習を体験した。
- 12) 18年12月8日：卒業研究発表会(学部4年生)。卒業研究の最終発表会であり、続いて論文の作成が行われた。
- 13) 20年2月12日：学部の推薦入学試験。
- 14) 20年2月14日：大学院博士課程前期課程および後期課程学位論文発表会。本専攻からは博士課程前期課程10名、後期課程2名が発表を行なった。
- 15) 20年2月15日：臨床実習指導者会議。4年次に行われる臨床実習での実習協力施設の実習指導者を招いて、臨床実習指導者会議を開催した。議題は主として19年度臨床実習報告、20年度実習計画であり、学外の実習指導者と本専攻教員の意見交換等を行なった。
- 16) 20年2月25日：一般選抜前期日程入学試験。
- 17) 20年3月2日：理学療法士作業療法士国家試験実施。本専攻から卒業予定者19名全員受験し全員合格した。
- 18) 20年3月8日：博士課程前期課程中間発表会。前期課程1年在籍の10名が現在の研究状況を報告した。
- 19) 20年3月25日：学部および大学院卒業式。本年度は学部学生19名(男性2名、女性17名)卒業した。卒業後の進路としては、大学院博士課程前期課程へ2名(男性1名、女性1名)が進学し、17名が就職した。大学院リハビリテーション療法学専攻作業療法学分野では修士号10名、博士号2名の取得があった。

3. 研究活動

本専攻では作業療法各分野および基礎的研究各分野における研究が大学院教育とともに行われている。研究は教員による個人研究が中心であるが、企業や他施設との共同研究も行われている。

(1) 共同研究

- 1) 厚生労働省難治性疾患克服事業(スモン患者のリハビリテーションの必要性に関する研究：寶珠山・美和・清水・伊藤・後藤・上村)
- 2) 青年期の精神病理学的研究(学生相談総合センターと共同研究)(鈴木)
- 3) 中高年者の高次脳機能と筋・運動機能及び生活習慣との関連に関する研究(環境学研究科、医学系研究科・整形外科)(伊藤)

- 4) 大学共同利用施設磁気計測装置(生理学研究所)における感覚運動連関に関する研究(寶珠山)
- 5) うたせ湯の効能に関する研究(美和)
- 6) 精神科作業療法システムに関する研究(総合心療センターひなが)(美和)
- 7) 温泉の効能に関する研究(小山田記念温泉病院)(美和)

(2) 個人研究

- 1) 統合失調症の精神病理学的研究(鈴木)
- 2) 神経症の精神分析学的研究(鈴木)
- 3) 発達障害の青年期に関する研究(鈴木)
- 4) 介護老人保健施設等における作業療法介入の効果に関する研究(田川)
- 5) 認知症高齢者の問題処理能力等の定量的評価法の開発(田川)
- 6) 運動と体性感覚誘発脳反応に関する研究(寶珠山)
- 7) 意識と感覚情報処理能力に関する研究(寶珠山)
- 8) 人の脳における情報処理能力に関する研究(寶珠山)
- 9) 作業療法と自律神経機能に関する研究(美和)
- 10) 精神障害に対する作業療法介入効果に関する研究(美和)
- 11) 入浴の自律神経機能に与える影響に関する研究(美和)
- 12) 認知機能と情動の関係に関する研究(清水)
- 13) 自己関連情報に関する心理的処理特性に関する研究(清水)
- 14) 活動時間配分と健康との関連に関する研究(伊藤)
- 15) 前頭葉機能検査に関する研究(伊藤)
- 16) 統合失調症に対する作業療法介入効果に関する研究(向)
- 17) 作業療法学専攻学生の職業レディネスに関する研究(向)
- 18) 発達障害児に対する作業療法介入効果に関する研究(浅野)
- 19) 介護保険下の通所サービス利用者の特徴に関する研究(後藤)

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

平成19年10月～12月第1～7回愛知県作業療法士会新人教育プログラム(美和、浅野)

(平成20年度主任:寶珠山)

2 . 公 開 講 座

(平成19年度)

平成19年度名古屋大学医学部保健学科市民公開講座

テーマ：「健やかに過ごすためのリハビリテーション」

平成19年度の市民公開講座は、10月13日（土）「健やかに過ごすためのリハビリテーション」をテーマとして開催しました。

本講座は、昭和58年以来、健康や医療の問題を中心に生活に深く関わるテーマで、一般市民を対象に毎年実施しているものです。平成17年度からは専攻横断的な内容とし、複数の専攻から講師を選任することとしていましたが、今回は、テーマの性質上、本学科の理学療法学専攻と作業療法学専攻の2専攻で担当しました。

できるだけ多くの方々に手軽に参加していただけるよう、昨年度と同様に受講料を無料にし、半日みのコンパクトな企画としました。これに伴い、これまで日曜日に開催していた講座を土曜日の午後に実施しました。今回は、特に高齢者の健康維持を主題として、ポスターの配布や名古屋大学および医学部保健学科のホームページで広く参加者を募集しました。また、新聞に本講座の記事が掲載され、200名を越える申し込みをいただきました。

平成19年度名古屋大学医学部保健学科市民公開講座の実施概要は以下のとおりです。

テーマ： 健やかに過ごすためのリハビリテーション

開講日時：平成19年10月13日(土) 13:00～16:50

開講場所：名古屋大学医学部保健学科 東館大講義室（東館4階）

募集人員：100名 受講料：無料

後援：愛知県、名古屋市、名古屋大学医師会、愛知県医師会、名古屋市医師会、愛知県看護協会、愛知県放射線技師会、愛知県臨床衛生検査技師会、愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会

テーマ説明文： 医学や医療技術が急速に発展する一方で、病気や障害を抱えながら生活されている方も増えています。リハビリテーションは、このような病気や障害によって家庭生活や社会生活に制約を受けた方を支援するといった目的以外にも、健康を維持したり病気や障害を予防するという目的も持っています。本講座では病気や障害の発生あるいは進行を防ぎ、皆様の健やかな生活を維持していくためのリハビリテーションについて、最新の情報や具体的な実施方法などを交えて説明します。

開講時間・題目・講師

第1講 13:00～13:50	「転倒・骨折を防ぐためには」 理学療法学専攻 加藤 智香子（理学療法士）
第2講 14:00～14:50	「膝の痛みを防ぐためには」 理学療法学専攻 太田 進（理学療法士）
第3講 15:00～15:50	「憂うつと生きがい 精神科の臨床場面から」 作業療法学専攻 鈴木 國文（精神科医）
第4講 16:00～16:50	「余暇活動で認知症予防」 作業療法学専攻 伊藤 恵美（作業療法士）

当日参加人数：119名

講座実施後の参加者へのアンケート結果は以下のとおりです。

アンケート結果：

性別、年齢構成（名）

	男	女	計
20代		3	3
30代	2	4	6
40代	1	10	11
50代	3	12	15
60代	4	25	29
70代	12	39	51
80代	1	3	4
計	23	96	119

職業（名）

	男	女	計
学生			0
会社員	6	13	19
自営業	2	6	8
専門職		8	8
主婦		41	41
無職	14	24	38
未記入	1	4	5
計	23	96	119

本講座を何で知りましたか（名）

	男	女	計
新聞、TV	10	37	47
区役所	2	3	5
社教センター		3	3
図書館	1	2	3
友人情報	3	28	31
その他	7	22	29
未記入		1	1
計	23	96	119

感想を聞かせてください（名）

	計
役に立った	94
まあ役に立った	23
あまり参考にならなかった	
その他	
未記入	2
計	119

実施方法について

A 全体の時間について (名)

	計
長い	21
丁度よい	93
短い	1
未記入	4
計	119

B テーマ毎の時間について (名)

	計
長い	7
丁度よい	103
短い	2
未記入	7
計	119

C 講演形式について (名)

	計
講演型式	87
参加型セミナー	26
その他	1
未記入	5
計	119

D 希望テーマ

- ・物忘れ対策。認知症予防・進行中の対応
- ・相談に乗ってくれる名古屋市&昭和区周辺の医療機関の紹介
- ・日常の健康を保つための方法
- ・腰痛、肩こり、足の退化予防
- ・高齢者と介護に関すること
- ・人間関係、コミュニケーションの取り方
- ・地域の取組
- ・社会資源
- ・生活習慣病
- ・虚言癖の対応
- ・老年期の過ごし方
- ・年齢にあった人間ドックの紹介
- ・呼吸器、肺について
- ・高齢期の食生活について
- ・海外旅行での感染症
- ・高齢者になって発生する肝炎、肺結核の前症状
- ・コーヒーの飲み方

- ・術後の腸閉塞治療について
- ・認知症の人への対応
- ・眼病について
- ・寝たきり、片麻痺のある人のリハビリ
- ・股関節について
- ・腰痛予防について
- ・首のヘルニア、手のしびれについて
- ・脳と心臓について

アンケート結果に見られるように、今回の公開講座の内容や講演時間は概ね好評でした。ただ、本講座全体の時間を半日とし、各講義の全ての合間に休憩も設けましたが、それでもまだ長いという意見が約2割ありました。対象者の多くが高齢者であったことも1つの要因であったと考えられますが、今後の講座実施の参考にできればと考えます。しかし、今回、健康の維持や障害、機能低下の予防を主題としたため、各講師の方々に日常生活で実践できる具体的な予防法や練習方法をデモンストレーションなどを交えて紹介していただきました。これまでの講座の形式が多かった講義形式を基本としながら、参加者からの希望が多かった参加型セミナーの要素を取り入れたこともあり、講義後の休憩時間にも多くの質問、相談が寄せられました。今後、参加型セミナー形式の講座実施やアンケートで寄せられた希望テーマを参考に、公開講座の内容を検討していくこととしました。

(平成19年度公開講座委員長 清水英樹)

3 . 業 績 (2 0 0 7 年)

凡 例

業績の収録期間は2007(平成19)年1月～12月とした。

業績は下記の種別に分類した。

- * 著書
- * 原著論文
- * 総説・解説・その他
- * 科研費・班研究等
- * その他の印刷物等
- * 学会発表
- * 公開講座・講演会

掲載順位は 専攻， 業績種別， 著者のアルファベット順 とした。

看護学専攻

1 看護学専攻

〔著書〕

安藤詳子

医療環境

『応用心理学事典』（日本応用心理学会編）丸善株式会社，2007. pp 326-327

浅野みどり

免疫疾患・アレルギー性疾患・リウマチ性疾患と看護 看護総論

『系統看護学講座専門 23 小児臨床看護各論第 11 版』（奈良間美保）医学書院，2007. p 106

浅野みどり

免疫疾患・アレルギー性疾患・リウマチ性疾患と看護 疾患をもった小児の看護

『系統看護学講座専門 23 小児臨床看護各論第 11 版』（奈良間美保）医学書院，2007. pp 123-129

国府浩子

生殖機能障害 女性生殖器 乳房切除術

『臨床実習パーフェクトガイド 成人看護実習ガイド I（急性期・周手術期）』（井上智子（編））照林社，2007. pp 347-353

国府浩子

バイオセラピーと分子標的治療の看護

『がん看護コアカリキュラム』（小島操子，佐藤禮子）医学書院，2007. pp 613-634

村上泰子，奈良間美保

膀胱留置カテーテル法

『小児看護辞典』（日本小児看護学会）へるす出版，2007. pp 847-848

村上泰子，奈良間美保

留置カテーテル

『小児看護辞典』（日本小児看護学会）へるす出版，2007. pp 763-764

奈良間美保

小児臨床看護総論 第 1 章 疾病・障害をもつ小児と家族の看護

『系統看護学講座専門 22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第 11 版』（奈良間美保）医学書院，2007. pp 260-272

奈良間美保

付章 B 肺炎に罹患した小児のケア

『系統看護学講座専門 23 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論 第 11 版』（奈良間美保）医学書院，2007. pp 528-537

奈良間美保

小児臨床看護総論 第 6 章 健康障害をもつ小児の生活と看護 B 在宅療養を行う小児と家族の看護

『系統看護学講座専門 22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第 11 版』（奈良間美保）医学書院，2007. pp 452-456

奈良間美保

小児臨床看護総論 第 3 章 症状を示す小児の看護 E 消化器症状

『系統看護学講座専門 22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第 11 版』（奈良間美保）医学書院，2007. pp 322-329

奈良間美保

小児看護学概論 第 4 章 新生児・乳児 B 乳児

『系統看護学講座専門 22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第 11 版』（奈良間美保）医学書院，2007. pp 84-97

奈良間美保

小児看護学概論 第3章小児の栄養

『系統看護学講座専門22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第11版』(奈良間美保) 医学書院, 2007. pp 52-66

奈良間美保

小児看護学概論 第2章小児の成長・発達 E 発達の評価

『系統看護学講座専門22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第11版』(奈良間美保) 医学書院, 2007. pp 47-50

奈良間美保

小児看護学概論 第2章小児の成長・発達 C 成長・発達到影響する因子

『系統看護学講座専門22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第11版』(奈良間美保) 医学書院, 2007. pp 34-35

奈良間美保

小児看護学概論 第1章小児看護の特徴と理念 A 小児看護の目ざすところ

『系統看護学講座専門22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第11版』(奈良間美保) 医学書院, 2007. pp 4-8

奈良間美保

小児看護学概論 第5章幼児・学童 A 幼児

『系統看護学講座専門22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第11版』(奈良間美保) 医学書院, 2007. pp 100-116

奈良間美保

小児看護学概論 第1章小児看護の特徴と理念 A 小児と家族の諸統計

『系統看護学講座専門22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第11版』(奈良間美保) 医学書院, 2007. pp 8-15

奈良間美保

小児臨床看護総論 第3章症状を示す小児の看護 I その他

『系統看護学講座専門22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第11版』(奈良間美保) 医学書院, 2007. pp 357-363

奈良間美保

小児看護学概論 第2章小児の成長・発達 B 成長・発達の進み方

『系統看護学講座専門22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第11版』(奈良間美保) 医学書院, 2007. pp 32-34

奈良間美保

小児看護学概論 第2章小児の成長・発達 A 成長・発達とは

『系統看護学講座専門22 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 第11版』(奈良間美保) 医学書院, 2007. pp 30-32

太田勝正

産業, 研究, 教育領域での放射線利用

『看護実践に役立つ放射線の基礎知識 患者と自分を守る 15章』(草間朋子) 医学書院, 2007. pp 140-148

太田勝正

看護職者の放射線防護の原則と注意点

『看護実践に役立つ放射線の基礎知識 患者と自分を守る 15章』(草間朋子) 医学書院, 2007. pp 124-132

太田勝正

患者情報と守秘義務

『看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ』(小西恵美子) 南江堂, 2007. pp 110-118

太田勝正

医療放射線施設・設備と安全管理

『看護実践に役立つ放射線の基礎知識 患者と自分を守る 15 章』(草間朋子) 医学書院, 2007. pp 133-138

太田勝正

患者の放射線防護の原則と注意点

『看護実践に役立つ放射線の基礎知識 患者と自分を守る 15 章』(草間朋子) 医学書院, 2007. pp 115-123

太田勝正

医療機関での放射線事故の可能性は?

『看護実践に役立つ放射線の基礎知識 患者と自分を守る 15 章』(草間朋子) 医学書院, 2007. pp 157-162

榊原久孝

研究における統計学の基礎知識と検定の方法

『これからの看護研究 基礎と応用 (第 2 版)』(小笠原知枝, 松木光子) ニューヴェルヒロカワ, 2007. pp 133-143

榊原久孝

保健・医療・福祉・介護の連携, 国際保健

『公衆衛生学入門, 社会・環境と健康 (第 2 版)』(内藤通孝) 昭和堂, 2007. pp 176-180

榊原久孝

産業保健, 学校保健

『公衆衛生学入門, 社会・環境と健康 (第 2 版)』(内藤通孝) 昭和堂, 2007. pp 166-176

榊原久孝

地域保健, 母子保健

『公衆衛生学入門, 社会・環境と健康 (第 2 版)』(内藤通孝) 昭和堂, 2007. pp 157-164

清水三紀子

出産準備教室のプログラミング

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 77-82

高橋由紀

産褥期の乳房ケア

『写真と CD でわかる周産期ケアマニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 178-179

高橋由紀

臍処置と点眼

『写真と CD でわかる周産期ケアマニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 219-220

高橋由紀

出生直後の全身清拭

『写真と CD でわかる周産期ケアマニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 157-158

高橋由紀

分娩時に伴う処置

『写真と CD でわかる周産期ケアマニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 137-144

高橋由紀

妊娠中期の食事

『写真と CD でわかる周産期ケアマニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 69-72

高橋由紀

運動

『写真と CD でわかる周産期ケアマニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 56-68

高橋由紀

着帯

『写真と CD でわかる周産期ケアマニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 50-51

高橋由紀

ビタミン K2 シロップの投与

『写真と CD でわかる周産期ケアマニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 226-227

立岡弓子

妊娠の確定診断と妊娠週数の数え方

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 10-15

立岡弓子

妊娠嘔吐・妊娠悪阻と食事療法

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 32-33

立岡弓子

妊娠中期の健診

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 36-40

立岡弓子

乳房の変化とセルフケア

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 47-49

立岡弓子

胎児心拍モニタリング

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 86-90

立岡弓子

パルトグラムの活用と分娩予測

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 118-120

立岡弓子

分娩監視装置と胎児健康状態の評価

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 126-128

立岡弓子

産痛へのケア

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 132-136

立岡弓子

分娩の介助

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 146-152

立岡弓子

胎盤の観察

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 163-164

立岡弓子

フリースタイル出産

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 165-171

立岡弓子

母乳分泌と射乳の仕組み

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 177-178

立岡弓子

搾乳・母乳の保存方法

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 190-191

立岡弓子

新生児の生理的变化

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 240-244

立岡弓子

新生児訪問

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 251-254

立岡弓子

母乳分泌不足

『母性看護実習ガイド』(堀内成子) 照林社, 2007. p 312-316

山口香苗

家族計画指導

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 200-203

山口香苗, 高島えり子

分娩準備教育2 呼吸法

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 104-107

山口香苗

活用できる母子保健制度(妊娠末期)

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 109-110

岡有美, 山口香苗

外陰部の観察とケア(裂傷, 痔核, 悪路交換)

『周産期ケア・マニュアル』(立岡弓子監修) 医学芸術社, 2007. pp 174-176

山口香苗，堀田久美

乳房・乳頭トラブル

『周産期ケア・マニュアル』（立岡弓子監修）医学芸術社，2007. pp 180-186

山口香苗，高島えり子

分娩準備教育1 リラクゼーション

『周産期ケア・マニュアル』（立岡弓子監修）医学芸術社，2007. pp 102-103

山口香苗

活用できる母子保健制度（産褥期）

『周産期ケア・マニュアル』（立岡弓子監修）医学芸術社，2007. pp 204-205

山口香苗

ビタミン K2 シロップの投与

『周産期ケア・マニュアル』（立岡弓子監修）医学芸術社，2007. pp 226-227

山口香苗

活用できる母子保健制度（妊娠中期）

『周産期ケア・マニュアル』（立岡弓子監修）医学芸術社，2007. pp 83-84

山口香苗

聴力検査

『周産期ケア・マニュアル』（立岡弓子監修）医学芸術社，2007. pp 238-239

山口香苗

活用できる母子保健制度（妊娠初期）

『周産期ケア・マニュアル』（立岡弓子監修）医学芸術社，2007. pp 34-35

山口香苗

爪切り

『周産期ケア・マニュアル』（立岡弓子監修）医学芸術社，2007. p 250

山口香苗

活用できる新生児のための保健制度

『周産期ケア・マニュアル』（立岡弓子監修）医学芸術社，2007. pp 255-256

山口香苗

ガスリー検査

『周産期ケア・マニュアル』（立岡弓子監修）医学芸術社，2007. pp 228-229

〔原著論文〕

深谷陽子，安藤詳子，稲垣聡美，宮崎雅之，水野敏子，中村みゆき，澤井美穂

がん性疼痛マネジメントにおける痛み計の効果に関する検討

Palliative Care Research 2(2): 223-230, 2007

渡辺祥子，安藤詳子，大西丈二

愛知県内の緩和ケア病棟入院判定に関する調査

日本看護医療学会雑誌 9(1): 47-54, 2007

神道那実, 浅野みどり

小児血液疾患患児の療養行動における自主性の現状 病状説明と親の関わりが及ぼす影響に焦点をあてて
日本小児看護学会誌 16: 9-16, 2007

佐藤好恵, 藤井徹也, 佐伯香織, 新實夕香理, 渡邊真紀, 小澤由紀, 中野隆

殿部筋肉注射部位における上殿神経・動静脈損傷の危険性について
日本看護技術学会誌 6(2): 4-11, 2007

春田佳代, 山幡朗子, 白鳥さつき, 篠田かおる, 脇本寛子, 三善郁代, 鈴木初子, 藤井徹也, 中野隆

三角筋筋肉注射部位に関する人体解剖所見からの検討-刊行物の内容との比較から-
愛知医科大学看護学部紀要 6: 1-5, 2007

YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, MUTO Masahiro, OKADA Taro, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU Takeshi,
TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiko, TSUBOI Naoya, ITO Teruo, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**,
MUROHARA Toyoaki

Preferential conduction across the ventricular outflow septum in ventricular arrhythmias originating from the aortic sinus
cusp

J Am Coll Cardiol 50(9): 884-891, 2007

YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, MUTO Masahiro, OKADA Taro, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU Takeshi,
TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiko, TSUBOI Naoya, ITO Teruo, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**,
MUROHARA Toyoaki

Pulmonary vein antrum not always coaxial to the pulmonary vein: a dimensional pitfall to the circumferential isolation
technique

Circ J 71(9): 1430-1436, 2007

YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, MUTO Masahiro, OKADA Taro, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU Takeshi,
TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiko, TSUBOI Naoya, ITO Teruo, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**,
MUROHARA Toyoaki.

Efficacy of electroanatomic mapping in the catheter ablation of premature ventricular contractions originating from the right
ventricular outflow tract

J Interv Card Electrophysiol 19(3): 187-194, 2007

YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, MUTO Masahiro, OKADA Taro, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU Takeshi,
TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiko, TSUBOI Naoya, ITO Teruo, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**,
MUROHARA Toyoaki

Prevalence and severity of left atrial edema detected by electron beam tomography early after pulmonary vein ablation

J Am Coll Cardiol 49(13): 1436-1442, 2007

YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, MUTO Masahiro, OKADA Taro, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU Takeshi,
TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiko, TSUBOI Naoya, ITO Teruo, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**,
MUROHARA Toyoaki

Plasma brain natriuretic peptide level after radiofrequency catheter ablation of paroxysmal, persistent, and permanent atrial
fibrillation

Europace 9(9): 770-774, 2007

平井眞理

シベンゾリンが著効した壮年期女性における発作性心房細動の1例

Prog Med 27(11): 241-244, 2007

YAMADA Takumi, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiko, TSUBOI Naoya, ITO Teruo, MUTO Makoto, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki.

Non-pulmonary vein epicardial foci of atrial fibrillation identified in the left atrium after pulmonary vein isolation

Pacing Clin Electrophysiol 30(11): 1323-1330, 2007

YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, MUTO Masahiro, OKADA Taro, OKAMOTO Mitsuhiro, SHIMIZU Takeshi, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiko, TSUBOI Naoya, ITO Teruo, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki

Electrophysiologic and electrocardiographic characteristics and radiofrequency catheter ablation of focal atrial tachycardia originating from the left atrial appendage

Heart Rhythm 4(10): 1284-1291, 2007

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 新實夕香理, 桜井志保美, 永井邦芳, 大西丈二, 前川厚子, 榊原久孝

在宅重度要介護者の主介護者における脳・心血管疾患リスクファクターの記述疫学的検討

日本公衆衛生学会総会抄録集 1: 510, 2007

IKEMATSU Yuko

Incidence and characteristics of dysphoria in patients with cardiac tamponade

Heart Lung 36(6): 440-449, 2007

大森ゆみ子, 増田美登里, 河野由理, 河野美智子

看護職の離職に関連する要因についての研究-経験年数段階別の特徴-

看護人材教育 4(1): 120-124, 2007

林恵美子, 中屋舘子, 須川真規子, 安西由美子, 河野由理

急性期医療を担う看護師の働きがい

第37回日本看護学会論文集看護管理 475-477, 2007

小塩泰代, 小笠原ゆかり, 世古美恵子, 河津芳子

わが国における過去10年間の看護学教育研究の動向-過去の研究によって提示された看護学教育研究の問題点や課題の変化

日本看護医療学会雑誌 9(2): 51-57, 2007

河津芳子

看護師の姿と看護師への要望 雑誌「看護」今月の言葉から

看護 59(3): 82-85, 2007

一之瀬容子, 山口良恵, 大庭美穂, 杉本優子, 中山七重, 田淵康子, 国府浩子

術後患者に対する弾性ストッキングおよび間欠的空気圧迫装置併用時の装着間の調査

看護技術 53(4): 46-50, 2007

KONDO Takaaki, **HORI Yoko**, YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI Koji, TOYOSHIMA Hideaki, NISHINI Yoshikazu, SEKI Nao, ITO Yoshinori, SUZUKI Koji, OZASA Kotaro, WATANABE Yoshiyuki, ANDO Masahiko, WAKAI Kenji, TAMAKOSHI Akiko

Lung cancer mortality and body mass index in a Japanese cohort: findings from the Japan Collaborative Cohort Study (JACC Study)

Cancer Causes Control 18(2): 229-234, 2007

近藤高明, 上山 純, 木全明子, 山本佳那実, 堀 容子

健康成人男性集団で体重が血圧に与える影響 経年的測定データの多重レベル解析
厚生指標 54: 7-13, 2007

祖父江正代, 前川厚子, 竹井留美

結腸ストーマ保有者の自己適応過程とそのパターン分析

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 11(2): 41-51, 2007

奈良間美保

小児在宅ケアにおける患者・家族を主体とするチームアプローチ

小児看護 30(5): 563-566, 2007

OKAMOTO Asako, HAPSARI Elsi Dwi, UCHIYAMA Hachiro, KAWABATA Masato

Community Based Disaster Management and Social Capital in Indonesia,

Report of Research Center for Urban Safety and Security, Kobe University 神戸 11: 293-302, 2007

IGUCHI Hiroko, **OTA Katsumasa**

Development of Instrument to Measure Patient Perception of Information Privacy, Patients Information Privacy Scale (PIPS), and the Conventional Privacy Checklist (CPC)

Jpn J Med Info 26(6): 367-375, 2007

伊藤千晴, 太田勝正

教科書からみた戦後の看護倫理教育内容の変遷

日本看護学教育学会誌 17(1): 29-40, 2007

二宮恵子, 小野智美, 村田恵子, 中西睦子, 太田勝正, 水流聡子, 唐澤由美子, 中根 薫, 井上真奈美

小児看護における看護実践を記述する用語の構造と特徴

看護科学学会誌 27(2): 61-70, 2007

原田直子, 榊原久孝

前期高齢者を対象とした地域での well-rounded training の試み

日本公衆衛生雑誌 54(1): 15-24, 2007

NISHITANI Naoko, **SAKAKIBARA Hisataka**

Subjective poor sleep and white blood cell count in male Japanese workers

Ind Health 45(2): 296-300, 2007

HIRATA Mamoru, **SAKAKIBARA Hisataka**

A study on relationship between nerve conduction velocity and manual dexterity among patients with vibration syndrome

Proceedings of 11th International Conference on hand-Arm Vibration: 157-161, 2007

HIRATA Mamoru, **SAKAKIBARA Hisataka**

Sensory nerve conduction velocities of median, ulnar and radial nerves in patients with vibration syndrome
Int Arch Occup Environ Health 80(4): 273-280, 2007

NISHITANI Naoko, **SAKAKIBARA Hisataka**

Relationship of BMI increase to eating behavior and job stress in a 2-year cohort study of non-obesity male Japanese workers
Obesity Research & Clinical Practice 1(3): 179-185, 2007

SHIBATA Nobuyuki, MAEDA Setsuo, **SAKAKIBARA Hisataka**

Acute effect of exposure to hand-arm vibration on sensory nerve conduction velocity in digit
Proceedings of 11th International Conference on hand-Arm Vibration : 251-258, 2007

早川綾, 鈴木和代

大学生が求める性の情報についての研究
愛知母性衛生学会誌 25: 29-36, 2007

KURUTO-NIWA Ryoko, **TATEOKA Yumiko**, USUKI Yasuteru, NOZAWA Ryushi

Measurement of bisphenolA concentrations in human colostrum
Chemosphere 66(6): 1160-1164, 2007

山内豊明

特定疾患患者の生活の質の向上に資するケアの在り方 在宅人工呼吸器利用時の処置等に関する意識調査についての予備的調査の試みに関する研究
愛知県特定疾患研究協議会研究報告書 平成 17 年度 87-88, 2007

三笠里香, 山内豊明

シミュレーターを用いたフィジカルアセスメント教育の効果
看護教育 48(6): 484-489, 2007

相原優子, 神里みどり, 佐伯香織, 新實夕香理, 篠崎恵美子, 山内豊明

模擬患者を活用した看護アセスメント演習の評価
日本看護医療学会雑誌 9(1): 27-38, 2007

篠崎恵美子, 山内豊明

看護基礎教育における呼吸に関するフィジカルアセスメント教育のミニマム・エッセンシャルズ
日本看護科学会誌 27(3): 21-29, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメントを正しく推進するにあたって
看護教育 48(6): 470-477, 2007

山内豊明

運動系のフィジカルアセスメント
日本整形外科看護研究会誌 2: 39-45, 2007

相原優子, 神里みどり, 佐伯香織, 新實夕香理, 篠崎恵美子, 山内豊明

模擬患者を活用した看護アセスメント演習の評価
日本看護医療学会雑誌 9(1): 27-38, 2007

篠崎恵美子, 山内豊明

呼吸に関するフィジカルアセスメント教育のミニマムエッセンシャルズ 看護・看護系大学 2005 年調査より
看護教育 48(6): 478-483, 2007

坊田香織, 横内光子, 岡田淳子, 藤本浩子, 中信利恵子, 堀 理江, 植田喜久子

看護学生の災害トリアージ訓練の結果から見た教育的課題
日本災害看護学会誌 19(2): 25-39, 2007

〔総説・解説・その他〕

門間晶子, 浅野みどり, 野村直樹

シングルマザーの子育てに関する国内文献レビュー
家族看護学研究 12(3): 153-161, 2007

浅野みどり

予防的育児支援 Oregon Healthy Start Program オレゴン州における集中的家庭訪問サービスの実際
日本看護医療学会雑誌 9(1): 55-60, 2007

平井眞理

高血圧ガイドライン

現代医学 54(6): 425-431, 2007

平井眞理

心電図の世界標準化への努力

心電図 27(1): 1-2, 2007

河野由理, 増田美登里, 大森ゆみ子, 後藤圭子, 河野美智子

「取り組みたいこと」調査で探る-経験年数別看護師の「働きがい」向上ポイント
ナースマネジャー 9(5): 29-34, 2007

前川厚子, 岡田裕作

加齢とストーマケア: ストーマ保有者のライフスパン延長とエイジング

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 23(3): 79-80, 2007

奈良間美保

患者・家族中心の医療を考える

健康文化 42: 36-38, 2007

立岡弓子

看護学生のためのキャリアアップ進学ガイド—助産学専攻コース

ナーシングカレッジ 11: 66-71, 2007

山内豊明

ちゃんと聴けてる呼吸音 フィジカル・アセスメントのコツとワザ

LumiNurse 8: 14-25, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 12 感覚系(眼)前編 「見えにくい」原因を探り, 適切な看護につなげよう

ナース専科 27(10): 84-87, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 13 感覚系（眼）後編 患者さんの「見えにくさ」を整理してケアに役立てる
ナース専科 27(11): 88-91, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 14 感覚系（耳） 「聞こえにくい場合」のアセスメントと看護
ナース専科 27(12): 84-87, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 11 消化器系 腹部症状のとらえ方と消化器系のアセスメント
ナース専科 27(9): 94-97, 2007

山内豊明

理想の医療とは
朝日新聞 26-27, 2007.4.21

住吉蝶子, 山内豊明

（対談）日本の看護実践能力育成において欠けているもの 魅力ある看護者として育てるために
看護教育 48: 643-650, 2007

山内豊明

重症患者の系統別フィジカルアセスメント 総論 フィジカルアセスメントの基礎知識
重症集中ケア 6(3): 6-10, 2007

山内豊明

訪問看護におけるフィジカルアセスメントのポイント
ほうもん看護 (128): 1, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 3 呼吸音 正常と言いきるための条件
ナース専科 27(1): 82-85, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 5 脈と血圧 循環動態を把握する
ナース専科 27(3): 78-81, 2007

山内豊明

アセスメントは言語が要～言語化で情報共有
Nursing Today 22(9): 28, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 6 脈と血圧 測定結果の評価を組み合わせる判断
ナース専科 27(4): 78-81, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 4 呼吸音 循環とのセットで危険信号を読み取る
ナース専科 27(2): 78-81, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 7 心音 発生とメカニズム
ナース専科 27(5): 82-85, 2007

山内豊明

フィジカル・アセスメントは難しくない
ナース専科 27(5): 8-9, 2007

山内豊明

熊大特看の思い出

閉課程記念誌 41 年のあゆみ 熊本大学教育学部 特別教科(看護)教員養成課程 閉課程記念事業実行委員会, 2007.4 pp62-64

山内豊明

理想の医療とは 2

朝日新聞 30-31, 2007.5.26

山内豊明

書評 安全・上手にできる注射マニュアル

医療安全 4(2): 116, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 8 心音 過剰心音から異常のサインを見抜こう

ナース専科 27(6): 92-95, 2007

山内豊明, 森 美春

フィジカルアセスメントのベースは五感を駆使し, 複眼的なセンスをもつこと

看護教育 48: 490-497, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 9 心音 心雑音から危険の程度を見抜く

ナース専科 27(7): 88-91, 2007

山内豊明

フィジカルアセスメント テクニック編 連載 10 消化器系 口から胃までのアセスメント

ナース専科 27(8): 92-95, 2007

山内豊明

アセスメントの疑問 10

ナース専科 27(5): 10-21, 2007

坊田香織, 横内光子, 岡田淳子, 藤本浩子, 中信利恵子, 堀 理江, 植田喜久子

看護学生の災害トリアージ訓練の結果から見た教育的課題

日本災害看護学会誌 19(2): 25-39, 2007

横内光子

心理測定尺度の基本的理解

日本集中治療医学会雑誌 14: 555-561, 2007

〔科研費・班研究等〕

葛谷雅文, 植村和正, 益田雄一郎, 安藤詳子, 飯島 節, 小坂陽一, 水川真二郎
高齢者の終末期ケアに関する研究
厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業平成 18 年度総括分担研究報告書 18-19, 2007

山内一信, 勝山貴美子, 平井眞理
組織心理学的アプローチによる医療リスク発生要因の解明
平成 18・19 年度科学研究費補助金 (萌芽) 研究成果報告書, 2007

岡本和土, 長澤伸江, 堀 容子, 星野純子, 丹羽さゆり, 平松哲夫, 菅沢由美子
主介護者の栄養摂取状況と介護疲労との関連-半定量食物摂取頻度調査法を用いて-
(財)名古屋市高齢者療養サービス事業団平成 18 年度公益助成事業, 2007

梶田悦子, 中谷芳美, 小松美砂, 伊木雅之
無作為割付比較試験によるガイドラインの有効性評価
エビデンスに基づく骨折予防ガイドラインの有効性評価と効率的なエビデンスの実施方法に関する研究 39-56, 2007

河野由理
病院勤務看護師における職業性ストレス要因が心理的および身体的症状に及ぼす影響
平成 18 年度科学研究費補助金若手研究 (B) 研究実績報告書, 2007

奈良間美保, 堀 妙子, 宮城島恭子, 田中千代, 村上泰子
在宅療養児の包括的看護の確立に向けたコーディネーター育成プログラムの開発
平成 15-17 年度科学研究費補助金基盤研究 (C) 研究成果報告書, 2007

太田勝正, 小西恵美子, 山内一史, 松田正己, 八尋道子, 唐澤由美子, 井口弘子
看護における患者情報共有のあり方: 情報プライバシーの観点から
平成 15-17 年度科学研究費補助金基盤研究 (C) 研究成果報告書 1: 1-76, 2007

榊原久孝
手腕振動ばく露リスク評価としてのわが国の手腕振動許容基準値および EU 振動指令規制値に関する研究
平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金, 労働安全衛生総合研究事業「手腕振動障害防止のための振動ばく露リスク評価および低減策に関する研究」研究報告書 : 116-125, 2007

榊原久孝, 藤井千恵, 平井眞理, 島岡 清, 都竹茂樹, 梶岡多恵子, 西田友子
中高年齢者の筋力トレーニングの血管内皮機能への効果に関する介入研究
平成 17~18 年度科学研究補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書: , 2007

清水三紀子
第二章・名古屋における人口社会動態と工業展開の 概況分析 事例調査 (1) 全市的状况の分析
名古屋市における工業の新展開の分析と社会的影響に関する調査・研究 地域社会の変化と今度のまちづくりの展望をふくめて 13-23, 2007

山内豊明, 角間辰之
看護におけるフィジカルアセスメント教育に関するアウトカム評価研究
平成 18 年度科学研究費補助金実績報告書 1-2, 2007

嶋森好子, 野本亀久雄, 山内豊明

ヒヤリ・ハットや事故事例の分析による医療安全対策ガイドライン作成に関する研究

厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業 平成 18 年度 総括研究報告書 1-5, 2007

筒井孝子, 嶋森好子, 田中彰子, 山内豊明, 斎藤訓子, 東野定律, 秋山智弥

急性期入院医療における看護職員配置と看護必要度に関する実態調査

平成 18 年度厚生労働省保健局医療課委託事業 急性期入院医療における看護職員配置と看護必要度に関する実態調査報告書, 2007

山内豊明, 千本美紀

医療チューブ類事故防止対策に関する学際的探索研究

厚生労働科学研究費補助金 医療安全・医療技術評価総合研究事業 平成 18 年度総括研究報告書, 2007

嶋森好子, 野本亀久雄, 山内豊明

ヒヤリ・ハットや事故事例の分析による医療安全対策ガイドライン作成に関する研究

厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業 平成 17 年度～18 年度 総合研究報告書 1-25, 2007

山内豊明, 今磯純子, 佐々木詩子, 三笠里香, 志賀たずよ

人工呼吸器装着 ALS 在宅療養者への安全な気管内吸引実施能力に関する検討-予備調査-

特定疾患患者の生活の質 (Quality of life, QOL) の向上に関する研究 (主任研究者 中島孝) 厚生労働省難治性疾患克服研究事業 平成 18 年度地域における看護支援に関する研究報告集 20-22, 2007

山内豊明, 千本美紀

医療チューブ類事故防止対策に関する学際的探索研究

厚生労働科学研究費補助金 医療安全・医療技術評価総合研究事業 平成 16-18 年度総合研究報告書, 2007

山内豊明, 今磯純子, 佐々木詩子, 三笠里香, 志賀たずよ

人工呼吸器装着 ALS 在宅療養者への安全な気管内吸引実施能力に関する検討 予備調査

特定疾患患者の生活の質 (Quality of life, QOL) の向上に関する研究 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 平成 18 年度 総括・分担研究報告書 200-201, 2007

〔その他の印刷物等〕

安藤詳子

名声会会報第 37 号発刊に当たり

名声会会報 37: 11-12, 2007

池松裕子

クリティカルケア看護を基礎教育の視点で考える

看護展望 32: 1, 2007

水溪雅子

システムズアプローチによる家族支援

メンタルケア養成講座テキスト 3 1: 1-8, 2007

濱松加寸子, 清水三紀子

医療活動と地域社会: 医療・看護・介護活動の新しい展開 刈谷豊田総合病院の事例報告

現代社会の構想と分析現代社会の構想と分析: 46-63, 2007

立岡弓子, 高橋由紀, 山口江利子, 山下 恵
近年の自然分娩の分娩所要時間の再考と新しい分娩予測指標の作成
平成 18 年度日本助産学会研究助成金研究報告書 第 3 号, 113-161, 2008

立岡弓子
受験全科チェックアップ 試験直前対策特集号 女性生殖器疾患と看護 母性看護
医学芸術社 216: 1, 2007

水溪雅子, 野中 猛, 奥田亜由子
家族理解と家族への介入
ケアマネジメント実務における家族の理解と支援 1: 62-69, 2008

〔学会発表〕

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 新實夕香理, 岡田 武, 阿部仁美, 石田夕紀子, 倉澤繭子, 丹羽さゆり, 長澤伸江, 岡本和士, 前川厚子, 榊原久孝

65 歳未満の若年主介護者における脳・心血管疾患リスクファクターの記述疫学的検討 「主介護者の健康支援システムの構築に関する研究」データを用いて (講演集 p201, 2007)

第 17 回日本疫学会学術総会, 2007.1 (広島)

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 新實夕香理, 岡田武, 阿部仁美, 石田夕紀子, 倉澤繭子, 丹羽さゆり, 長澤伸江, 岡本和士, 前川厚子, 榊原久孝

65 歳未満の若年主介護者における脳・心血管疾患リスクファクターの記述疫学的検討 「主介護者の健康支援システムの構築に関する研究」データを用いて

第 17 回日本疫学会学術総会, 2007.1 (広島)

水越真代, 堀 容子, 星野純子, 西尾和子, 榊原久孝, 飯田紗弓, 深谷友美

一般住民における生活習慣病に関する遺伝子型検査に対する意識調査

第 17 回日本疫学会学術総会, 2007.1 (広島)

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 新實夕香理, 岡田武, 阿部仁美, 石田夕紀子, 倉澤繭子, 丹羽さゆり, 長澤伸江, 岡本和士, 前川厚子, 榊原久孝

65 歳未満の若年主介護者における脳・心血管疾患リスクファクターの記述疫学的検討 「主介護者の健康支援システムの構築に関する研究」データを用いて

第 17 回日本疫学会学術総会, 2007.1 (広島)

祖父江正代, 前川厚子, 竹井留美, 吉田和枝, 近藤かおり, 堀井直子, 藤田紀見, 牧野雅子, 廣畑加代子

ストーマを保有する患者への周術期教育が日常生活と自己適応に及ぼす影響 (日本がん看護学会誌 21(Suppl.1): 89)

日本がん看護学会, 2007.1 (東京)

前川厚子, 竹井留美, 祖父江正代, 伊藤美智子, 渡辺富美子

Ostomate's Self Adjustment Scale の日英比較研究 (日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 23(1): pp 74)

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 2007.1 (横浜)

青石恵子, 宇野智子, 大澤 功, 小出龍朗, 石井英子, 榊原久孝

大学生アスリートの健康管理の検討 (第 1 報)

第 17 回日本疫学会学術総会, 2007.1 (広島)

堀井直子, 廣畑加代子, 藤田紀見, 竹井留美, 祖父江正代, 吉田和枝, 牧野雅子, 近藤かおり, 前川厚子
がんによりストーマを保有する患者のソーシャルサポートの現状と課題
日本がん看護学会誌, 2007.1 (東京)

吉田和枝, 竹井留美, 牧野雅子, 堀井直子, 藤田紀見, 近藤かおり, 廣畑加代子, 祖父江正代, 前川厚子
消化管ストーマを保有する高齢者の「ストーマとともに生きる体験」(日本がん看護学会誌 21(1) p88, 2007)
日本がん看護学会, 2007.1 (東京)

吉田和枝, 竹井留美, 牧野雅子, 堀井直子, 藤田紀見, 近藤かおり, 廣畑加代子, 祖父江正代, 前川厚子
消化管ストーマを保有する高齢者の「ストーマとともに生きる体験」(日本がん看護学会誌 21(1) p88, 2007)
日本がん看護学会, 2007.1 (東京)

牧野雅子, 藤田紀見, 祖父江正代, 竹井留美, 近藤かおり, 廣畑加代子, 吉田和枝, 堀井直子, 前川厚子
尿路ストーマ保有者の「ストーマとともに生きる体験」(日本がん看護学会誌 21(1) p88, 2007)
日本がん看護学会, 2007.1 (東京)

高田真澄, 宮尾 克, 山内豊明, 田中邦彦, 森田啓之, 塩沢友規, 北岡良之, 高田宗樹
Galvanic Vestibular Stimulation を与えた際の動揺図と制動能の検討 (日本病態生理学会雑誌 15(2):40, 2006)
第 17 回日本病態生理学会大会, 2007.1 (那覇)

ANDO Shoko, SHIGESAWA Hiroko, MAEKAWA Atsuko

Recognition in decision-making of elderly cancer patients in the end-of-life and he family caregivers, and the support by home-visiting nurses(Abstract Book p70, 2007)
Second International Conference Japanese Society of Cancer Nursing, 2007.2 (東京)

KOKUFU Hiroko

Nursing support for breast cancer patients in choosing initial treatment
Second International Conference Japanese Society of Cancer Nursing, 2007.2 (Tokyo)

澤井美穂, 安藤詳子, 中村みゆき, 深谷陽子, 竹井留美, 前川厚子
ホスピスケア認定看護師のケアの視点-実践活動に焦点を当てて (日本がん看護学会誌 第 21 巻 特別号 p113, 2007.2.)
第 21 回日本がん看護学会学術集会, 2007.2 (東京)

YOSHIDA Yukihiro, MATSUMOTO Masaya, YAMAMOTO Takashi, HASHIMOTO Tousei, AOYAMA Yutaka, SUZUKI Hirohiko, MURAMATSU Takashi, TATEMATSU Yasushi, NANASATO Mamoru, MIWATA Satoru, HIRAYAMA Haruo, OKADA Taro, MURAKAMI Yoshimasa, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, **HIRAI Makoto**, INDEN Yasuya, YAMADA Takumi, IZAWA Hideo, MUROHARA Toyoaki

Clinical Effectiveness of CRT for Moderate to Severe Mitral Regurgitation in Patients with HF and IVCD Yasuhiro OGURA (Circ J)
第 71 回日本循環器学会総会, 2007.3 (神戸)

YOSHIDA Naoki, YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, OKADA Taro, SHIMIZU Takeshi, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, MUTOH Masahiro, KONDO Takahisa. INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki

Autonomic Nervous System Remodeling Toward a Vagal Tonic State Could Be Caused by the Perpetuation of Atrial Fibrillation
第 71 回日本循環器学会総会, 2007.3 (神戸)

YOSHIDA Naoki, MURAKAMI Yoshimasa, YAMADA Takumi, OKADA Taro, SHIMIZU Takeshi, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, MUTOH Masahiro, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyooki

The Predictor of Long-Term Success in Patients with Early Recurrence of Atrial Fibrillation After Pulmonary Vein Isolation
第 71 回日本循環器学会総会, 2007.3 (神戸)

YOSHIDA Naoki, YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, OKADA Taro, SHIMIZU Takeshi, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, MUTOH Masahiro, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyooki

Can Further Vagal Modification be Achieved by a Superior VenaCava Isolation Added to the Pulmonary Vein Isolation ?
(Circ J)

第 71 回日本循環器学会総会, 2007.3 (神戸)

INDEN Yasuya, KITAMURA Kazuhisa, SHIMANO Masayuki, UCHIKAWA Tomohiro, HIRASHIKI Akihiro, HARADA Shuji, TAKAGI Katsumasa, YAMAUCHI Masaki, YANASE Masanobu, TSUJI Yukiomi, TAKADA Yasunobu, KONDO Takahisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyooki

Bepridil Magnifies Left-to-Right Atrial Frequency Gradient in Chronic Atrial Fibrillation (Circ J)

第 71 回日本循環器学会総会, 2007.3 (神戸)

MURAKAMI Yoshimasa, YAMADA Takumi, YOSHIDA Naoki, GOUCHI Tomoko, MAEKAWA Hironobu, YOSHIKAWA Daiji, WATANABE Kosuke, ASAI Toru, TANI Tomomitsu, YOKOYA Masaki, MATSUSHITA Toyooki, SHIMIZU Takeshi, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiro, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyooki

Can Crochetage Pattern Identify Presence of Patent Foramen Ovale in Patients with Atrial Fibrillation-Taro OKADA

第 71 回日本循環器学会総会, 2007.3 (神戸)

YAMAMOTO Takashi, YOSHIDA Yukihiro, MATSUMOTO Masaya, HASHIMOTO Tousei, AOYAMA Yutaka, SUZUKI Hirohiko, OGURA Yasuhiro, MURAMATSU Takashi, TATEMATSU Yasushi, NANASATO Mamoru, MIWATA Satoru, HIRAYAMA Haruo, OKADA Taro, MURAKAMI Yoshimasa, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, **HIRAI Makoto**, INDEN Yasuya, YAMADA Takumi, IZAWA Hideo, MUROHARA Toyooki

Midterm Outcome of Upgrading from RV Pacng to CRT in Previously Paced Patients with Severe HF and LV Systolic Dysfunction (Circ J)

第 71 回日本循環器学会総会, 2007.3 (神戸)

UCHIKAWA Tomohiro, INDEN Yasuya, SHIMANO Masayuki, KITAMURA Kazuhisa, HIRASHIKI Akihiro, HARADA Shuji, TAKAGI Katsumasa, YAMAUCHI Masaki, TSUJI Yukiomi, YANASE Masanobu, KONDO Takahisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyooki

Delayed Improvement Of the Left Ventricular Dyssynchrony after Cardiac Resynchronization Therapy in Severe Chronic Heart Failure (Circ J)

第 71 回日本循環器学会総会, 2007.3 (神戸)

AOYAMA Yutaka, YOSHIDA Yukihiro, MATSUMOTO Masaya, YAMAMOTO Takashi, HASHIMOTO Tousei, SUZUKI Hirohiko, OGURA Yasuhiro, MURAMATSU Takashi, TATEMATSU Yasushi, NANASATO Mamoru, MIWATA Satoru, HIRAYAMA Haruo, OKADA Taro, MURAKAMI Yoshimasa, TSUBOI Naoya, ITOH Teruo, **HIRAI Makoto**, INDEN Yasuya, YAMADA Takumi, IZAWA Hideo, MUROHARA Toyooki

Clinical Effectiveness of CRT in Patients with NYHA Class II Heart Failure and IVCD (Circ J)

第 71 回日本循環器学会総会, 2007.3 (神戸)

浅野みどり

家族看護学分野における看護介入研究のアジェンダを探る(抄録集 p16,2007)

第 11 回日本看護研究学会東海地方会学術集会, 2007.3 (浜松)

小倉りか, 佐伯香織, 藤井徹也

看護教員が考える基礎看護技術の修得に必要な要素(第 11 回日本看護研究学会東海地方会学術集会・抄録集 p30, 2007)

第 11 回日本看護研究学会東海地方会学術集会, 2007.3 (浜松)

梅澤志穂, 藤井徹也, 佐伯香織

国際保健医療における看護に関する研究動向の分析(第 25 回日本国際保健医療学会西日本地方会抄録集, 2007)

第 25 回日本国際保健医療学会西日本地方会抄録集, 2007, 2007.3 (名古屋)

佐藤好恵, 藤井徹也, 篠田貢一, 酒井一由, 小澤由紀, 木村 勝, 浅本 憲, 中野 隆

殿部への筋肉内注射の適切な部位の検討 第 5 報大殿筋の分布について (日本解剖学会第 112 回総会・全国学術集会抄録号 p170, 2007)

日本解剖学会第 112 回総会・全国学術集会, 2007.3 (大阪)

池松裕子

クリティカルケア看護研究がめざすもの(日本集中治療医学会雑誌 14(Suppl.) p 308, 2007)

, 2007.3 (大阪)

山内豊明

ICU におけるフィジカルアセスメント「呼吸の聴診における標準語」(日本集中治療医学会雑誌 第 34 回日本集中治療医学会学術集会プログラム・抄録集 14:121,2007)

第 34 回日本集中治療医学会学術集会, 2007.3 (神戸)

前川厚子, 岡田裕作

ストーマ保有者のライフパン延長とエイジングへのストラテジー(日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 23(1): 38)

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 2007.4 (横浜)

祖父江正代, 前川厚子, 竹井留美, 吉田和枝

ストーマ手術後 3 年間の自己適応過程とパターン分析(日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌 11(1): 33)

日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会, 2007.4 (福岡)

白川利朗, 岡本明子, 重村克巳, 寺尾秀治, 後藤章暢, 川端真人, 藤澤正人

ヒト膀胱癌細胞における選択的 Cox-2 阻害剤, Etodolac の E-cadherin 発現増強および抗腫瘍効果の検討(日本泌尿器科学會雑誌 98(2)(20070220) p 370, 2007)

第 95 回日本泌尿器科学会総会, 2007.4 (神戸)

IGUCHI Hiroko, OTA Katsumasa

Nurses ' Perception of Patients ' Privacy

2007 年 CRN・ICN 学術集会, 2007.4 (横浜)

西谷直子, 榊原久孝

事業場で働く人の睡眠状態と炎症反応との関係

第 80 回日本産業衛生学会, 2007.4 (大阪)

平田 衛, 榊原久孝

振動障害患者における神経伝達速度と手の巧緻性との関係
第 80 回日本産業衛生学会, 2007.4 (大阪)

OJIO Yasuyo, **KAWATSU Yoshiko**

Aiming at the community-based nursing activity
ICN 学術集会, 2007.5 (横浜)

早川綾, 鈴木和代

大学生が求める性の情報についての研究 (抄録集 p1)
第 25 回愛知母性衛生学会学術集会, 2007.5 (名古屋)

安藤詳子, 加藤元美, 渡邊祥子, 水野敏子, 澤井美穂

ホスピスケア実践の経験から「緩和ケア支援センター」に求める機能 (第 12 回日本緩和医療学会 講演抄録集 p263, 2007)
第 12 回日本緩和医療学会, 2007.6 (岡山)

渡邊祥子, 安藤詳子, 大西丈二, 加藤元美, 水野敏子

緩和ケア病棟における在宅連携の現状と課題 (第 12 回日本緩和医療学会 講演抄録集 p209, 2007)
第 12 回日本緩和医療学会, 2007.6 (岡山)

光行多佳子, 安藤詳子, 深谷陽子, 水野敏子, 澤井美穂

緩和ケア病棟における「痛み計」の臨床試行 (第 12 回日本緩和医療学会 講演抄録集 p230, 2007)
第 12 回日本緩和医療学会, 2007.6 (岡山)

渡邊祥子, 大西丈二, 安藤詳子

A 県の緩和ケア病棟における入院判定に関する現状と課題 (第 15 回日本ホスピスケアと在宅ケア 40 抄録集 p87, 2007)
第 15 回日本ホスピスケアと在宅ケア研究会, 2007.6 (高山)

ASANO Midori, FURUTA Keiko, KADOMA Akiko, **MURAKAMI Hiroko**, OHASHI Yukimi, YAMADA Tomoko,
YONEYAMA Kana, SUGIURA Taichi

ANNUAL MEETING TO SUPPORT FAMILIES WHO HAVE TWIN CHILDREN WITH DISABILITY (conference book,
p134,2007)

The 8th International Family Nursing Conference, 2007.6 (Bangkok, Thailand)

前田優雅, 国府浩子

治療中の乳がん患者に及ぼす同病者の影響
第 15 回日本乳癌学会総会, 2007.6 (神奈川)

国府浩子, 阿比留衣子, 小野菊代, 土井晴代, 時里玉栄, 尾田登志子, 田淵康子

福岡 Breast Care Nursing 研究会の活動と今後の課題
第 15 回日本乳癌学会総会, 2007.6 (神奈川)

SOBUE Masayo, **MAEKAWA Atsuko**, MIWA Emi, YOSHIDA Kazue, **TAKEI Rumi**, HORII Naoko.

BEFORE AND AFTER (Europa Stomacare Nurse p35)

9th European Congress for Nurses with Interest in Stomacare, 2007.6 (Sarzberg, Austria)

MAEKAWA Atsuko, SOBUE Masayo, TAKEI Rumi, MENJU Noriko, MENJU Akira, Jane SMITH, Kingsley SIMMONS

Relevance of QOL and adjustment (Europa Stomacare Nurse p48)
9th European Congress for Nurses with Interest in Stomacare, 2007.6 (Sarzburg, Austria)

太田勝正, 井口弘子
患者のプライバシーに配慮した電子カルテシステムの設計例について
第8回日本医療情報学会看護学術大会, 2007.6 (福岡)

太田勝正
看護学生の「ヒバク」という言葉のとらえ方とイメージについて
日本保健物理学会第41回研究発表会, 2007.6 (東京)

都竹茂樹, 梶岡多恵子, 遠藤英俊, 榊原久孝, 島岡 清
自重・筋力トレーニングが高齢女性の形態・身体組成に及ぼす影響 厚生省国保ヘルスアップモデル事業1年間の成果
2007年度日本老年学会総会, 2007.6 (札幌)

山内豊明
看護診断とアセスメントとのつながり (看護診断 第13回日本看護診断学会学術大会プログラム・抄録集 12(2):49-50, 2007)
第13回日本看護診断学会学術大会, 2007.6 (大阪)

門間晶子, 浅野みどり
シングルマザーの語りと会話から読み取れる子育ての経験の意味 (プログラム・内容要旨, 197, 2007)
日本看護研究学会誌, 2007.7 (盛岡)

古田恵香, 浅野みどり
双子の母親の愛着感情の偏りにおける関連要因 出生後早期のケア, 児の年齢を中心に (講演集 p105, 2007)
日本小児看護学会第17回学術集会, 2007.7 (松本)

赤川陽子, 佐伯香織, 藤井徹也
死後処置の教育と看護師の認識に関する調査 (第33回日本看護研究学会学術集会 30(3): p254, 2007)
第33回日本看護研究学会学術集会, 2007.7 (盛岡)

藤井徹也, 佐伯香織, 門井貴子, 中野 隆, 中山和弘
基礎看護技術講義・演習における専門基礎知識の教授の実態と問題点 (第33回日本看護研究学会学術集会 30(3): p258, 2007)
第33回日本看護研究学会学術集会, 2007.7 (盛岡)

堀妙子, 奈良間美保, 村上泰子, 田中千代, 齊藤麻子, 松永侑美
子どもの医療的ケアに関わる保健・医療・教育職を対象とした講習会の有効性の検討 (日本小児看護学会第17回学術集会講演集)
第54回日本小児看護学会第17回学術集会, 2007.7 (松本)

夏目貴美子, 太田勝正
受け持ち看護師による情報収集の際の患者の抵抗感について
第33回日本看護研究学会学術集会, 2007.7 (盛岡)

原田直子, 榊原久孝
地域筋力強化教室修了後 10 か月後の効果に関する研究
第 53 回東海公衆衛生学会学術大会, 2007.7 (津)

安藤映梨子, 榊原久孝
神経難病在宅療養者の QOL と活動性および地域における社会資源利用との関係
第 53 回東海公衆衛生学会学術大会, 2007.7 (津)

篠崎恵美子, 山内豊明
模擬患者参加型のフィジカルエグザミネーションを含んだ看護面接演習の必要性 (医学教育 38(補冊):20,2007)
第 39 回日本医学教育学会大会, 2007.7 (盛岡)

古澤亜矢子, 浅野みどり, 大橋幸美, 門間晶子, 吉田久美子
自閉症児の行動特徴が家族と社会の関係に及ぼす影響 自閉症の子どもの医療場面に關する家族の語りから (抄録掲載,p 100,2007)
家族看護学研究, 2007.8 (青森)

山幡朗子, 春田佳代. 白鳥さつき, 篠田かおる, 脇本寛子, 三善郁代, 鈴村初子, 藤井徹也, 中野 隆
三角筋への筋肉内注射に關する教科書比較と解剖所見からの検討 (日本看護学教育学会第 17 回学術集会講演集 p193, 2007)
日本看護学教育学会第 17 回学術集会, 2007.8 (福岡)

IKEMATSU Yuko

Mood Disturbance of Cardiac Tamponade Patients
4th Congress of the World Federation of Critical Care Nurses, 2007.8 (South Africa)

河津芳子, 小笠原ゆかり
看護教育史に關する研究 基礎教育課程における一般教育科目の変遷
日本看護歴史学会第 21 回学術集会, 2007.8 (京都)

坂口豊代, 杉松智美, 永井邦芳, 水溪雅子
臨床看護師の抑うつと感情特性, 否定的な認知傾向との關連 (その 1) (第 9 回日本看護医療学会学術集会 プログラム講演集)
第 9 回日本看護医療学会, 2007.8 (春日井)

坂口豊代, 杉松智美, 永井邦芳, 水溪雅子
臨床看護師の抑うつと感情特性, 否定的な認知傾向との關連 (その 2) 怒りの対処と抑うつとの關連 (第 9 回日本看護医療学会学術集会 プログラム講演集)
第 9 回日本看護医療学会, 2007.8 (春日井)

OKAMOTO Asako, HAPSARI Elsi Dwi, UCHIYAMA Hachiro, KAWABATA Masato

Community based disaster health management and social capital in Indonesia(The 16th 2007 Indonesian Scientific Conference)
The 16th 2007 Indonesian Scientific Conference, 2007.8 (京都)

伊藤千晴, 太田勝正
教科書からみた戦後の看護倫理教育内容の変遷
第 17 回日本看護学教育学会学術集会, 2007.8 (福岡)

IGUCHI Hiroko, **OTA Katsumasa**

Comparison of Perceptions of Patients' Information Privacy in Dealing with Nurses in Japan(抄録集 CD-ROM)
MEDINFO2007, 2007.8 (Brisbane)

YAMANOUCHI Kazushi, ASANUMA Yuko, ENDO Yoshihito, **OTA Katsumasa**, MAJIMA Yukie, NEKODA Yasutoshi,
MAEDA Jukai, TSURU Satoko

Reorganization of Japanese Textbooks for Nursing Informatics(抄録集 CD-ROM)
MEDINFO2007, 2007.8 (Brisbane)

山内豊明

医師・看護師の立場から見た医薬品のリスクマネジメント(日本病院薬剤師会関東ブロック第37回学術大会 講演要旨集:71,2007)
日本病院薬剤師会関東ブロック第37回学術大会, 2007.8 (宇都宮)

浅野みどり

母親が認識する乳児の状態と育児困難感の特徴とその要因(講演集)
第54回日本小児保健学会, 2007.9 (前橋)

春田佳代, 山幡朗子, 藤井徹也, 中野 隆

三角筋筋肉内注射部位の安全性に関する局所解剖学的研究(形態・機能6(1): p56, 2007)
コ・メディカル形態機能学会第6回学術集会, 2007.9 (東温)

工藤慎太郎, 藤井徹也, 浅本 憲, 中野 隆

コ・メディカル養成校における解剖画像教材を用いた講義の一例(形態・機能6(1): p61, 2007)
コ・メディカル形態機能学会第6回学術集会, 2007.9 (東温)

吉田幸彦, 坪井直哉, 金村則良, 橋本踏青, 松本正弥, 鈴木博彦, 山本崇之, 青山 豊, 石川清猛, 小椋康弘, 井上夏夫, 立松 康, 七里 守, 三輪田悟, 平山治雄, 伊藤昭男, 山下健太郎, 岡田太郎, 山田 功, 村上善正, 因田恭也, 室原豊明, 平井真理, 外山淳治
心臓再同期療法: 症例選択と効果判定

J Cardiol, 2007.9 (浦安)

鈴木洋子, 星野純子, 今川良枝, 長澤伸江, 堀 容子

主介護者の介護負担と食物摂取量に関する研究(第一報)(講演要旨集 p295, 2007)
第54回日本栄養改善学会学術総会,

IKI Masayuki, NAKATANI Yoshimi, KOMATSU Misa, TAMAKI Junko, **KAJITA Etsuko**

A randomized controlled assessment for effectiveness of an evidence-based guideline for osteoporosis and osteoporotic fracture prevention: Design and pre-intervention assessment

ASBMR 29th Annual Meeting, 2007.9

村上泰子, 奈良間美保, 堀 妙子, 齊藤麻子, 田中千代, 松永侑美, 山崎嘉久

子どもの医療的ケアに関わる保健・医療・教育職の実態調査(第二報) 医療情報ニーズについて(第54回日本小児保健学会講演集)

第54回日本小児保健学会総会, 2007.9 (前橋)

茂本咲子, 奈良間美保, 浅野みどり

母親が認識する乳児の状態と育児困難感の特徴とその関連(第54回日本小児保健学会講演集)
第54回日本小児保健学会, 2007.9 (前橋)

齊藤麻子, 奈良間美保, 堀 妙子, 村上泰子, 田中千代, 松永侑美, 山崎嘉久
子どもの医療的ケアに関わる保健・医療・教育職の実態調査(第一報) 支援の現状について (第54回日本小児保健学会講演集)

第54回日本小児保健学会, 2007.9 (前橋)

志澤美保, 志澤康弘, 日野林 俊彦, 南 徹弘
母親の食べてみせる行動と子どもの食べる行動との関連 (発表論文集)
日本心理学会第71回大会 2007.9 (東京)

大橋幸美, 浅野みどり, 古澤亜矢子, 門間晶子, 吉田久美子
18か月児の子どもの行動特徴と母親の育児ストレス, QOL, 家族機能との関連 (講演抄録集, p33, 2007)
第9回日本看護医療学会学術集会, 2007.10 (春日井)

藤井徹也, 佐伯香織, 小澤由紀, 坂上明子, 酒井一由, 中野隆
フィジカルアセスメント教育についての調査 専門基礎知識(形態学・機能学)教育との関連について (日本看護技術学会第6回学術集会講演抄録集 p107, 2007)
日本看護技術学会第6回学術集会, 2007.10 (前橋)

林 省吾, 藤井徹也, 工藤慎太郎, 佐藤好恵, 時田幸之輔, 小澤由紀, 太田慶一, 福沢嘉孝, 浅本 憲, 中野 隆
フィジカルアセスメントの理解のための胸腹部段階型解剖式の提案 (日本解剖学会第67回中部支部学術集会予稿集: p42, 2007)
日本解剖学会第67回中部支部学術集会, 2007.10 (長久手)

神谷裕美, 因田恭也, 北村和久, 嶋野祐之, 山内正樹, 原田修治, 内川 浩, 平敷安希博, 辻 幸臣, 高木克昌, 築瀬正伸, 平井眞理, 室原豊明
難治性心不全に対し3点ペースング治療を行った3症例
心電図, 2007.10 (名古屋)

小椋康弘, 吉田幸彦, 金村則良, 松本正弥, 橋本踏青, 山本崇之, 青山 豊, 鈴木博彦, 井上夏夫, 立松康七里守, 三輪田悟, 平山治雄, 坪井直哉, 伊藤昭男, 因田恭也, 室原豊明, 平井眞理
再同期療法後15カ月後に逆リモデリングをみとめた拡張型心筋症の1例
心電図, 2007.10 (名古屋)

鈴木博彦, 吉田幸彦, 金村則良, 橋本踏青, 松本正弥, 山本崇之, 青山 豊, 石川清猛, 小椋康弘, 井上夏夫, 立松 康, 七里 守, 三輪田悟, 平山治雄, 坪井直哉, 伊藤昭男, 山下健太郎, 岡田太郎, 山田 功, 村上善正, 平井眞理, 因田恭也, 室原豊明
発作性心房細動に対する下大静脈・三尖弁峡部アブレーションの効果
心電図, 2007.10 (名古屋)

吉田直樹, 村上善正, 山田 功, 岡田太郎, 山下健太郎, 浅井 徹, 清水 武, 外山浮治, 吉田幸彦, 坪井直哉, 伊藤昭男, 武藤真広, 因田恭也, 平井眞理, 室原豊明
肺静脈隔離術直後の心房細動再発時における心房期外収縮の連結糊に関する検討
心電図, 2007.10 (名古屋)

原田修治, 因田恭也, 神谷裕美, 嶋野祐之, 内川智浩, 北村和久, 平敷安希博, 山内正樹, 辻 幸臣, 平井眞理, 室原豊明
His 束近傍心室性期外収縮の2症例
心電図, 2007.10 (名古屋)

内川智浩, 因田恭也, 神谷裕美, 嶋野祐之, 北村和久, 平敷安希博, 原田修治, 山内正樹, 辻 幸臣, 平井眞理, 室原豊明
心臓再同期療法による左室同期不全改善の時間経過 高度心機能低下例では左室同期不全改善に時間的遅延が認められる
心電図, 2007.10 (名古屋)

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 新實夕香理, 桜井志保美, 永井邦芳, 大西丈二, 前川厚子, 榊原久孝
在宅重度要介護者の主介護者における脳・心血管疾患リスクファクターの記述疫学的検討 (抄録集)
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 新實夕香理, 桜井志保美, 永井邦芳, 大西丈二, 前川厚子, 榊原久孝.
在宅重度要介護者の主介護者における脳・心血管疾患リスクファクターの記述疫学的検討
66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 新實夕香理, 桜井志保美, 永井邦芳, 大西丈二, 前川厚子, 榊原久孝
在宅重度要介護者の主介護者における脳・心血管疾患リスクファクターの記述疫学的検討 (抄録集 p 510)
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (愛媛)

堀 容子, 近藤高明, 榊原久孝, 水越真代, 丸山智美, 近藤良伸, 星野純子, 佐久間清美, 岡本和士
スーパーマーケットにおける健康づくり事業参加者の特徴 (二報)(抄録集 p 322)
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (愛媛)

梶田悦子, 小松美砂, 玉置淳子, 中谷芳美, 由良晶子, 伊木雅之
エビデンスに基づく骨折・骨粗鬆症予防対策 (第 1 報) 全国市町村の骨粗鬆症対策 (抄録集 54(10))
第 66 回日本公衆衛生学会, 2007.10

阿部喜代子, 玉置淳子, 門脇英子, 佐藤祐保, 森田明美, 小松美砂, 武内さやか, 梶田悦子, 伊木雅之
椎体骨折スクリーニングとしての身体計測指標の有効性に関する検討 (抄録集 54(10))
第 66 回日本公衆衛生学会, 2007.10

中谷芳美, 梶田悦子, 小松美砂, 武内さやか, 玉置淳子, 伊木雅之
エビデンスに基づく骨折・骨粗鬆症予防対策 (第 2 報) エビデンス準拠度の程度と関連要因 (抄録集 54(10))
第 66 回日本公衆衛生学会, 2007.10

河野由理, 大森ゆみ子, 増田美登里, 河野美智子
看護ケアの中で患者が満足を感じたケア内容 急性期病院の看護師の認識 (看護管理 p 139, 2007)
第 38 回日本看護学会 看護管理, 2007.10 (和歌山)

大森ゆみ子, 増田美登里, 河野由理, 河野美智子
急性期病院の看護師が看護ケアの中で満足を感じたこと (第 38 回日本看護学会抄録集 看護管理 p 138, 2007)
第 38 回日本看護学会 看護管理, 2007.10 (和歌山)

小笠原ゆかり, 小塩泰代, 世古美恵子, 河津芳子
看護基礎教育における一般教育科目の開講科目 ~I 県内 3 年制看護学校の場合 ~
第 9 回日本看護医療学会学術集会, 2007.10 (愛知)

水越真代, 近藤高明, 堀 容子, 榊原久孝, 丸山智美, 星野純子, 金森恭子, 伊藤英代, 佐久間清美, 岡本和士
スーパーマーケットにおける産官学協働型健康づくり事業の実践とその評価 (一報)(抄録集 pp 321-322)
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (愛媛)

OKAMOTO Asako, HAPSARI Elsi Dwi, UCHIYAMA Hachiro, KAWABATA Masato
Social Capital and Awareness of Natural Disaster in Indonesia(抄録集 p31)
第 22 回日本国際保健医療学会総会・全国学術集会, 2007.10 (大阪)

天白奈々子, 蜂須賀麻衣, 新實夕香理, 太田勝正
臨地実習において学生が記録する患者情報の保護と匿名化について (看護管理 pp407-409)
第 38 回日本看護学会, 2007.10 (和歌山)

西田友子, 榊原久孝, 都竹茂樹
生活習慣病への運動実践を含む健康教育の効果とその持続性
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

原田直子, 榊原久孝
前期高齢者を対象とした地域筋力強化教室の効果に関する研究
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

北澤 舞, 岡部美幸, 後藤文枝, 桜井志保美, 前川厚子
A 市における独居高齢者の防災準備と災害対策に関する研究
66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

毛受矩子, 毛受 彬, 桜井志保美, 野田明子, 前川厚子, 平井真理, 落合世津子, 熊本光代, 中島てみ子, 中野律子
IT を活用したセルフメディケーションの取り組みとその評価
66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

北澤 舞, 岡部美幸, 後藤文枝, 桜井志保美, 前川厚子
A 市における独居高齢者の防災準備と災害対策に関する研究 (抄録集 p495)
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

岡部美幸, 北澤 舞, 後藤文枝, 桜井志保美, 前川厚子
A 市における独居高齢者の包括的健康関連 QOL とその関連要因に関する研究 (抄録集 p495)
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

毛受矩子, 毛受 彬, 桜井志保美, 野田明子, 前川厚子, 平井真理, 落合世津子, 熊本光代, 中島てみ子, 中野律子
IT を活用したセルフメディケーションの取り組みとその評価 (抄録集 p369)
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

小林祐子, 安藤詳子, 澤井美穂, 国府浩子
終末期がん患者の療養場所の選択に関する事例検討 (第 31 回日本死の臨床研究会 予稿集 p177, 2007)
第 31 回日本死の臨床研究会, 2007.11 (熊本)

小田原名歩, 安藤詳子, 澤井美穂, 国府浩子
臨床経験別比較による ホスピス・緩和ケア病棟看護師の学習ニーズ (第 31 回日本死の臨床研究会 予稿集 p248, 2007)
第 31 回日本死の臨床研究会, 2007.11 (熊本)

堀 文子, 上田ゆみ子, 小野雄一郎, 飯田忠行, 蛭田秀一, 島岡みどり, 今枝敏彦, 巽あさみ, 服部洋兒, 篠崎恵美子, 安藤
詳子
ベッド上端座位から車いす移乗介助における介護ベルト使用の効果 (第 19 年度日本産業衛生学会東海地方会学会)
第 19 年度日本産業衛生学会東海地方会学会, 2007.11 (名古屋)

新村哲夫, 張森, 堀井裕子, 中崎美峰子, 長瀬博文, 梶田悦子, 王紅兵, 鏡森定信
中国内モンゴルと日本の若年有経女性における尿中骨吸収マーカーと骨量 (抄録集 pp104-105)
第 72 回日本民族衛生学会, 2007.11

近藤高明, 上山 純, 木全明子, 山本佳那実, 堀 容子
健常成人男性集団で体重が血圧に与える影響 経年的測定データの多重レベル解析 (厚生指標 54(13): 7-13, 2007)
, 2007.11

三上勇氣, 水溪雅子, 永井邦芳
精神科に勤務する看護師の抑うつと怒り感情との関連およびその認知的特徴についての検討 (日本精神衛生学会第 23 回大会プログラム抄録集)
第 23 回日本精神衛生学会, 2007.11 (東京)

杉田豊子, 水溪雅子, 永井邦芳
臨床看護師の感情喚起場面の対処による不全感 (日本精神衛生学会第 23 回大会プログラム抄録集)
第 24 回日本精神衛生学会, 2007.11 (東京)

杉田豊子, 水溪雅子, 永井邦芳
臨床看護師の感情喚起場面の対処による不全感 (日本精神衛生学会第 23 回大会プログラム抄録集)
第 24 回日本精神衛生学会, 2007.11 (東京)

三上勇氣, 水溪雅子, 永井邦芳
精神科に勤務する看護師の抑うつと怒り感情との関連およびその認知的特徴についての検討 (日本精神衛生学会第 23 回大会プログラム抄録集)
第 23 回日本精神衛生学会, 2007.11 (東京)

二宮里江, 永井邦芳, 水溪雅子
精神科看護師が患者との関わりの中で抱くネガティブな感情とその影響 (日本精神衛生学会第 23 回大会プログラム抄録集)
第 23 回日本精神衛生学会, 2007.11 (東京)

二宮里江, 永井邦芳, 水溪雅子
精神科看護師が患者との関わりの中で抱くネガティブな感情とその影響 (日本精神衛生学会第 23 回大会プログラム抄録集)
第 23 回日本精神衛生学会, 2007.11 (東京)

太田勝正, 井口弘子
患者のプライバシー保護のための電子カルテ表示方法の検討
第 27 回医療情報学連合大会, 2007.11 (神戸)

西谷直子, 榎原久孝
非肥満男性従業員の 2 年間に於ける BMI 増加と食行動, 職場ストレスとの関係
平成 19 年度日本産業衛生学会東海地方会学会, 2007.11 (名古屋)

西村起代美, 澤井美穂, 安藤詳子, 小林祐子, 小田原名歩, 奥村早苗
がん性疼痛看護認定看護師の疼痛緩和実施における視点と卓越性 (予稿集 p208, 2007)
第 31 回日本死の臨床研究会, 2007.11 (熊本)

立岡弓子, 高橋真理, 高橋由紀
暴力を受けた女性の看護に関する実態調査 (抄録集)
第 48 回日本母性衛生学会総会学術集会, 2007.11 (つくば)

SHINOZAKI Emiko, YAMAUCHI Toyoaki
Minimum Essentials of Physical Assessment on Respiratory System in Basic Nursing Education in Japan(Sigma Theta Tau International-39th Biennial Convention-Baltimore <http://www.nursinglibrary.org/Portal/main.aspx?pageid=4024&pid=19396>)
39th Biennial Convention-Baltimore , 2007.11 (Baltimore, Maryland, USA)

川谷陽子, 横内光子
ドクターヘリフライトナースの外傷看護実践に関する文献検討 (日本航空医療学会誌 8(3):108, 2007)
日本航空医療学会誌, 2007.11 (千葉)

新實夕香理, 太田勝正, 唐澤由美子, 中村 恵, 浅沼優子, 井口弘子
患者がとらえる情報プライバシーに関する問題: 医療者の取扱いにおいて
第 27 回日本看護学会学術集会, 2007.12 (東京)

新實夕香理, 太田勝正, 唐澤由美子, 中村 恵, 浅沼優子, 井口裕子
患者がとらえる情報プライバシーに関する問題: 医療者の取扱いにおいて
第 27 回日本看護科学学会学術集会, 2007.12 (東京)

〔公開講座・講演会〕

奈良間美保
慢性的な健康問題をもつ小児の継続的支援 Patient- and family-centered care の視点から
第 45 回岩手県小児保健学会 特別講演, 2007.2 (盛岡)

太田勝正
電子化ではなく情報化という視点で: Nursing Information の展望 情報はすべて電子化できるか?
東京女子医科大学大学院看護学研委員会シンポジウム, 2007.2 (ウェブフォーラム)

安藤詳子
緩和ケア支援センターを地域に (住みなれた自宅で最後まで がん患者さんの在宅ケアを支える地域連携フォーラム)
東海ターミナルケア研究会・NPO.Me-net 主催, 2007.3 (名古屋)

鈴木和代
だからからだゼミナール「ぼくもわたしも赤ちゃんだった! ~生きていく力がみなぎるよ! ~」
1, 2007.3 (名古屋)

安藤詳子
2007 年がん緩和ケアを地域に繋ぐ (第 9 回大幸ライフトピア連携研究会)
大幸ライフトピア連携研究会, 2007.4 (名古屋)

浅野みどり
母子保健事業における家族ケア姿勢の再考 乳幼児健診における多職種間連携の現状と課題
豊田市子ども家庭課 対人援助研修, 2007.4 (豊田)

榊原久孝

次世代の介護 トータル・ヘルス・プランニング
医療・福祉タウン研究学会, 2007.4 (名古屋)

奈良間美保

研修会のねらい 子ども・家族主体の在宅ケアを目指して
平成 19 年度第 1 回 小児在宅ケアコーディネーター研修会, 2007.6 (名古屋)

太田勝正

医療と情報：患者情報は誰のものか？
第 8 回日本赤十字看護学会学術集会テーマセッション, 2007.6 (豊田)

太田勝正

情報共有とプライバシー
第 33 回日本看護研究学会学術集会ワークショップ, 2007.7 (盛岡)

奈良間美保

日本版 Parenting Stress Index(PSI) の利用方法とそれを用いた援助
PSI 育児ストレスインデックス活用セミナー, 2007.9 (東京)

太田勝正

患者情報とプライバシー
平成 19 年度名古屋大学第 10 回公開講座, 2007.9 (名古屋)

榊原久孝

高齢社会を生き抜く健康対策
羽島市ヘルスアップ教室開講式, 2007.9 (羽島)

榊原久孝

生活習慣病予防の知識と最新情報
四日市市生活習慣病予防公開講座, 2007.9 (四日市)

榊原久孝

サクセスフル・エイジング (幸福な老い) を迎えるために
ライフトピア・シンポジウム II 「高齢期の生活習慣病」, 2007.9 (名古屋)

太田勝正

患者の権利と情報開示 私のカルテ, 見せて下さい 患者の自己決定権と倫理的配慮
平成 19 年度山梨県立看護大学・山梨県立看護大学短期大学部：公開講座, 2007.10 (山梨)

浅野みどり

妊娠中からの母子保健による子育て支援～オレゴン州における予防的育児支援の現状
西三河・北部医療圏母子保健推進事業, 2007.12 (刈谷)

浅野みどり

支援方法 Strength based approach 家族ケア姿勢の再考
平成 19 年度名古屋市看護実務研修会, 2007.12 (名古屋)

水溪雅子

家族理解と家族への介入 (ケアマネジメント研究セミナー)

, 2007.12 (名古屋)

放射線技術科学専攻

2 放射線技術科学専攻

〔著書〕

石樽信人

第2章 第7節 線量評価

『放射線医学総合研究所 50 年史』(放射線医学総合研究所 50 年史編纂ワーキンググループ) 独立行政法人 放射線医学総合研究所, 2007. pp 133-137

〔原著論文〕

FUJII Keisuke, **AOYAMA Takahiko**, **KOYAMA Shuji** and **KAWAURA Chiyo**

Comparative evaluation of organ and effective doses for paediatric patients with those for adults in chest and abdominal CT examinations

Br J Radiol 80: 657-667, 2007

松本麻衣子, 池田 充, 今井國治, 人見理香, 牧野玲子, 新美孝永, 遠地志太, 和田眞一

ウェーブレット解析を用いた CT 画像の雑音評価法の検討

日本医用画像工学会大会予稿集 1: 1, 2007

FUKUSHIMA Hiromichi, **IKEDA Mitsuru**, ISHIGAKI Takeo, USAMI Hisashi, **SHIMAMOTO Kazuhiro**

Influence of liquid crystal display monitors on observer performance for detection of diffuse pulmonary disease on chest radiographs

Radiation medicine 25: 211-217, 2007

FUKUSHIMA Hiromichi, **IKEDA Mitsuru**, ISHIGAKI Takeo, USAMI Hisashi, **SHIMAMOTO Kazuhiro**

Influence of liquid crystal display monitors on observer performance for detection of diffuse pulmonary disease on chest radiographs.

Radiat Med 25: 211-217, 2007

ITO Shinji, KATO Katsuhiko, **IKEDA Mitsuru**, IWANO Shingo, MAKINO Naoki, TADOKORO Masanori, ABE Shinji, NAKANO Satoshi, NISHINO Masanari, ISHIGAKI Takeo, NAGANAWA Shinji

Comparison of 18F-FDG PET and bone scintigraphy in detection of bone metastases of thyroid cancer

Journal of Nuclear Medicine 48: 889-895, 2007

NIIMI Takanaga, **IMAI Kuniharu**, **MAEDA Hisatoshi**, **IKEDA Mitsuru**

Information loss in visual assessments of medical images

European Journal of Radiology 61: 362-366, 2007

IMAI Kuniharu, **IKEDA Mitsuru**, WADA Shinichi, ENCHI Yukihiro, NIIMI Takanaga

Analysis of streak artefacts on CT images using statistics of extremes

Br J Radiol 80: 911-918, 2007

新美孝永, 真野晃浩, 今井國治, 池田 充, 前田尚利, 遠地志太

デジタルマンモグラフィの画質: 臨床に用いた線量からの解析

日本医用画像工学会大会予稿集 1: 1, 2007

遠地志太, 今井國治, 池田 充, 新美孝永

極値統計学を用いたストリークアーチファクトの定量解析 再構成スライス厚及び管球回転速度が異なる場合

日本医用画像工学会大会予稿集 1: 1, 2007

IMAI Kuniharu, IKEDA Mitsuru, ENCHI Yukihiro, NIIMI Takanaga
Fractal-feature distance analysis of radiographic image
Acad Radiol 14: 137-143, 2007

NIIMI Takanaga, **IMAI Kuniharu**, MAEDA Hisatoshi, **IKEDA Mitsuru**
Information loss in visual assessments of medical images
Eur J Radiol 61: 362-366, 2007

今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永
フラクタル特徴距離を用いた解剖学的ノイズの評価
電子情報通信学会技術報告 106: 173-176, 2007

ISHIGURE Nobuhito

Prediction of Monitoring Data for ^{239}Pu Accidentally Injected via Wound Site Based on the Proposed NCRP Wound Model
Radiat Prot Dosimetry 127: 108-113, 2007

ISHIGAKI Satoko, **ITOH Shigeki**, SATAKE Hiroko, OTA Toyohiro Ota, ISHIGAKI Takeo
CT depiction of small arteries in the pancreatic head: Assessment using coronal reformatted images with 16-channel multislice CT
Abdom imaging 32: 215-223, 2007

TSUCHIYA Yuichiro, **KODERA Yoshie**, TANAKA Rie, SANADA Sigeru
Quantitative kinetic analysis of lung nodules by temporal subtraction technique in dynamic chest radiography with a flat panel detector
Medical Imaging 2007: Computer-aided Diagnosis, Proceedings of SPIE, 6514, 1-10, 2007

YAMAZAKI Asumi, ICHIKAWA Katsuhiko, **KODERA Yoshie**
Evaluation of physical image characteristics of phase contrast mammography
Medical Imaging 2007: Physics of Medical Imaging, Proceedings of SPIE, 6510, 1-12, 2007

YASUDA Naruomi, ISHIKAWA Yoko, **KODERA Yoshie**
Enhancement of edge response in same matrix size of X-ray CT image without special image processing
Medical Imaging 2007: Physics of Medical Imaging, Proceedings of SPIE, 6514, 1-12, 2007

YASUDA Naruomi, ISHIKAWA Yoko, **KODERA Yoshie**
Improvement of edge response in multi-detector row CT by high-spatial-frequency sampling of projection data
International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 1: 311-320, 2007

ICHIKAWA Katsuhiko, **KODERA Yoshie**, NISHI Yoshikazu, HAYASHI Sigeo, HASEGAWA Mikio
Development of a new resolution enhancement technology for medical liquid crystal displays
Medical Imaging 2007: PACS and Imaging Informatics, Proceeding of SPIE, 6516, 1-8, 2007

HATTORI Masumi, **KOYAMA Shuji**, **KODERA Yoshie**, KOGURE Yosuke, IDO Yasushi, ASANO Hirofumi
Automated measurement of medial temporal lobe atrophy by computed tomography
Int J CARS 1: 321-330, 2007

服部真澄, 小山修司, 小寺吉衛

動的輪郭モデルを用いた側脳室下角領域抽出法の改良

日本放射線技術学会雑誌 63: 862-870, 2007

前田尚利, 新美孝永

2次元流体方程式を用いた心電図同期 SPECT による局所心機能の定量法, Quantification of segmental function by solving poisson equation, QSFP

映像情報 39: 1163-1167, 2007

加藤貴弘, 柳川繁雄, 島田秀樹, 村山 洋, 小幡康範

腹臥位による乳房接線照射法の検討

日本放射線腫瘍学会誌 19: 23-30, 2007

SASAKI Koji, **OBATA Yasunori**

Dosimetric characteristics of a cubic-block-piled compensator for intensity-modulated radiation therapy in the Pinnacle radiotherapy treatment planning system

J Appl Clin Med Phys 8: 85-100, 2007

OGATA Yoshimune

Radioactivity measurement with a plastic scintillation vial

J Radioanal Nucl Chem 273: 253-256, 2007

SHIBATA H, **TABUSHI Katsuyoshi**, NEJIGAKI C, OSHIMA T

Comparison between EGS5 and GEANT4 in simulations with the Model of Cobalt teletherapy unit

Proc. 14th EGS Users' Meeting in Japan, KEK Proceedings 2007-5 64-69, 2007

OSHIMA T, **TABUSHI Katsuyoshi**, AOYAMA Y, NEJIGAKI C, SHIBATA H

Investigation of a shielding plate used for intraoperative electron beam radiation therapy of breast cancer

Proc. 14th EGS Users' Meeting in Japan, KEK Proceedings 2007-5 59-63, 2007

NEJIGAKI C, **TABUSHI Katsuyoshi**, SHIMOZATO Tomohiro, AOYAMA Y

Fundamental examination of film dosimetry in radiation therapy II

Proc. 14th EGS Users' Meeting in Japan, KEK Proceedings 2007-5 54-58, 2007

KAZUMOTO Tomoko, KATO Shingo, **TABUSHI Katsuyoshi**, KUTSUTANI-NAKAMURA Yuzuru, MIZUNO Hideyuki, TAKAHASHI Michiko, SHIROMIZU Kenji, SAITO Yoshihiro

High dose-rate intracavitary brachytherapy for cervical carcinomas with lower vaginal infiltration

Int J Radiation Oncology Phy 69: 1157-1166, 2007

SHIMOZATO Tomohiro, **TABUSHI Katsuyoshi**, KITO S, SHIOTA Y, HIRAYAMA C, SUZUKI S

Calculation of 10 MV x-ray spectra emitted by a medical linear accelerator using the BFGS quasi-Newton method

Phy Med Biol 52: 515-523, 2007

TERAMOTO Atsushi, MURAKOSHI Takayuki, **TSUZAKA Masatoshi**, FUJITA Hiroshi

Automated Solder Inspection Technique for BGA-Mounted Substrates by Means of Oblique Computed Tomography

IEEE Transactions on Electronics Packaging Manufacturing 30: 285-292, 2007

ODA Koji, **TSUZAKA Masatoshi**

Evaluation of Moire Artifacts with Stationary Anti-scatter Grids in Amorphous Selenium-based Flat Panel X-ray Detector System

Proc. SPIE 6510: 1-5, 2007

ODA Koji, **TSUZAKA Masatoshi**

Evaluation of Moire Artifacts with Stationary Anti-scatter Grids in Amorphous Selenium-based Flat Panel X-ray Detector System

Proc. SPIE 6510: 651040, 2007

〔総説・解説・その他〕

池田 充, 今井國治, 和田真一, 西沢かな枝, 古川 章, 松本 徹

CADのための医用画像の画質評価と被曝線量評価 (CAD 最前線 2007 II 計画研究の成果 4. CADの基礎技術)

INNERVISION 22: 40-44, 2007

石樽信人

X線安全取扱教育のガイドライン作成に向けて

日本放射線安全管理学会誌 6: 6, 2007

稲葉次郎, 石樽信人

ICRPの線量係数とそれらの関連報告書の紹介 10. これまでの総括と第2専門委員会の現在及び近未来の活動

放射線科学 50(11): 23-26, 2007

石樽信人

防護で使われる線量 (新勧告4章, 付属書B)

エネルギーレビュー 322: 14-17, 2007

石樽信人

内部被ばく線量評価に関する国際ワークショップとICRP第2専門委員会に出席して

放影協ニュース 50: 4-6, 2007

石樽信人

ICRPにおける標準ファントムの検討

保健物理 42: 47-49, 2007

石樽信人

内部被ばく個人モニタリング

放射線科学 50(4): 26-33, 2007

石樽信人

ICRP第2専門委員会タスクグループINDOSの2007年会合に出席して

放影協ニュース 52: 11-13, 2007

松本 徹, 伊藤茂樹, 岡本英明, 高山俊之, 津田雪裕, 中村義正, 西沢かな枝, 花井耕造, 松本政雄, 村松禎久, 和田真一, 鈴木雅裕, 五味志穂, 村野剛志, 関口淳子

肺がん検診用MDCT (Multidetector-row CT) 撮影マニュアル作成研究班報告

日本放射線技術学会雑誌 63: 809-819, 2007

小寺吉衛

超音波画像の仕組み 音で見る体の組織

Views Radiology 9(2): 53-57, 2007

小山修司

胸部 CT の被曝線量-CT の線量特性と被曝線量-

日本放射線技術学会放射線防護分科会誌 1(25): 29-32, 2007

島本佳寿広

「デジタル画像取り扱いに関するガイドライン」の適応上の問題点

医用画像情報学会雑誌 24: 103-105, 2007

島本佳寿広

画像診断医はモニタをどのようにとらえるべきか

新医療 34(9): 80-82, 2007

吉村公美子, 島本佳寿広

液晶モニタの臨床的安全性

映像情報 Medical 39: 770-773, 2007

KUTSUTANI-NAKAMURA Yuzuru, SAKATA Suoh, **TABUSHI Katsuyoshi**

Physical aspects quality assurance in brachytherapy for the carcinoma of cervix uteri

IAEA/RCA regional training course on optimal management of locally advanced cervical cancer 166-190, 2007

長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (132) 院内診療ネットワークを利用した情報連絡 WEB の運用 (1)

臨床放射線 52: 487-490, 2007

市橋卓司, 長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (140) パソコンは壊れる

臨床放射線 52: 1724-1727, 2007

長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (138) ネットワーク機器設定用のシリアルポートについて (その 1)

臨床放射線 52: 1183-1186, 2007

長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (137) WEB サーバと Perl プログラムの連動 (CGI) (その 2)

臨床放射線 52: 1065-1067, 2007

長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (136) WEB サーバと Perl プログラムの連動 (CGI) (その 1)

臨床放射線 52: 951-954, 2007

武藤晃一, 江本 豊, 高橋正樹, 津坂昌利, 長嶋宏和, 市橋卓司, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (135) JRC2007 印象記 ?CyberRad を中心に?

臨床放射線 52: 834-839, 2007

市橋卓司, 長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (141) パソコンは壊れる; ふたたび
臨床放射線 52: 1834-1837, 2007

長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (139) ネットワーク機器設定用のシリアルポートについて (その2)
臨床放射線 52: 1895-1898, 2007

長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (134) 無線アクセスポイントの管理 (thinAP)
臨床放射線 52: 724-726, 2007

市橋卓司, 長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (131) 1FD Linux 再び
臨床放射線 52: 367-371, 2007

武藤晃一, 江本 豊, 高橋正樹, 津坂昌利, 長嶋宏和, 市橋卓司, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (130) RNSA2006 印象記
臨床放射線 52: 253-259, 2007

長嶋宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (133) 院内診療ネットワークを利用した情報連絡 WEB の運用 (2)
臨床放射線 52: 610-612, 2007

〔科研費・班研究等〕

本間光彦

第26回人体解剖トレーニングセミナーに参加して

第26回人体解剖トレーニングセミナー (2006年) 報告書 1: 40, 2007

池田 充, 今井國治, 伊藤茂樹, 和田眞一, 西澤かな枝, 古川 章, 赤羽恵一, 松本 徹, 山本眞司, 曾根脩輔
CADのための医用画像の画質評価と被曝線量評価

文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「多次元画像の知的診断支援」第4回シンポジウム論文集文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「多次元画像の知的診断支援」第4回シンポジウム 1: 117-122, 2007

〔その他の印刷物等〕

福山篤司, 安藤聡志, 関本博之, 福山浩一

fast FLAIR 画像における arterial hyperintensity の描出能に関する検討

第94回日本医学物理学会大会報文集 27 (Sup 4):161-162, 2007 Japanese Journal of Medical Physics, 2007

石樽信人

石樽第2専門委員会委員の報告

ICRP 調査・研究連絡会 平成18年度報告書放射線影響協会 121-150, 2007

石樽信人

新入生, 放射線と出会う

健康文化 42: 67-69, 2007

緒方良至

液シンカクテルを使用しない液シンでの測定法

Isotope News (635): 62-64, 2007

〔学会発表〕

西本卓矢, 森 政樹, 松岡祐樹, 阿知波正剛, 近藤 悟, 米田和夫, 今井國治, 池田 充

コーンビーム CT における Axial 面内の不均一評価 画像ノイズ, アーチファクトの定量評価 (日本放射線技術学会雑誌, p1062, 2007)

日本放射線技術学会秋季大会, 2006.10 (名古屋)

遠地志太, 今井國治, 池田 充, 新美孝永

極値統計学を用いた CT 画像のストリークアーチファクト評価法 再構成関数が異なる場合 (日本放射線技術学会雑誌, p1205, 2006)

日本放射線技術学会秋季大会, 2006.10 (札幌)

木下幸弘, 今井國治, 木全浩市

微小空隙内における残留電荷領域の広がり特性と PD 破壊 (平成 18 年度電気関係東海支部連合大会)

平成 19 年度電気関係東海支部連合大会, 2006.10 (長野)

人見理香, 池田 充, 今井國治, 松本麻衣子, 藤原敦代, 和田真一

特異点検出に基づく雑音除去法の CT 画像への適応 (第 17 回コンピュータ支援画像診断学会大会論文集, p257-258, 2007)

第 17 回コンピュータ支援画像診断学会大会, 2006.11 (広島)

加藤克彦, 佐竹弘子, 岩野信吾, 澤木明子, 阿部真治, 中野 智, 西野正成, 長縄慎二, 池田 充, 小林英敏, 田所匡典, 信田育宏

乳癌センチネルリンパ節シンチの評価: 3DCT との fusion

日本核医学会第 64 回中部地方会, 2007.2 (名古屋)

WADA Shinichi, OHKUBO Masaki, KUNII Masayuki, MATSUMOTO Toru, MURAO Kohei, AWAI Kazuo, **IKEDA Mitsuru**

The CT image standardization based on the verified PSF

SPIE Medical Imaging 2007, 2007.2 (San Diego, USA)

TSUCHIYA Yuichiro, **KODERA Yoshie**, TANAKA Rie, SANADA Sigeru

Quantitative kinetic analysis of lung nodules by temporal subtraction technique in dynamic chest radiography with a flat panel detector(Proceedings of SPIE, 6514, 1-10)

SPIE Medical Imaging 2007: Computer-Aided Diagnosis, 2007.2 (San Diego, CA, USA)

YASUDA Naruomi, ISHIKAWA Yoko, **KODERA Yoshie**

Enhancement of edge response in same matrix size of X-ray CT image without special image processing(Proceedings of SPIE, 6510,1-12)

SPIE Medical Imaging 2007: Physics of Medical Imaging, 2007.2 (San Diego, CA, USA)

ICHIKAWA Katsuhiko, **KODERA Yoshie**, NISHI Yoshikazu, HAYASHI Sigeo, HASEGAWA Mikio

Development of a new resolution enhancement technology for medical liquid crystal displays(Proceedings of SPIE, 6516, 1-8)

SPIE Medical Imaging 2007: PACS and Imaging Informatics, 2007.2 (San Diego, CA, USA)

YAMAZAKI Asumi, ICHIKAWA Katsuhiko, **KODERA Yoshie**

Evaluation of physical image characteristics of phase contrast mammography(Proceedings of SPIE, 6510,1-12)
SPIE Medical Imaging 2007: Physics of Medical Imaging, 2007.2 (San Diego, CA, USA)

今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永

フラクタル特徴距離を用いた解剖学的ノイズの評価 (電子情報通信学会医用画像研究会, p173-176, 2007)
電子情報通信学会医用画像研究会, 2007.3 (韓国)

木下幸弘, 今井國治, 木全浩市

Polbüschel 沿面放電下における微小空隙内の残留電荷分布 (電気学会全国大会講演論文集, CD 版)
平成 19 年電気学会全国大会, 2007.3 (富山)

今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永

フラクタル解析を用いた画質評価における Hurst 指数の意味
2007 年電子情報通信学会総合大会, 2007.3 (名古屋)

山内 (川浦) 稚代, 丸山治彦

ヴェネズエラ糞線虫の運動能力変化を支配する要因の探求 (第 76 回日本寄生虫学会大会 プログラム・抄録集 p73, 2007)
, 2007.3 (大阪)

TSUCHIYAN Yuichiro, **KODERA Yoshie**, TANAKA Rie, SANADA Sigeru

Quantitative evaluation of nodule kinetic using temporal subtraction in dynamic chest radiography with a flat panel detector
European Congress of Radiology 2007, 2007.3 (Vienna,Austria)

遠地志太, 今井國治, 池田 充, 新美孝永

極値統計学を用いたストリークアーチファクトの定量評価 ストリークアーチファクトと再構成スライス厚との関係 (日本放射線技術学会総合大会予稿集, p149, 2007)
第 62 回日本放射線技術学会総合学術大会, 2007.4 (横浜)

西本卓矢, 植村武司, 堤 貴紀, 松岡祐樹, 森 政樹, 近藤 悟, 米田和夫, 今井國治

FPD 搭載コーンビーム CT における基礎的検討 ノイズ・アーチファクトの定量評価 (日本放射線技術学会総合大会予稿集, p100, 2007)
第 62 回日本放射線技術学会総合学術大会, 2007.4 (横浜)

小川浩, 伊藤茂樹, 鈴木耕次郎, 長縄慎二

Intraductal papillary mucinous neoplasm (IPMN) のマルチスライス CT 所見の検討 (第 66 回日本医学放射線学会学術集会抄録集 S349, 2007)
第 66 回日本医学放射線学会学術集会, 2007.4 (横浜)

伊藤茂樹, 鈴木耕次郎, 川井 恒, 長縄慎二

腹側腓領域の限局性炎症の画像所見 (第 66 回日本医学放射線学会学術集会抄録集 S350, 2007)
第 66 回日本医学放射線学会学術集会, 2007.4 (横浜)

安田成臣, 石川陽子, 小寺吉衛

X 線 CT 画像のウェーブレット縮退を用いたノイズ低減処理におけるノイズ分布を考慮した縮退関数の設計 (予稿集 p178)
第 63 回日本放射線技術学会総合学術大会, 2007.4 (横浜)

布施明日香, 鈴木崇宏, 小寺吉衛, 市川勝弘, 山崎明日美
デジタルマンモグラフィにおける最適管電圧の検討 (予稿集 p273)
第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2007.4 (横浜)

山崎明日美, 市川勝弘, 小寺吉衛
位相コントラストマンモグラフィ(PCM)の物理的画質評価による撮影条件の検討 (予稿集 p273)
第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2007.4 (横浜)

閻 平, 小寺吉衛
三次元画像における位置照合と差分処理 (予稿集 p177)
第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2007.4 (横浜)

伊藤あゆ美, 阿知波正剛, 飯田葉子, 米田和夫, 小山修司, 川浦稚代, 藤井啓輔
異なる 2 方式の CT-Auto Exposure Control 機構の比較評価 (第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, p163, 2007)
第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2007.4 (横浜)

笹田裕也, 小山修司
モンテカルロシミュレーションを用いた X 線 CT ファントム各点におけるエネルギー分析 (第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, p176, 2007)
第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2007.4 (横浜)

松尾綾江, 後藤賢一, 横井みどり, 蛭川亜紀子, 奥村信次, 岡野恒一, 小山修司
歯科領域に於ける実効線量評価 第 2 報—測定範囲を考える—(第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, pp91-92, 2007)
第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2007.4 (横浜)

島本佳寿広
液晶モニタの医学的安全性 (抄録集, p381, 2007)
第 66 回日本医学放射線学会総会, 2007.4 (横浜)

島本佳寿広, 石垣武男, 古賀佑彦
輝度特性からみた遠隔読影端末の医学的安全性の検討 (抄録集, p204, 2007)
第 66 回日本医学放射線学会総会, 2007.4 (横浜)

大島隆嗣, 田伏勝義, 中村 譲, 水野秀之, 角谷倫之, 塩田泰生, 捫垣智洋, 保泉賢司, 中田智仁, 関根 広
ハーフフィールド法を用いた乳癌の接線照射についてのモンテカルロシミュレーションによる検討
, 2007.4

捫垣智洋, 田伏勝義, 下郷智弘, 青山裕一, 塩田泰生, 角谷倫之
治療用フィルムによる線量分布測定の基礎的検討
, 2007.4

中村 譲, 佐方周防, 田伏勝義, 水野秀之, 石居隆義, M Akhani, M M b Nudin, N X Cu, L D Han, R C Solis, Y Naiguo, L Apipuny-asopon, C Kakanaporn, 熊崎 祐, 保泉賢司, 加藤毅彦, 加藤信吾, 大野達也, 中野隆史, 辻井博彦
東アジアにおける子宮頸癌臨床共同研究参加施設の小線源治療 QA/QC の役割
, 2007.4

佐方周防, 中村 謙, 田伏勝義, 水野秀之, 金井達明, 高岡洋朗, 寺中朋文, 加藤毅彦, 中野隆史, 辻井博彦, 仲伏廣光
東アジアにおける子宮頸癌治療装置の物理的 QA/QC の現地調査 3; 位置取得精度のまとめ
, 2007.4

佐方周防, 田伏勝義, 水野秀之, 福村明史, 仲伏廣光
小線源治療における位置取得精度の解析
, 2007.4

柴田洋希, 角谷倫之, 河合隆, 青山裕一, 田伏勝義
チェレンコフ光を用いたエミッション CT の検討
, 2007.4

旗 道子, 津坂昌利, 小寺吉衛, 市川勝弘
簡易 DICOM 表示モードを持つ汎用液晶カラーモニタの画質特性 (解像度特性とノイズ特性) (予稿集 p 270)
第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2007.4 (横浜)

卜蔵 公紀, 西村 裕子, 津坂昌利, 藤井 正純, 梶田 泰一, 吉田 純
低磁場脳外科術中用 MRI における DWI の有用性 (日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, p 108,(2007).)
日本放射線技術学会総会学術大会 (第 63 回), 2007.4 (横浜)

立石 敏樹, 林 隆司, 赤木 信裕, 行方正紀, 木村雅寛, 津坂昌利
地域医療連携における 3D-PACS の検証 (日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, p 123,(2007).)
日本放射線技術学会総会学術大会 (第 63 回), 2007.4 (横浜)

旗 道子, 津坂昌利, 市川 勝弘, 小寺 吉衛
簡易 DICOM 表示モードを持つ汎用カラーモニタの画質評価 (解像度特性とノイズ特性)(日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, p 270,(2007).)
日本放射線技術学会総会学術大会 (第 63 回), 2007.4 (横浜)

旗 道子, 津坂昌利, 市川 勝弘, 小寺 吉衛
簡易 DICOM 表示モードを持つ汎用カラーモニタの画質評価 (輝度特性)(日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, p 270,(2007).)
日本放射線技術学会総会学術大会 (第 63 回), 2007.4 (横浜)

杉浦 明弘, 津坂昌利
FCR と miniPACS を用いたフィルムレスな学生実験実習システムの構築 (日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, p 264,(2007).)
日本放射線技術学会総会学術大会 (第 63 回), 2007.4 (横浜)

藤田尚利, 津坂昌利, 小寺吉衛, 市川勝弘
CT 画像の空間分解能評価に用いるファントム材質の検討 (予稿集 p 229)
第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2007.4 (横浜)

旗 道子, 津坂昌利, 小寺吉衛, 市川勝弘
簡易 DICOM 表示モードを持つ汎用液晶カラーモニタの画質特性 (輝度特性) (予稿集 p 270)
第 63 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2007.4 (横浜)

山尾覚一, 島本佳寿広, 池田 充, 佐竹 弘子, 澤木 明子, 石垣 聡子, 加藤 克彦, 川瀬 世津子, 福原 理恵子, 坂倉 正樹
甲状腺結節の超音波診断基準における判断の再現性と一致度の評価
第 80 回日本超音波医学会学術集会, 2007.5 (鹿児島)

藤井啓輔, 青山隆彦, 川浦稚代, 小山修司
小児, 成人の頭頸部 CT 検査における被ばく線量の評価 (講演要旨集 p96, 2007)
日本保健物理学会第 41 回研究発表会, 2007.6 (東京)

瀬口繁信, 藤井啓輔, 青山隆彦, 小山修司, 川浦稚代
心臓 CT の被ばく線量評価 冠動脈造影との比較 (講演要旨集 p95, 2007)
日本保健物理学会第 41 回研究発表会, 2007.6 (東京)

KATO Katsuhiko, **IKEDA Mitsuru**, NAGANAWA Shinji
Comparison of 123I-IMP SPECT and 18F-FDG PET in detection of primary and metastatic lesions of cutaneous malignant melanoma
The 54th Annual Meeting of the Society of Nuclear Medicine, 2007.6 (Washington, USA)

加藤克彦, 岩野信吾, 松島正哉, 駒田智大, 小川 浩, 久保田誠司, 川井 恒, 阿部真治, 中野 智, 西野正成, 長縄慎二, 西尾正美, 池田 充
F-18 FDG-PET で集積亢進が見られた両側副腎結核
日本核医学会第 65 回中部地方会, 2007.6 (金沢)

宮本真衣, 石樽信人, 緒方良至, 仲野高志
密封シート線源を用いたホールボディカウンタ校正用ファントムの開発 密封シート線源作成法の開発 (要旨集 p 131, 2007)
第 41 回日本保健物理学会研究発表会, 2007.6 (東京)

川島 望, 石樽信人, 高橋 徹
ICRP 新消化管モデルが内部被ばくモニタリングに与えるインパクト (講演要旨集 p 159, 2007)
第 41 回日本保健物理学会研究発表会, 2007.6 (東京)

石樽信人
内部被ばく線量評価モデルの包括的な改訂について (講演要旨集 p 46, 2007)
第 41 回日本保健物理学会研究発表会, 2007.6 (東京)

石垣聡子, 伊藤茂樹, 鈴木耕次郎, 太田豊裕, 長縄慎二, 竹田 伸, 福原理恵子, 酒井美知子
輪状膵に膵胆管合流異常を合併した 1 例
第 21 回腹部放射線研究会, 2007.6 (宮崎)

鈴木耕次郎, 伊藤茂樹, 澤木明子, 岩野信吾, 長縄慎二, 阪井 満, 竹田 伸, 長坂徹郎
甲状腺腫術後 26 年目に発症した甲状腺濾胞癌膵転移の 1 例
第 21 回腹部放射線研究会, 2007.6 (宮崎)

久保田誠司, 伊藤茂樹, 館 靖, 深津博, 長縄慎二, 西尾秀樹, 榊原綾子
後腹膜由来の巨大 Hibernoma の 1 例
第 21 回腹部放射線研究会, 2007.6 (宮崎)

藤田尚利, 小寺吉衛, 市川勝弘
CT 画像において線形性を考慮した MTF の算出
平成 19 年度 (第 148 回) 医用画像情報学会年次大会, 2007.6 (名古屋)

山崎明日美, 市川勝弘, 小寺吉衛

位相コントラストマンモグラフィ(PCM)の物理的画質特性とエッジ強調現象の検証
平成19年度(第148回)医用画像情報学会年次大会, 2007.6(名古屋)

閻平, 小寺吉衛

三次元画像における位置照合と差分処理の試み
平成19年度(第148回)医用画像情報学会年次大会, 2007.6(名古屋)

YAMAZAKI Asumi, ICHIKAWA Katsuhiko, **KODERA Yoshie**

Possibility of an improvement of sharpness at edges of objects by using phase contrast mammography
CARS 2007 Computer Assisted Radiology and Surgery 21st International Congress and Exhibition, 2007.6 (Berlin, Germany)

佐久間洋一, 緒方良至, 秋山陽一, 上松和義, 太田雅壽

トリチウムモニタ(2)(要旨集 p136, 2007)
第41回日本保健物理学会研究発表会, 2007.6(東京)

島本佳寿広

「デジタル画像の取り扱いに関するガイドライン」の適応上の問題点
第140回医用画像情報学会大会, 2007.6(名古屋)

浅井久美子, 島本佳寿広, 佐竹弘子, 西尾明子, 石垣聡子, 野々村和洋, 町田君成, 和田陽一, 梅田江里子, 伊藤道廣, 近藤恵理子

誤った事前情報は乳腺超音波検査の診断能を低下させる
第25回日本超音波医学会中部地方会, 2007.6(岐阜)

松本麻衣子, 池田 充, 今井國治, 人見理香, 牧野玲子, 新美孝永, 遠地志太, 和田真一

ウェーブレット解析を用いたCT画像の雑音評価法に関する検討
第26回日本医用画像工学会大会, 2007.7(つくば)

松本麻衣子, 池田 充, 今井國治, 牧野玲子, 人見理香

ウェーブレット解析を用いたCT画像の雑音評価法の検討(日本医用画像工学会大会予稿集, CD版)
第27回日本医用画像工学会大会, 2007.7(つくば)

新美孝永, 真野晃浩, 今井國治, 池田 充, 前田尚利, 遠地志太

デジタルマンモグラフィの画質: 臨床に用いた線量からの解析(日本医学放射線学会第8回医用画像認知研究会抄録, p8, 2007)
第27回日本医用画像工学会大会, 2007.7(つくば)

新美孝永, 真野晃浩, 今井國治, 池田 充, 前田尚利, 遠地志太

デジタルマンモグラフィの画質: 臨床に用いた線量からの解析
第26回日本医用画像工学会大会, 2007.7(つくば)

遠地志太, 今井國治, 池田 充, 新美孝永

極値統計学を用いたストリークアーチファクトの定量解析 再構成スライス厚及び管球回転速度が異なる場合
第26回日本医用画像工学会大会, 2007.7(つくば)

遠地志太, 今井國治, 池田 充, 新美孝永

極値統計学を用いたストリークアーチファクトの定量解析 再構成スライス厚及び管球回転速度が異なる場合 (日本医用画像工学会大会予稿集, CD 版)

第 27 回日本医用画像工学会大会, 2007.7 (つくば)

緒方 良至, 石樽信人, 伊藤健吾, 旗野健太郎, 阿部潤一郎, 宮原 洋

PET 用小型サイクロトロン室内外の熱中性子束密度測定 (要旨集 p30, 2007)

第 44 回アイソトープ・放射線研究発表会, 2007.7 (東京)

川浦稚代, 藤井啓輔, 青山隆彦, 小山修司

頭頸部 X 線医学検査における成人と小児の被ばく線量評価 (第 44 回アイソトープ・放射線研究発表会 要旨集 p17, 2007), 2007.7 (東京)

佐久間洋一, 緒方良至, 太田雅壽, 秋山陽一

化学形弁別トリチウムモニターの開発 2 (要旨集 p133, 2007)

第 44 回アイソトープ・放射線研究発表会, 2007.7 (東京)

木下幸弘, 今井國治, 木全浩市

微小空隙内における残留電荷領域の広がり特性 (電気学会基礎・材料・共通部門大会講演論文集, CD 版)

2007 年電気学会基礎・材料・共通部門大会, 2007.8 (大阪)

笹田裕也, 小山修司

X 線 CT におけるファントム中のエネルギー変化についての検討 (Proceedings of the Fourteenth EGS Users' Meeting in Japan, pp92-101)

第 14 回 EGS 研究会, 2007.8 (つくば)

阪井洋平, 小山修司

診断 X 線領域における後方散乱係数算出に適する検出器厚の検討 (Proceedings of the Fourteenth EGS Users' Meeting in Japan, pp102-106)

第 14 回 EGS 研究会, 2007.8 (つくば)

今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永

Gumbel 評価法によるストリークアーチファクトの定量評価結果の信頼性 (2007 年電子情報通信学会ソサイエティー大会講演論文集, CD 版)

2007 年電子情報通信学会ソサイエティー大会, 2007.9 (鳥取)

杉浦有紀, 阿部真治, 中野 智, 西野正成, 米田和夫, 成田憲彦

階段状ファントムを用いた LEHR コリメータと LMEGP コリメータの比較検討 (日本放射線技術学会誌 63(9):p1073,2007)

第 35 回日本放射線技術学会 秋季学術大会, 2007.9 (名古屋)

阿部真治, 中野 智, 杉浦有紀, 西野正成, 米田和夫, 成田憲彦

SPECT 再構成におけるコリメータ開口径補正の基礎的検討 (日本放射線技術学会誌 63(9):p1044,2007)

第 35 回日本放射線技術学会 秋季学術大会, 2007.9 (名古屋)

佐久間洋一, 緒方良至, 太田雅壽, 上松和義, 秋山陽一

高感度トリチウムモニターの開発 (要旨集 p149, 2007)

第 68 回応用物理学会学術講演会, 2007.9 (札幌)

大島隆嗣, 田伏勝義, 青山裕一
乳癌の術中電子線照射に使用する金属プレートの検討
, 2007.9

旗道子, 津坂昌利, 市川勝弘, 小寺吉衛
医療用液晶カラーディスプレイと汎用カラーディスプレイの物理特性の比較
第 94 回日本医学物理学会学術大会, 2007.9 (新潟)

松岡祐樹, 西本卓矢, 森 政樹, 米田和夫, 青山隆彦, 小山修司, 川浦稚代, 藤井啓輔
FPD 搭載型血管撮影装置による頭部血管撮影検査の患者被ばく線量評価 (日本放射線技術学会雑誌, 63(9), p1064, 2007)
第 35 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2007.10 (名古屋)

奥平訓康, 池田 充, 今井國治
ウェーブレット解析を用いた LG (ライナックグラフィ) の画質改善
平成 19 年度日本生体医工学会東海支部学術集会, 2007.10

KATO Katsuhiko, IWANO Shingo, FUCHS Martin, **IKEDA Mitsuru**, ISHIGAKI Takeo, NAGANAWA Shinji
Combination of F-18 FDG PET, Tl-201 Scintigraphy and I-131 Scintigraphy Improves the Rate of Detecting Differentiated
Thyroid Cancer Undergoing I-131 Therapy after Total Thyroidectomy
Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine 2007, 2007.10 (Copenhagen, Denmark)

KATO Katsuhiko, SATAKE Hiroko, IWANO Shingo, NISHIO Akiko, **IKEDA Mitsuru**, ISHIGAKI Takeo, NAGANAWA
Shinji
Evaluation of Spect for Sentinel Lymph Nodes of Breast Carcinoma Fused with 3-Dimensional CT
Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine 2007, 2007.10 (Copenhagen, Denmark)

山田雅己, 山室 修, 滝川幸則, 富田羊一, 林 直樹, 伊藤茂樹
3D-FRFSE 撮影におけるスライス厚の検討 (第 35 回日本放射線技術学会秋季学術大会抄録集 P37, 2007)
第 35 回医学放射線技術学会秋季学術大会, 2007.10 (名古屋)

山崎雅弘, 鈴木耕次郎, 森 芳峰, 長縄慎二, 伊藤茂樹, 竹田 伸, 下山芳江
多発性内分泌腺腫症 (MEN)1 型に合併した Peliosis hepatis の 1 例 (第 43 回日本医学放射線学会秋季臨床大会抄録集 S468, 2007)
第 43 回日本医学放射線学会秋季臨床大会, 2007.10 (名古屋)

岡野恒一, 松尾綾江, 後藤賢一, 横井みどり, 蛭川亜紀子, 奥村信次, 小山修司
歯科領域に於ける実効線量評価-コーンビーム CT の唾液腺線量-(日本放射線技術学会雑誌, 63(9), p1003, 2007)
第 35 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2007.10 (名古屋)

浅井久美子, 島本佳寿広, 佐竹弘子, 西尾明子, 野々村和洋, 町田君成, 和田陽一, 梅田江里子, 伊藤道廣, 近藤恵理子
乳腺超音波検査における事前情報の診断に及ぼす影響
第 35 回日本放射線技術科学会秋季大会, 2007.10 (名古屋)

杉浦 明弘, 津坂昌利
教育用 PACS と RIS を用いた学内撮影実習環境の構築 (日本放射線技術学会雑誌, 63(9), p1050)
日本放射線技術学会秋季学術大会 (第 35 回), 2007.10 (名古屋)

旗 道子, 津坂昌利

臨床現場で行われている液晶モニタの校正・実習システムの構築 (平成 19 年度日本生体医工学会東海支部大会プログラム)
日本生体医工学会東海支部東海支部大会, 2007.10 (名古屋)

杉浦 明弘, 津坂昌利

教育用 PACS と RIS を用いたシミュレーション型実習システムの構築 (平成 19 年度日本生体医工学会東海支部大会プログラム)
日本生体医工学会東海支部東海支部大会, 2007.10 (名古屋)

赤木 信裕, 津坂昌利, 立石 敏樹, 林 隆司, 木村 雅寛

医療連携に IPv6 を用いた画像配信ネットワークの構築と検証 (平成 19 年度日本生体医工学会東海支部大会プログラム)
日本生体医工学会東海支部東海支部大会, 2007.10 (名古屋)

立石 敏樹, 林 隆司, 赤木 信裕, 行方 正紀, 木村 雅寛, 高橋 克彦, 津坂昌利

IPv6 網による院内 3 次元画像配信システムの地域連携への拡張 (日本放射線技術学会雑誌, 63(9), p 1012)
日本放射線技術学会秋季学術大会 (第 35 回), 2007.10 (名古屋)

旗 道子, 津坂昌利, 橋本 憲幸, 甬喜本 武

医療用液晶モニタの校正・実習システムの構築 (日本放射線技術学会雑誌, 63(9), p 1036)
日本放射線技術学会秋季学術大会 (第 35 回), 2007.10 (名古屋)

杉浦 明弘, 津坂昌利, 小林 誠, 江島 豪一

教育用 PACS と RIS を用いたシミュレーション型実習システムの構築 (平成 19 年度日本生体医工学会東海支部大会プログラム)
医用画像情報学会・MII (149 回), 2007.10 (福岡)

加藤克彦, Lars Stegger, Michael Schaeffers, 池田 充, 阿部真治, 西野正成, 石垣武男, 長縄慎二, Otmar Schober
PET/CT における 11C-choline と 18F-FDG の動脈壁への集積と動脈壁の石灰化の評価
第 47 回日本核医学会学術総会, 2007.11

人見理香, 池田 充, 今井國治, 松本麻衣子, 藤原敦代, 和田真一
特異点検出法に基づく雑音除去法の CT 画像への適応
第 17 回コンピュータ支援画像診断学会大会, 2007.11 (広島)

石樽信人

ICRP 新勧告による内部被ばく線量評価 (要旨集 151-156, 2007)
保物セミナー 2007, 2007.11 (大阪市)

石樽信人

ラドンによる被ばく線量評価の問題点 (要旨集 p 22, 2007)
第 50 回日本放射線影響学会大会, 2007.11 (千葉市)

TSUCHIYA Yuichiro, **KODERA Yoshie**, TANAKA Rie, SANADA Sigeru

Quantitative evaluation technique of nodule kinetics using temporal subtraction in breathing chest radiography with a dynamic flat panel detector
The Radiological Society of North America 93rd Scientific Assembly and Annual Meeting, 2007.11 (Chicago, IL, USA)

YAMAZAKI Asumi, ICHIKAWA Katsuhiro, **KODERA Yoshie**

Investigation of radiographic conditions by evaluation of physical image characteristics of phase contrast mammography
The Radiological Society of North America 93rd Scientific Assembly and Annual Meeting, 2007.11 (Chicago, IL, USA)

山崎明日美, 市川勝弘, 小寺吉衛

位相コントラストマンモグラフィ (PCM) のエッジ強調出現過程の検証

第 17 回日本乳癌検診学会総会, 2007.11 (横浜)

藤田尚利, 西村裕子, 山崎明日美, 市川勝弘, 小寺吉衛

マンモグラフィの X 線量子モトルを考慮した液晶ディスプレイにおける粒状性評価

第 17 回日本乳癌検診学会総会, 2007.11 (横浜)

宮本真衣, 石樽信人, 緒方良至, 成田憲彦, 仲野高志

密封シート線源を用いたホールボディカウンタ校正用ファントムの開発 (要旨集 p17, 2007)

第 1 回日本保健物理学会学生発表会, 2007.12 (名古屋)

中村一, 榎本和義, 松村宏, 緒方良至, 石樽信人, 伊藤健吾, 旗野健太郎, 阿部潤一郎, 宮原洋

小型サイクロトン室内の中性子束測定 (要旨集 p74, 2007)

第 6 回日本放射線安全管理学会学術大会, 2007.12 (仙台)

越田吉郎, 小山修司

OSL を用いた CT 線量計の評価

第 6 回日本放射線安全管理学会学術大会, 2007.12 (仙台)

佐久間洋一, 緒方良至, 太田雅壽, 上松和義, 秋山陽一

化学形弁別トリチウムモニターの開発 2 (要旨集 p39, 2007)

第 6 回日本放射線安全管理学会学術大会, 2007.12 (仙台)

〔公開講座・講演会〕

石樽信人

第 2 専門委員会報告

平成 18 年度第 2 回 ICRP 調査研究連絡会報告会, 2007.1 (東京)

小山修司

診断用 X 線装置における医療被曝測定

第 55 回日本放射線技術学会東京部会セミナー, 2007.1 (東京)

小山修司

技師教育と卒後教育の在り方

第 2 回日本放射線技術学会中部部会放射線部門リーダーズセミナー, 2007.2 (名古屋)

石樽信人

内部被ばく線量評価法に関する最近のトピックス

第 4 回内部被ばく評価のための体外計測器に関する標準校正法専門研究会, 2007.3 (千葉)

緒方良至

静岡県立浜松西高校 高校生のための放射線実習セミナー講師

高校生のための放射線実習セミナー (日本原子力文化振興財団), 2007.3 (浜松)

緒方良至

使用施設等の安全管理

放射線取扱主任者定期講習, 2007.3 (名古屋)

緒方良至

放射線業務従事者のための再教育（関係法令）

名古屋市立大学 放射線業務従事者のための再教育, 2007.5 (名古屋)

緒方良至

非密封 RI の安全取扱の要点

第 19 回教育訓練講習会（日本アイソトープ協会）, 2007.5 (名古屋)

本間光彦

カウンセリングの実際

第 23 回放射線技師総合学術大会, 2007.6 (金沢)

本間光彦

人体解剖トレーニングセミナー実習指導

第 27 回人体解剖トレーニングセミナー, 2007.7 (名古屋)

池田 充

ROC 解析の基礎

第 6 回 DiDi 研究会学術講演, 2007.7 (大阪)

小山修司

X 線 CT 撮像時の被ばく線量評価の実際

第 1 回国立病院療養所近畿放射線技師会医療被ばく線量測定セミナー, 2007.7 (大阪)

小山修司

X 線 CT 撮影における標準化-X 線 CT の線量特性と被ばく線量-

第 126 回日本放射線技術学会東京部会技術フォーラム, 2007.8 (東京)

小山修司

X 線 CT の被ばく線量評価

第 15 回日本放射線技術学会医療被曝測定セミナー, 2007.8 (岡山)

緒方良至

放射線計測実験講師

愛知・岐阜・三重地区 エネルギー・環境・放射線セミナー, 2007.8 (東海)

福山篤司, 安藤聡志, 関本博之, 福山浩一

fast FLAIR 画像における arterial hyperintensity の描出能に関する検討

第 94 回日本医学物理学会大会, 2007.9 (新潟)

本間光彦

カウンセリング演習指導

日本放射線カウンセリング学会 第 9 回カウンセリングセミナー, 2007.9 (東京)

本間光彦

カウンセリングの技法

日本放射線カウンセリング学会 第 9 回カウンセリングセミナー, 2007.9 (東京)

小山修司

X線 CT の被ばく線量評価

第 16 回日本放射線技術学会医療被曝測定セミナー, 2007.9 (仙台)

小山修司

CT の線量特性と被ばく線量

第 35 回日本放射線技術学会秋季学術大会分科会合同シンポジウム, 2007.10 (名古屋)

石樽信人

ICRP 第 2 専門委員会 2007 年会合の概要

第 3 回 ICRP 新消化管モデル専門研究会, 2007.12 (東京)

石樽信人

第 2 専門委員会活動報告

平成 19 年度第 2 回 ICRP 調査研究連絡会報告会, 2007.12 (東京)

検査技術科学専攻

3 検査技術科学専攻

〔著書〕

HIRAMATSU Rie, HARA Toshiaki, AKIMOTO Hidetoshi, TAKIKAWA Osamu, **KAWABE Tsutomu**, **NAGASE Fumihiko**

Enhancement of 3-hydroxyanthranilic acid-induced T cell apoptosis through cinnabarinic acid generation

『The Interdisciplinary Conference on Tryptophan and Related Substances: Chemistry, Biology, and Medicine』 (TAKAI Katsuji) ELSEVIER, 2007. pp 209-212

HARA Toshiaki, HIRAMATSU Rie, AKIMOTO Hidetoshi, TAKIKAWA Osamu, **KAWABE Tsutomu**, **NAGASE Fumihiko**

Trichloroacetic acid-triggered reaction of kynurenine with nitrite produced by bone marrow-derived myeloid dendritic cells stimulated with CpG

『The Interdisciplinary Conference on Tryptophan and Related Substances: Chemistry, Biology, and Medicine』 (TAKAI Katsuji) ELSEVIER, 2007. pp 205-208

古池保雄

自律神経系異常に伴う生理機能の変化

『スタンダード生理学 (第2版)』 (二宮石雄, 安藤啓司, 彼末一之, 松川寛二 (編集)) 文光堂, 2007. pp 54-57

古池保雄

内分泌異常に伴う生理機能の変化

『スタンダード生理学 (第2版)』 (二宮石雄, 安藤啓司, 彼末一之, 松川寛二 (編集)) 文光堂, 2007. pp 38-42

古池保雄

脈管疾患と自律神経

『最新自律神経学』 (宇尾野公義 (監修)) 新興出版, 2007. pp 328-340

古池保雄

現在用いられている自律神経機能検査の種類と意義

『自律神経機能検査 (第4版)』 (日本自律神経学会 (編集)) 文光堂, 2007. pp 11-15

小嶋哲人

Part 4. Xa 阻害薬の薬理的特徴をみる 1. 抗凝固薬の歴史と Xa 阻害薬の開発目的を探る

『Xa 阻害薬のすべて』 (池田康夫 / 坂田洋一 / 丸山征郎 : 編) 先端医学社, 2007. pp 68-75

小嶋哲人

先天性アンチトロンビン欠損症 C. 血小板・凝固線溶

『「専門医のための薬物療法 Q & A : 血液」』 (押味和夫 / 長澤俊郎 / 小松則夫 : 編) 中外医学社, 2007. pp 359-368

岩崎年宏, 小嶋哲人

先天性血栓性疾患の治療法 v. 凝固・血小板

『「EBM 血液疾患の治療 2008-2009」』 (押味和夫 / 別所正美 / 岡本真一郎 / 加藤 淳 : 編) 中外医学社, 2007. pp 520-526

近藤高明, 内藤通孝, 榊原久孝

保健・医療・福祉・介護の制度

『公衆衛生学入門-社会・環境と健康 (第2版)』 (内藤通孝) 昭和堂, 2007. pp 133-180

近藤高明, 河村典久

健康状態・疾病の測定と評価

『公衆衛生学入門-社会・環境と健康(第2版)』(内藤通孝) 昭和堂, 2007. pp 41-59

訳: 伊藤洋志, 高木健次, 山本康子, 柏森裕三, 中野京子, 横溝佳代, 中山亜紀, 今井宣子, 栗原由利子, 町井涼子

品質保証と安全性

『ブルンツェル 尿・体液検査 -基礎と臨床』(監訳: 池本正生, 深津敦司, 芝 紀代子) 西村書店, 2007. pp 21-33

訳: 伊藤洋志, 高木健次, 山本康子, 柏森裕三, 中野京子, 横溝佳代, 中山亜紀, 今井宣子, 栗原由利子, 町井涼子,

糞便検査

『ブルンツェル 尿・体液検査 -基礎と臨床』(監訳: 池本正生, 深津敦司, 芝 紀代子) 西村書店, 2007. pp 203-213

横井豊治

第II部各論第2章 呼吸器細胞診

『臨床検査技師を目指す学生のための細胞診』(土屋眞一監修 金子千之編集) 医療科学社, 2007. pp 36-49

[原著論文]

WANG Dong, KAMIJIMA Michihiro, IMAI Ryota, SUZUKI Takayoshi, KAMEDA Yohei, ASAI Kazumi, OKAMURA Ai, NAITO Hisao, **UEYAMA Jun**, SAITO Isao, NAKAJIMA Tamie, GOTO Masahiro, SHIBATA Eiji, **KONDO Takaaki**, **TAKAGI Kenji**, **TAKAGI Kenzo**, **WAKUSAWA Shinya**

Biological monitoring of pyrethroid exposure for pest control workers in Japan

J Occup Health 49: 509-514, 2007

NAKAYAMA Hironao, KITAICHI Kiyoyuki, ITO Yukiko, **HASHIMOTO Katsunori**, **TAKAGI Kenji**, **YOKOI Toyoharu**, **TAKAGI Kenzo**, OZAKI Norio, YAMAMOTO Tuneyuki, HASEGAWA Takaaki

The role of organic cation transporter-3 in methamphetamine disposition and its behavioral response in rats.

Brain Res. : 260-269, 2007

MATSUSHITA Aya, IWASE Mitsunori, KATO Yosuke, ICHIHARA Sahoko, ICHIHARA Gaku, KIMATA Hirotaka, HAYASHI Keiko, **HASHIMOTO Katsunori**, **YOKOI Toyoharu**, **NODA Akiko**, **KOIKE Yasuo**, **YOKOTA Mitsuhiko**, **NA-GATA Kohzo**

Differential cardiovascular effects of endotoxin derived from Escherichia coli or Pseudomonas aeruginosa.

Exp Anim. 56: 339-348, 2007

NAKAYAMA Hironao, KITAICHI Kiyoyuki, ITO Yukiko, **HASHIMOTO Katsunori**, **TAKAGI Kenji**, **YOKOI Toyoharu**, **TAKAGI Kenzo**, OZAKI Norio, YAMAMOTO Tuneyuki, HASEGAWA Takaaki

The role of organic cation transporter-3 in methamphetamine disposition and its behavioral response in rats

Brain Res 1184: 260-269, 2007

MASUDA Akio, **HASHIMOTO Katsunori**, **YOKOI Toyoharu**, DOI Takeshi, KODAMA Tatsuhiko, KUME Hiroaki, OHNO Kinji, MATSUGUCHI Tetsuya

Essential role of GATA transcriptional factors in the activation of mast cells.

J Immunol. 178: 360-368, 2007

ICHIHARA Shu, FUJIMOTO Takuya, **HASHIMOTO Katsunori**, MORITANI Suzuko, HASEGAWA Masaki, **YOKOI Toyoharu**

Double immunostaining with p63 and high-molecular-weight cytokeratins distinguishes borderline papillary lesions of the breast

Pathol Int 57: 126-132, 2007

住田 敦, 川部 勤, 岡本真和, 橋本直純, 今泉和良, 長谷川好規, 高木健三, 下方 薫

肺線維芽細胞と間質性肺炎での Th1/Th2 型ケモカイン産生パターンの検討:

第 47 回日本呼吸器学会学術講演会, 2007

MATSUSHIMA Miyoko, KITAICHI Kiyoyuki, **KAWABE Tsutomu**, SUZUKI Ryujiro, BABA Kenji, HASEGAWA Takaaki, **TAKAGI Kenzo**

Xenin and xenopsin induce histamine release from rat peritoneal mast cells

Occup Environ Allergy 14(2): 60-67, 2007

水野理恵, 川村久美子, 奈田 俊, 馬場尚志, 伊藤秀郎

Low-Level Methicillin-Resistant *Staphylococcus aureus* (Low-Level MRSA) 検出のための測定法の評価

日本臨床微生物学会雑誌 17: 19-27, 2007

TAKAMORI Motoko, HIRAYAMA Masaaki, KOBAYASHI Rei, ITO Hiroki, MABUCHI Naoki, NAKAMURA Tomohiko, HORI Norio, **KOIKE Yasuo**, SOBUE Gen

Altered venous capacitance as a cause of postprandial hypotension in multiple system atrophy

Clin Auton Res 17: 20-25, 2007

NAKAMURA Tomohiko, HIRAYAMA Masaaki, ITO Hiroki, TAKAMORI Motoko, HAMADA Kensuke, TAKEUCHI Sigeo, WATANABE Hirohisa, **KOIKE Yasuo**, SOBUE Gen

Dobutamine stress test unmasks cardiac sympathetic denervation in Parkinson's disease

J Neurol Sci 263: 133-138, 2007

柏木隆宏, 国島伸治, 今井 利, 山下 淳, 三田直美, 藤森祐多, 奥村 薫, 村手 隆, 高木 明, 小嶋哲人

GPIIIa 遺伝子のスプライシング異常により GPIIb/IIIa を欠如した血小板無力症

日本検査血液学会雑誌 8: 30-34, 2007

YIN Tong, TAKESHITA Satoshi, SATO Yukiko, SAKATA Toshiyuki, SHIN Yongchol, HONDA Shigenori, KAWASAKI Tomio, TSUJI Hajime, **KOJIMA Tetsuhito**, MADOIWA Seiji, SAKATA Yoichi, MURATA Mitsuru, IKEDA Yasuo, MIYATA Toshiyuki

A large deletion of the PROS1 gene in a deep vein thrombosis patient with protein S deficiency.

Thromb Haemost 98: 783-789, 2007

YAMAMOTO Koji, **KOJIMA Tetsuhito**, TAKESHITA Kyosuke, MATSUSHITA Tadashi, TAKAMATSU Junki

Pitavastatin attenuates the upregulation of tissue factor in restraint-stressed mice.

Thromb Res 120: 143-144, 2007

YAMAMOTO Kanami, **KONDO Takaaki**, KIMATA Akiko, **UEYAMA Jun**, SHIROTORI Aya, OKADA Yoshiko, SAKUI Daisuke, NAKASHIMA Masahiro, YAMADA Sumio

Lack of effect of aerobic physical exercise on endothelium-derived nitric oxide concentrations in healthy young subjects

Nagoya J Med Sci 69: 167-172, 2007

近藤高明, 上山 純, 木全明子, 山本佳那実, 堀 容子
健常成人男性で体重が血圧に与える影響 経年的測定データの多重レベル解析
厚生指標 54: 7-13, 2007

NISHIO Kazuko, NIWA Yoshimitsu, TOYOSHIMA Hideaki, TAMAKOSHI Koji, **KONDO Takaaki**, YATSUYA Hiroshi, YAMAMOTO Akio, SUZUKI Sadao, TOKUDOME Shinkan, LIN Yingsong, WAKAI Kenji, HAMAJIMA Nobuyuki, TAMAKOSHI Akiko
Consumption of soy foods and the risk of breast cancer: findings from the Japan Collaborative Cohort (JACC) Study
Cancer Causes Control 18: 801-808, 2007

KONDO Takaaki, HAMAJIMA Nobuyuki, HISHIO Kazuko, ISHIDA Yoshiko, IMAI Ryota, **UEYAMA Jun**, TORITA Shoko, KASAI Yurie, YAMAMOTO Ryoko, SUZUKI Koji, ITO Yoshinori
Association of a polymorphism in the ornithine decarboxylase gene with whole blood polyamine concentrations in a non-smoking healthy population
J Health Sci 53(4): 406-412, 2007

上山 純, 近藤高明, 深谷幸生, 長谷川高明
エンドトキシン誘発性肝薬物代謝酵素の発現低下における一酸化窒素の関与
愛知文教短期大学研究紀要 (28): 9-16, 2007

WAKAI Kenji, KOJIMA Masayo, NISHIO Kazuko, SUZUKI Sadao, NIWA Yoshimitsu, LIN Yingsong, **KONDO Takaaki**, YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI Koji, YAMAMOTO Akio, TOKUDOME Shinkan, TOYOSHIMA Hideaki, TAMAKOSHI Akiko
Psychological attitudes and risk of breast cancer in Japan: a prospective study
Cancer Causes Control 18: 259-267, 2007

TAMAKOSHI Koji, YATSUYA Hiroshi, WADA Keiko, MATSUSHITA Kunihiro, OTSUKA Rei, OU YANG Pei, SUGIURA Kaichiro, HOTTA Yo, MITSUHASHI Hirotsugu, TAKEFUJI Seiko, **KONDO Takaaki**, TOYOSHIMA Hideaki
The transition to menopause reinforces adiponectin production and its contribution to improvement of insulin-resistant state
Clin Endocrinol 66: 65-71, 2007

ITOU Simon, GOTO Yasuyuki, **KONDO Takaaki**, NISHIO Kazuko, KAWAI Sayo, ISHIDA Yoshiko, NAITO Mariko, HAMAJIMA Nobuyuki
No associations of Helicobacter pylori infection and gastric atrophy with plasma total homocysteine in Japanese
Int J Med Sci 4: 98-104, 2007

CUI Renzhe, ISO Hiroyasu, TOYOSHIMA Hideaki, DATE Chigusa, YAMAMOTO Akio, KIKUCHI Shogo, **KONDO Takaaki**, WATANABE Yoshiyuki, KOIZUMI Akio, INABA Yutaka, TAMAKOSHI Akiko
Serum total cholesterol levels and risk of mortality from stroke and coronary heart disease in Japanese: the JACC study
Atherosclerosis 194: 415-420, 2007

KONDO Takaaki, HORI Yoko, YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI Koji, TOYOSHIMA Hideaki, NISHINO Yoshikazu, SEKI Nao, ITO Yoshinori, SUZUKI Koji, OZASA Kotaro, WATANABE Yoshiyuki, ANDO Masahiko, WAKAI Kenji, TAMAKOSHI Akiko
Lung cancer mortality and body mass index in a Japanese cohort: findings from the Japan Collaborative Cohort Study (JACC Study)
Cancer Causes Control 18: 229-234, 2007

KONDO Takaaki, UHEYAMA Jun, FUKAYA Yukio, GOTO Masahiro

Serial variations in serum hepatic profiles among occupational pesticide sprayers : multilevel analyses of 14-year health check-up data

Bull Aichi Bunkyo Women's Coll (28): 1-7, 2007

村手 隆

Transcriptional regulation of sphingolipid metabolic enzymes

生化学 79: 1139-1143, 2007

TAKATOKU Masaaki, UCHIYAMA Takashi, OKAMOTO Shinichiro, KANAKURA Yuzuru, SAWADA Kenichi, TOMONAGA Masao, NAKAO Shinji, NAKAHATA Tatsutoshi, HARADA Mine, MURATE Takashi, OZAWA Keiya

Retrospective nationwide survey of Japanese patients with transfusion-dependent MDS and aplastic anemia highlights the negative impact of iron overload on morbidity/mortality

Eur J Haematol 78: 487-494, 2007

SAIKI Atsushi, IWASE Mitsunori, TAKEICHI Yasushi, UMEDA Hisashi, ISHIKI Ryouji, INAGAKI Haruo, KATO Yosuke, NAGATA Kohzo, KOIKE Yasuo.

Diversity of the elevation of serum cardiac troponin I levels in patients during their first visit to the emergency room

Circ J 71: 1458-1462, 2007

IWASAKI Takashi, SUGISAKI Chiho, NAGATA Kohzo, TAKAGI Kenji, TAKAGI Akira, KOJIMA Tetsuhito, ITO Masafumi, NAKAMURA Shigeo, NAOE Tomoki, MURATE Takashi.

Wilms' tumor 1 message and protein expression in bone marrow failure syndrome and acute leukemia

Pathol Int 57: 645-651, 2007

MUTO Takao, UEDA Norihiro, OPTHOF Tobias, OHKUSA Tomoko, NAGATA Kohzo, SUZUKI Shinsuke, TSUJI Yukiomi, HORIBA Mitsuru, LEE Jong-Kook, HONJO Haruo, KAMIYA Kaichiro, KODAMA Itsuo, YASUI Kenji.

Aldosterone modulates If current through gene expression in cultured neonatal rat ventricular myocytes

Am J Physiol 293: 2710-2718, 2007

NODA Akiko, IZAWA Hideo, ASANO Hiroyuki, NAKATA Seiichi, HIRASHIKI Akihiro, MURASE Yosuke, IINO Shigeo, NAGATA Kohzo, MUROHARA Toyoaki, KOIKE Yasuo, YOKOTA Mitsuhiro

Beneficial effect of bilvel positive airway pressure on left ventricular function in ambulatory patients with idiopathic dilated cardiomyopathy and central sleep apnea-hypopnea: a preliminary study.

Chest 131: 1694-1701, 2007

NODA Akiko, NAKATA Seiichi, KOIKE Yasuo, MIYATA Seiko, KITAICHI Kiyoyuki, NISHIZAWA Takao, NAGATA Kohzo, YASUMA Fumihiko, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro.

Continuous positive airway pressure improves daytime baroreflex sensitivity and nitric oxide production in patients with moderate to severe obstructive sleep apnea syndrome

Hypertens Res 30: 669-676, 2007

NAKATA Seiichi, MIYAZAKI Soichiro, OHKI Motofumi, MORINAGA Asami, NODA Akiko, SUGIURA Tatsuki, SUGIURA Makoto, TERANISHI Masaaki, KATAYAMA Naomi, NAKASHIMA Tsutomu

Reduced nasal resistance after simple tonsillectomy in patients with obstructive sleep apnea

Am J Rhinol 21: 192-195, 2007

野田明子

Oral appliance therapy for a child with sleep apnea syndrome due to palatine tonsil hypertrophy
Sleep and Biological Rhythms 5: 288-290, 2007

SUGIURA Tatsuki, **NODA Akiko**, NAKATA Seiichi, YASUDA yoshinari, SUGA Taro, MIYATA Seiko, NAKAI Sigeru, **KOIKE Yasuo**

Influence of nasal resistance on initial acceptance of continuous positive airway pressure in treatment for obstructive sleep apnea syndrome
Respiration 74: 56-60, 2007

MIYATA Seiko, **NODA Akiko**, HONDA Kumiko, NAKATA Seiichi, SUZUKI Keiji, NAKASHIMA Tsutomu, **KOIKE Yasuo**

Follow-up for patients with obstructive sleep apnea syndrome using a portable recording device
Nagoya J 69: 37-43, 2007

MIYATA Seiko, **NODA Akiko**, NAKATA Seiichi, YAGI Hiroto, YANAGI Eriko, HONDA Kumiko, SUGIURA Tatsuki, NAKAI Shigeru, NAKASHIMA Tsutomu, **KOIKE Yasuo**

Datetime polysomnography for early diagnosis and treatment of patients with suspected sleep-disordered breathing
Sleep Breath 11: 109-115, 2007

KIKUCHI Ryosuke, SOBUE Sayaka, MURAKAMI Masashi, ITO Hiromi, KIMURA Aimi, IWASAKI Takuo, SHIBAYAMA Syuji, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, SUZUKI Motoshi, BANNO Yoshiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**

Mechanism of vitamin D3-induced transcription of phospholipase D1 in HaCat human keratinocytes.
FEBS Lett 581: 1800-1804, 2007

SANDA Naomi, FUJIMORI Yuta, KASHIWAGI Takahiro, **TAKAGI Akira**, MURATE Takashi, MIZUTANI Emi, MATSUSHITA Tadashi, NAOE Tomoki, KOJIMA Tetsuhito

An Sp1 binding site mutation of the PROS1 promoter in a patient with protein S deficiency
Br J Haematol 138: 663-665, 2007

OGATA-KAWATA H, MATSUDA M, ONDA N, **UEYAMA Jun**, KAMIJIMA Michihiro, SHIBATA E, OGAWA M, ENDO Y

Direct analysis of permethrins in human blood by SPE-GC/MS
Chromatography 28(3): 119-124, 2007

NADAI Masayuki, KATO Miki, YASUI Kazumasa, KIMURA Masao, ZHAO Ying Lan, **UEYAMA Jun**, TSUNEKAWA Yoshimi, YOSHIZUMI Hideo, HASEGAWA Takaaki

Lack of effect of aciclovir on metabolism of theophylline and expression of hepatic cytochrome P450 1A2 in rats
Biol Pharm Bull, 30(3): 562-568, 2007

LEE Chul-Ho, KAMIJIMA Michihiro, KIM Heon, SHIBATA Eiji, **UEYAMA Jun**, SUZUKI Takayoshi, **TAKAGI Kenji**, SAITO Isao, GOTOH Masahiro, HIBI Hatsuki, NAITO Hisao, NAKAJIMA Tamie

8-Hydroxydeoxyguanosine levels in human leukocyte and urine according to exposure to organophosphorus pesticides and paraoxonase 1 genotype
Int Arch Occup Environ Health, 80(3): 217-227, 2007

ZHANG Shu-Yun, ITO Yuki, YAMANOSHITA Osamu, YANAGIBA Yukie, KOBAYASHI Miya, TAYA Kazuyoshi, LI ChunMei, OKAMURA Ai, MIYATA Maiko, **UEYAMA Jun**, LEE Chul-Ho, KAMIJIMA Michihiro, NAKAJIMA Tamie
Permethrin may disrupt testosterone biosynthesis via mitochondrial membrane damage of Leydig cells in adult male mouse
Endocrinology, 148(8): 3941-3949, 2007

KYOTANI Mayu, OKUMURA Kaoru, **TAKAGI Akira**, **MURATE Takashi**, YAMAMOTO Koji, MATSUSHITA Tadashi, SUGIMURA Motoi, KANAYAMA Naohiro, KOBAYASHI Takao, SAITO Hidehiko, KOJIMA Tetsuhito
Molecular basis of antithrombin deficiency in four Japanese patients with antithrombin gene abnormalities including two novel mutations.
Am J Hematol 82: 702-705, 2007

KIKUCHI Ryosuke, MURAKAMI Masashi, SOBUE Sayaka, IWASAKI Takuo, HAGIWARA Kazumi, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, ASANO Haruhiko, SUZUKI Motoshi, BANNO Yoshiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**
Ewing's sarcoma fusion protein, EWS/Fli-1 and Fli-1 protein induce PLD2 but not PLD1 gene expression by binding to an ETS domain of 5' promoter.
Oncogene 26: 1802-1810, 2007

MURAKAMI Masashi, ICHIHARA Masatoshi, SOBUE Sayaka, KIKUCHI Ryosuke, ITO Hiromi, KIMURA Aimi, IWASAKI Takuo, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, TAKAHASHI Masahide, SUZUKI Motoshi, BANNO Yoshiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**
RET signaling-induced SPHK1 gene expression plays a role in both GDNF-induced differentiation and MEN2-type oncogenesis.
J Neurochem 102: 1585-1594, 2007

OKAMOTO Masakazu, IMAIZUMI Kazuyoshi, HASEGAWA Yoshinori, HASHIMOTO Naozumi, SUMIDA Atsushi, SHIBAZAKI Masataka, **TAKAGI Kenzo**, SHIMOKATA Kaoru, **KAWABE Tsutomu**
Macrophage-derived chemokine in malignant and tuberculous pleurisy.
Respirology 12: 581-584, 2007

UEYAMA Jun, WANG Dong, **KONDO Takaaki**, SAITO Isao, **TAKAGI Kenji**, **TAKAGI Kenzo**, KAMIJIMA Michihiro, NAKAJIMA Tamie, MIYAMOTO Ken-Ichiro, **WAKUSAWA Shinya**, HASEGAWA Takaaki
Toxicity of diazinon and its metabolites increases in diabetic rats
Toxicol Lett 170: 229-237, 2007

KAMIJIMA Michihiro, **UEYAMA Jun**, **TAKAGI Kenji**, **KONDO Takaaki**, SHIBATA Eiji, SAITO Isao, HIBI Hatsuki, OKAMURA Ai, GOTOH Masahiro, NAKAJIMA Tamie
Biological Monitoring of Exposure to Organophosphorus and Pyrethroid Insecticides in Japan : From the Viewpoint of Testicular Toxicity Assessment
The seventh international symposium on biological monitoring in occupational & environmental health , 2007

UEYAMA Jun, WANG Dong, **KONDO Takaaki**, KAMIJIMA Michihiro, **TAKAGI Kenji**, **TAKAGI Kenzo**, **WAKUSAWA Shinya**, MIYAMOTO Ken-ichi, HASEGAWA Takaaki
Toxicity of Diazinon and Its Metabolites Increases in Diabetic Rats
The seventh international symposium on biological monitoring in occupational & environmental health , 2007

LEE Chul-Ho, KAMIJIMA Michihiro, KIM Heon, SHIBATA Eiji, **UEYAMA Jun**, SUZUKI Takayoshi, **TAKAGI Kenji**,
SAITO Isao, GOTOH Masahiro, HIBI Hatsuki, NAITO Hisao, NAKAJIMA Tamie
8-Hydroxydeoxy-guanosine levels in human leukocyte and urine according to exposure to organophosphorus pesticides and
paraoxonase 1 genotype
Int Arch Occup Environ Health 80: 217-227, 2007

SHIBUYA Takashi, MORI Akihiro, FUSHIMI Nobutoshi, OHASHI Noritsugu, MARUYAMA Takako, INOUE Hiroshi,
TAKEGOSHI Shoudou, **YOKOI Toyoharu**, OKUNO Masataka
Pelvic retroperitoneal liposarcoma diagnosed by preoperative imaging studies
Inter Med 46: 1263-1264, 2007

OHASHI Noritsugu, AOMATSU Motoaki, MORI Akihiro, TAKAHASHI Miki, SHIBUYA Takashi, MARUYAMA Takako,
INOUE Hiroshi, TAKEGOSHI Shoudou, **YOKOI Toyoharu**, OKUNO Masataka
Intravascular lymphoma with extremely low high-density lipoproteinemia
Inter Med 46: 1475-1477, 2007

〔総説・解説・その他〕

小嶋哲人
乾燥濃縮活性化プロテイン C
クリニカルプラクティス 26: 489-491, 2007

小嶋哲人
DIC の治療薬 2 低分子ヘパリン，ヘパラン硫酸
治療学 43: 277-280, 2007

井澤英夫，室原豊明，浅野展行，大島 覚，西澤孝夫，磯部 智，小林正和，村瀬洋介，平敷安希博，山田高資，海野一雅，永
田浩三，山田純生，横田充弘
心機能の観点から CHF リハビリテーションの障害要因を探る。パネルディスカッション 2 慢性心不全リハの障害要因を考え
る。
JJCR 12: 32-35, 2007

野田明子，尾崎紀夫
不眠症と睡眠検査
睡眠医療・ライフサイエンス 2: 109-115, 2007

安間文彦，野田明子，中田誠一，柴田 玲
うっ血性心不全におけるチェーンストークス呼吸の治療
呼吸と循環・医学書院 55: 769-776, 2007

野田明子，杉浦建生
呼吸パターンの観察
呼吸器ケア・MC メディカ出版 5: 446-452, 2007

HAYASHI Hisao, WAKUSAWA Shinya, YANO Motoyoshi, OKADA Toshihide
Genetic background of Japanese patients with adult-onset storage diseases in the liver
Hepatol Res 37: 777-783, 2007

〔科研費・班研究等〕

小嶋哲人

門脈血栓にて発症した先天性アンチトロンピン欠損症解析

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患対策研究事業 門脈血行異常症調査研究 平成 18 年度研究報告書九州大学大学院医学研究院 55-57, 2007

小嶋哲人

妊娠時に深部静脈血栓症を発症した先天性 AT 欠損症の分子病態解析

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患対策研究事業 血液凝固異常症に関する調査研究 平成 18 年度総括・分担研究報告書慶應義塾大学医学部内科学 146-150, 2007

豊嶋英明, 玉腰浩司, 八谷 寛, 近藤高明

生活習慣病の発症予防に関する職域コホート追跡研究 -職業性ストレスの心血管危険因子への影響-

平成 17 ~ 18 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B)(2) 成果報告書, 2007

近藤高明, 高木健次, 高木健三, 豊嶋英明, 上山 純

血球ポリアミンの生活習慣病予測因子としての意義と酸化ストレス指標としての有用性

平成 17 ~ 18 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B)(2) 成果報告書, 2007

大賀英史, 廣田晃一, 近藤高明, 山下公平, 岡本和士, 佐久間清美, 堀 容子, 江指隆年

民間衛生施設を活用した健康増進のための効果的なシステムの開発及び評価に関する研究

平成 18 年度厚生労働科学研究成果報告書, 2007

村手 隆

MDS におけるスフィンゴ脂質代謝酵素メッセージ発現に関する研究

厚生労働科学研究補助金難治性疾患克服研究事業 特発性造血障害に関する調査研究 平成 18 年度総括, 分担研究報告書 1: 43-44, 2007

長瀬文彦

マクロファージによる老化制御

厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合 研究事業 生体の持つストレス応答機能を利用した老化制御, 予防研究 (H16- 長寿 - 一般 - 004) 平成 18 年度 総括研究報告書 41-45, 2007

〔学会発表〕

HASHIMOTO Izumi, IMAIZUMI Kazuyoshi, **KAWABE Tsutomu**, HASHIMOTO Naozumi, Matsuo Masaki, NAKAMURA Toshinobu, SHIBAZAKI Masataka, KUME Mitsuyoshi, HONDA Toyohiro, HAYASHI Yuta, KONDOH Yasuhiro, KUME Hiroaki, HASEGAWA Yoshinori, SHIMOKATA Kaoru

Production of Proinflammatory Cytokines by *Sauropus androgynus*: A role for the Pathogenesis of Bronchiolitis Obliterans American Lung Association/American Thoracic Society, 2006.6 (San Francisco, U.S.A)

本多豊大, 今泉和良, 橋本 泉, 林 悠太, 高木康之, 芝崎正崇, 松尾正樹, 橋本直純, 近藤征史, 久米裕昭, 川部 勤, 長谷川好規, 下方 薫

間質性肺炎 (UIP と NSIP) における Th1 および Th2 型ケモカインの発現バランスの解析

第 47 回日本呼吸器学会学術講演会, 2007.5 (東京)

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 新實夕香理, 岡田 武, 阿部仁美, 石田夕紀子, 倉澤繭子, 丹羽さゆり, 長澤伸江, 岡本和士, 前川厚子, 榊原久孝

65歳未満の若年主介護者における脳・心血管疾患リスクファクターの記述疫学的検討 「主介護者の健康支援システムの構築に関する研究」データを用いて (抄録集 p201, 2007)

第17回日本疫学会学術集会, 2007.1 (広島)

西尾和子, 後藤康幸, 近藤高明, 伊藤志門, 石田喜子, 川合沙世, 内藤真理子, 若井建志, 濱島信之

飲酒習慣別に見た MTHFR C677T 遺伝子型を考慮した葉酸摂取量と血清葉酸値との関連 (抄録集 p215, 2007)

第17回日本疫学会学術集会, 2007.1 (広島)

近藤高明, 上山 純, 木全明子, 吉武順子, 鈴木康司, 井上 孝, 伊藤宜則, 濱島信之

一般成人集団での腹部脂肪蓄積と血清 8-iso-Prostaglandin F_{2α} との関連性 (抄録集 p60, 2007)

第17回日本疫学会学術集会, 2007.1 (広島)

水越真代, 近藤高明, 堀 容子, 丸山智美, 星野純子, 岡本和士, 佐久間清美

スーパーマーケットにおける健康づくり事業の実践について

愛知県公衆衛生研究会, 2007.1 (名古屋)

川村久美子, 水野理恵, 伊藤秀郎, 荒川宜親

臨床分離 *Acinetobacter* 属菌の消毒薬感受性調査

日本臨床微生物学会雑誌, 2007.2 (長崎)

水野理恵, 川村久美子, 伊藤秀郎

腸管出血性大腸菌 O157:H7 におけるトリクロサン適応耐性株の解析

日本臨床微生物学会雑誌, 2007.2 (長崎)

川村久美子, 水野理恵, 伊藤秀郎, 荒川宜親

臨床分離 *Acinetobacter* 属菌の消毒薬感受性

日本細菌学雑誌, 2007.3 (大阪)

藤森祐多, 沖松秀美, 柏木隆宏, 三田直美, 田中亮子, 中島大輔, 山田貴之, 奥村 薫, 高木 明, 村手 隆, 内田 文, 野出孝一, 小嶋哲人

家族内発症の見られたアンチトロンピン欠損症と拡張型心筋症の合併症例解析 (第46回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会)

第46回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会, 2007.3 (津)

上山 純, 近藤高明, 今井亮太, 鈴木康司, 井上 孝, 伊藤宜則, 宮本謙一, 長谷川高明, 濱島信之

一般中高年集団を対象としたメタボリック症候群の危険因子と血中一酸化窒素代謝産物の解析 (抄録集 p485, 2007)

第77回日本衛生学会総会, 2007.3 (大阪)

近藤高明, 上山 純, 今井亮太, 鈴木康司, 井上 孝, 伊藤宜則, 濱島信之

健常成人集団での血清カロテノイド類濃度と野菜摂取頻度および一酸化窒素代謝産物濃度との関連性 (抄録集 p496, 2007)

第77回日本衛生学会総会, 2007.3 (大阪)

CHENG Xian Wu, **NAGATA Kohzo**, KUZUYA Masafumi, NISHIZAWA Takao, NAKAMURA Kae, OBATA Koji, IZAWA Hideo, KONDO Takahisa, IGUCHI Akihisa, OKUMURA Kenji, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki.

A Elastolytic Cathepsin Induction/Activation System Exists in the Rat and Human Myocardium and is Upregulated in Hypertensive Heart Failure

第 71 回日本循環器学会総会・学術集会, 2007.3 (神戸)

NISHIZAWA Takao, OBATA Koji, **NAGATA Kohzo**, **NODA Akiko**, CHENG Xian Wu, IZAWA Hideo, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki

Cardiac-Specific Overexpression of ZAKI-4 Attenuates LV Hypertrophy and Interstitial Fibrosis, but not Coronary Perivascular Fibrosis, Induced by Angiotensin II

第 71 回日本循環器学会総会・学術集会, 2007.3 (神戸)

NAGATA Kohzo

The Molecular Mechanism of Calcium Antagonists for the Prevention of Heart Failure

The 1st International Congress of Cardiomyopathies and Heart Failure, Morning Satellite Program, 2007.3 (Kyoto)

NAGATA Kohzo, OBATA Koji, KIMATA Hirotaka, SAKA Masako, CHENG Xian Wu, FUKATA Ayako, NISHIZAWA Takao, **HASHIMOTO Katsunori**, ICHIHARA Sahoko, **NODA Akiko**, IZAWA Hideo, MUROHARA Toyoaki, **KOIKE Yasuo**, YOKOTA Mitsuhiro.

Protective Effects of a Novel Long-Acting Calcium Channel Blocker Azelnidipine Against Cardiac Hypertrophy and Failure in Dahl Salt-Sensitive Rats

ACC2007, 2007.3 (New Orleans)

FUKATA Ayako, **NAGATA Kohzo**, MIYACHI Masaaki, YAZAWA Hiroki, KATO Mayuko, NISHIZAWA Takao, **HASHIMOTO Katsunori**, OBATA Koji, **NODA Akiko**, **KOIKE Yasuo**, YOKOTA Mitsuhiro.

Differential Regulation of Transforming Growth Factor- β 1 and Connective Tissue Growth Factor by Telmisartan and Hydralazine in Angiotensin II Hypertension

第 71 回日本循環器学会総会・学術集会, 2007.3 (神戸)

MIYATA Seiko, **NODA Akiko**, ASANO Hiroyuki, HIRASHIKI Akihiro, KOBAYASHI Masakazu, YAMADA Takashi, KATAOKA Hiroki, HARADA Kenji, NISHIZAWA Takao, MURASE Yosuke, UNNO Kazumasa, ISOBE Satoshi, IINO Shigeo, IZAWA Hideo, **NAGATA Kohzo**, INDEN Yasuya, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro, **KOIKE Yasuo**.

Myocardium Strain during Dobutamine Stress Echocardiography Discriminate Ischemic Heart Disease from Dilated Cardiomyopathy

第 71 回日本循環器学会総会・学術集会, 2007.3 (神戸)

KATO Mayuko, **NAGATA Kohzo**, FUKATA Ayako, MIYACHI Masaaki, YAZAWA Hiroki, MORIYAMA Natsue, NISHIZAWA Takao, **HASHIMOTO Katsunori**, OBATA Koji, **NODA Akiko**, **KOIKE Yasuo**, YOKOTA Mitsuhiro.

Pioglitazone-Induced Inhibition of Cardiac Hypertrophy in Dahl Salt-Sensitive Rats: Possible Role of AMP-Activated Protein Kinase

第 71 回日本循環器学会総会・学術集会, 2007.3 (神戸)

NISHIZAWA Takao, YASUMA Fumihiko, **NODA Akiko**, MIURA Manabu, IZAWA Hideo, **NAGATA Kohzo**, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki.

Low Plasma BNP in Patients with Duchenne Muscular Dystrophy is Associated with Preserved Diastolic Function and Low Systemic Vascular Resistance

第 71 回日本循環器学会総会・学術集会, 2007.3 (神戸)

NISHIZAWA Takao, YASUMA Fumihiko, **NODA Akiko**, MIURA Manabu, IZAWA Hideo, **NAGATA Kohzo**, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki.

Cardiac Myolysis and LV Dysfunction in Patients with Duchenne Muscular Dystrophy

第 71 回日本循環器学会総会・学術集会, 2007.3 (神戸)

NISHIZAWA Takao, YASUMA Fumihiko, **NODA Akiko**, IZAWA Hideo, **NAGATA Kohzo**, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki.

Cardiac Myolysis and LV Dysfunction in Patients with Duchenne Muscular Dystrophy: Inhibitory Effect of Carvedilol on Cardiac Myolysis

ACC2007, 2007.3 (New Orleans, U.S.A)

MIYATA Seiko, **NODA Akiko**, ASANO Hiroyuki, IWAMI Aki, HARA Yuhki, SUGIURA Mari, NISHIZAWA Takao, IZAWA Hideo, IINO Shigeo, MUROHARA Toyoaki, **KOIKE Yasuo**

Discrimination of ischemic heart disease from dilated cardiomyopathy by myocardium strain during dobutamine stress echocardiography(抄録集,2007)

第 71 回日本循環器学会総会, 2007.3 (兵庫)

MINOSHIMA M, **NODA Akiko**, MIYATA Seiko, IWAMI Aki, HARA Yuhki, SUGIURA Mari, NISHIZAWA Takao, IZAWA Hideo, IINO Shigeo, MUROHARA Toyoaki, **KOIKE Yasuo**

Assessment of regional myocardial dysfunction in hypertrophic cardiomyopathy using endomyocardial and epimyocardial radial strain imaging(抄録集,2007)

第 71 回日本循環器学会総会, 2007.3 (兵庫)

HARA Yuhki, **NODA Akiko**, MIYATA Seiko, MINOSHIMA Makoto, SUGIURA Mari, IWAMI Aki, ADACHI Yuki, IIDAKA Tetsuya, OZAKI Norio, **KOIKE Yasuo**

Obstructive sleep apnea syndrome adversely affects on cerebral blood flow

America College of Cardiology 56th Annual Scientific Session, 2007.3 (New Orleans, U.S.A)

亀山なつみ, 有沢早葵子, 佐野雅幸, 上山 純, 高木健次, 涌澤伸哉

ストレプトゾトシン誘発性糖尿病モデルラットにおける P 糖蛋白の発現誘導

日本薬学会第 127 回年会, 2007.3 (富山)

佐野雅幸, 石田空美季, 亀山なつみ, 涌澤伸哉

ドキソルビシンの MDR1mRNA 発現誘導作用に及ぼす抗酸化剤の抑制効果

日本薬学会第 127 回年会, 2007.3 (富山)

鈴木智景, 浅井直也, 村雲芳樹, 横井豊治, 長坂徹郎, 中村栄男, 高橋雅英

胸膜原発の類上皮型血管内皮腫 (Epitheloid hemangioendothelioma) の一剖検例

第 96 回日本病理学会総会, 2007.3 (大阪)

木全明子, 上山 純, 近藤高明, 上島通浩, 柴田英治, 五藤雅博, 深谷幸生, 高木健次

尿中殺虫剤代謝産物量を指標とした職業性の殺虫剤曝露評価の有用性 (抄録集 p829, 2007)

第 80 回日本産業衛生学会総会, 2007.4 (大阪)

美濃島慎, 野田明子, 宮田聖子, 原 祐樹, 杉浦真里, 伊藤理恵子, 飯野重夫, 永田浩三, 古池保雄

肥大心における壁厚と strain imaging との関係 (抄録集 p170,2007)

第 18 回日本心エコー図学会学術集会, 2007.4 (軽井沢)

杉浦真里, 野田明子, 宮田聖子, 美濃島慎, 原 祐樹, 足立由希, 伊藤理恵子, 飯野重夫, 永田浩三, 古池保雄
三次元心エコー法および組織ドブラ法による大学生アスリートにおける運動中の左心機能の検討 (抄録集 p171, 2007)
第 18 回日本心エコー学会学術集会, 2007.4 (軽井沢)

柴田英治, 圓藤陽子, 上山 純, 上島通浩, 岡村 愛, 内藤久雄, 今井亮太, 王 棟, 高木健次, 近藤高明, 五藤雅博, 深谷幸生, 斎藤 勲
衛生害虫防除作業者のピレスロイド系薬剤使用と血中ペルメトリン及び尿中 3 フェノキシ安息香酸の定量 (抄録集 p442, 2007)
第 80 回日本産業衛生学会総会, 2007.4 (大阪)

HAYASHI H, YANO M, **WAKUSAWA Shinya**, FUJITA Y, HAYASHI K, KATANO Y, GOTO H
Hepatic Iron OverLoad in a Wilson Disease Model of Long-Evans Cinnamon Rats
Bio Iron 2007, 2007.4 (Kyoto)

KANEKO Y, MOTONISHI S, TOMOSUGI N, HAYASHI H, YANO M, **WAKUSAWA Shinya**, IKEDA T, OKADA T, MIYAMOTO K, HAYASHI K, KATANO Y, GOTO H
Direct Determination of Serum Hcpidin 25 is a Sensitive Scening Test for Hemochromatosis
Bio Iron 2007, 2007.4 (Kyoto)

HAYASHI H, MOTONISHI S, TOMOSUGI N, HAYASHI H, YANO M, **WAKUSAWA Shinya**, KATANO Y, GOTO H, MIYAMOTO K
Serum Levels of Hcpidin 25 in Chronic Hepatitis C
Bio Iron 2007, 2007.4 (Kyoto)

橋本 泉, 今泉和良, 橋本直純, 本多豊大, 近藤征史, 久米裕昭, 長谷川好規, 下方 薫, 川部 勤
アマメシバ (*Sauropus androgynus*) による閉塞性細気管支炎の発症機序の検討:
第 47 回日本呼吸器学会学術講演会, 2007.5 (東京)

YOKOI Toyoharu, TAKASU S, **HASHIMOTO Katsunori**, SAKAMOTO S, NOUMA Y, SAKAKIBARA S, MORIMOTO A, SENDA M, MORITANI Suzuko, ICHIHARA Shu
Morphometric and immunohistochemical analysis of normal endometrium, endometrial hyperplasia and endometrial adenocarcinoma
The 5th International Academy of Pathology Asia Pacific Meeting, 2007.5 (Singapore, Singapore)

松島充代子, 川部 勤, 小川三由紀, 廣瀬悦子, 古部裕子, 太田裕以, 安部文江, 高木健三
ケルセチンの抗アレルギー作用における heme oxygenase (HO)-1 の役割 (アレルギー 56: 337, 2007)
第 19 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2007.6 (横浜)

藤森祐多, 沖松秀美, 柏木隆宏, 三田直美, 田中亮子, 中島大輔, 山田貴之, 奥村 薫, 高木 明, 村手 隆, 内田 文, 野出孝一, 小嶋哲人
拡張型心筋症とアンチトロンピン欠損症合併症例の遺伝子解析 (第 8 回愛知県医学検査学会)
第 8 回愛知県医学検査学会, 2007.6 (半田)

柏木隆宏, 中島大輔, 藤森祐多, 伊藤裕美, 木村有美, 三田直美, 田中亮子, 山田貴之, 早川靖彦, 森島義行, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人
遺伝子導入装置を利用した DNA ワクチン法による抗ラットプロテイン C 抗体の作製 (第 8 回愛知県医学検査学会)
第 8 回愛知県医学検査学会, 2007.6 (半田)

王 棟, 上山 純, 林 由美, 上島通浩, 近藤高明, 長谷川高明, 高木健次, 高木健三, 涌澤伸哉
有機リン系殺虫剤が及ぼすストレプトゾトシン誘発性糖尿病モデルラットへの影響 (抄録集, 2007)
第 34 回日本トキシコロジー学会学術年会, 2007.6 (東京)

浅井佳寿美, 上山 純, 三河由佳, 望月愛子, 上島通浩, 近藤高明, 長谷川高明, 高木健次, 高木健三, 涌澤伸哉
有機リン系殺虫剤が及ぼす 2 型糖尿病モデルラットへの影響 (抄録集, 2007)
第 34 回日本トキシコロジー学会学術年会, 2007.6 (東京)

宮地正朗, 永田浩三, 深田亜矢子, 加藤まゆ子, 矢澤宏樹, 坪井公司, 笠井悠里江, 加藤由里子, 古池保雄, 西澤孝夫, 横田
充弘
Swimming による運動療法は高血圧性不全心の左室形態と生命予後を改善する 冠血管新生の役割 。
第 129 回日本循環器学会東海地方会, 2007.6 (名古屋)

矢澤宏樹, 永田浩三, 深田亜矢子, 古川まゆ子, 宮地正朗, 坪井公司, 笠井悠里江, 加藤由里子, 西澤孝夫, 古池保雄, 横田
充弘
ACE 阻害薬は Dahl 食塩感受性高血圧ラットの不全心において冠血管形成を促進する。
第 129 回日本循環器学会東海地方会, 2007.6 (名古屋)

HARA Yuhki, **NODA Akiko**, MIYATA Seiko, MINOSHIMA Makoto, SUGIURA Mari, **KOIKE Yasuo**
Assessment for severity of sleep-disordered breathing in children
Associated Professional Sleep Societies 21th Annual Meeting, 2007.6 (ミネアポリス)

三田直美, 柏木隆宏, 藤森祐多, 田中亮子, 中島大輔, 山田貴之, 奥村 薫, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人
PROS1 遺伝子プロモーター領域内の一塩基置換による先天性プロテイン S 欠損症 (第 8 回日本検査血液学会学術集会)
第 8 回日本検査血液学会学術集会, 2007.7 (福井)

KUNISHIMA Shinji, MATSUSHITA Tadashi, **KOJIMA Tetsuhito**, OKADA Hiromi, YAMAZAKI Tomio, HAMAGUCHI
Motohiro, SAITO Hidehiko,
Differential detection of wild-type and mutant MYH9 mRNA and NMMHC-IIA polypeptide reveals dominant-negative
effect in granulocytes and haploinsufficiency in platelets in patients with MYH9 disorders(XXIInd Congress of International
Society on Thrombosis and Haemostasis)
XXIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2007.7 (Geneva, Switzerland)

YAMAZAKI Tomio , OKADA Hiromi, TOYODA Yoshimi, KUNISHIMA Shinji, HAMAGUCHI Motohiro, SAITO Hidehiko,
KOJIMA Tetsuhito
Allelic frequency and minor variations of the factor V R2 haplotype in Japanese population(XXIInd Congress of International
Society on Thrombosis and Haemostasis)
XXIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2007.7 (Geneva, Switzerland)

NAKAYAMA Takayuki, MATSUSHITA Tadashi, SADLER Evan J, KATSUMI Akira , **KOJIMA Tetsuhito**, NAOE Tomoki,
SAITO Hidehiko
Identification of amino acid residues responsible for von Willebrand factor binding to sulfatide by charged to Alanine scan-
ning mutagenesis of protein S gene and its molecular consequences.(XXIInd Congress of International Society on Thrombosis
and Haemostasis)
XXIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2007.7 (Geneva, Switzerland)

ISHIKAWA Junko, SATO Y.ukiko, TAKESHITA So, KOKAME Koici, KIMURA Rina, HONDA Shigenori, KAWASAKI Tomio, SUEHISA Etsuji, TSUJI Hajime, MADOIWA Shinji, SAKATA Yuichi, **KOJIMA Tetsuhito**, MURATA Mitsuru, IKEDA Yasuo, MIYATA Toshiyuki

One-Third of Japanese patients with deep vein thrombosis carried the genetic mutations in proteins S, C and antithrombin genes: the sub-group study of blood coagulation abnormality, the study group of research on measures for intractable diseases in Japan.(XXIIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis)

XXIIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2007.7 (Geneva, Switzerland)

YIN Tong, TAKESHITA So, SATO Y.ukiko, SAKATA Toshiyuki, SHIN Y., HONDA Shigenori, KAWASAKI Tomio, TSUJI Hajime, **KOJIMA Tetsuhito**, MADOIWA Shinji, SAKATA Yuichi, MURATA Mitsuru, IKEDA Yasuo, MIYATA Toshiyuki

A large deletion of the PROS1 gene in a deep vein thrombosis patient with protein S deficiency(XXIIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis)

XXIIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2007.7 (Geneva, Switzerland)

内藤真理子, 江口英孝, 後藤康幸, 近藤高明, 西尾和子, 石田喜子, 川合紗世, 岡田理恵子, 若井建志, 浜島信之
ピロリ菌の感染および胃粘膜萎縮の有無別に見た血中 IL-8 濃度 (抄録集 p 92, 2007)

第 14 回日本がん予防学会, 2007.7 (東京)

後藤康幸, 西尾和子, 川合紗世, 石田喜子, 岡田理恵子, 内藤真理子, 若井建志, 濱島信之, 近藤高明

CYP2C19 遺伝子型を利用したピロリ菌除菌自由診療 (抄録集 p 91, 2007)

第 14 回日本がん予防学会, 2007.7 (東京)

後藤康幸, 浜島信之, 神谷悦功, 西尾和子, 川合紗世, 石田喜子, 岡田理恵子, 内藤真理子, 若井建志, 近藤高明

CYP2C19 遺伝子型を用いたピロリ菌除菌自由診療, その後の経過報告 (抄録集 p 35, 2007)

第 53 回東海公衆衛生学会学術大会, 2007.7 (津)

杉浦真里, 野田明子, 美濃島 慎, 原 祐樹, 中田誠一, 西澤孝夫, 大嶽正文, 小島 隼, 中島 務, 古池保雄
閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における血管内皮機能評価

第 39 回睡眠呼吸障害研究会, 2007.7 (東京)

OKADA Hiromi, KUNISHIMA Shinji, HAMAGUCHI Motohiro, **TAKAGI Akira**, YAMAMOTO Koji, TAKAMATSU Junki, MATSUSHITA Tadashi, SAITO Hidehiko, **KOJIMA Tetsuhito**, YAMAZAKI Tomio

The protein S thrombin sensitive region contributes regulation of warfarin treated des-₁₋₃₀-carboxylated protein S secretion: a study of a novel splice site mutation of protein S gene and its molecular consequences.(XXIIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis)

XXIIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2007.7 (Geneva, Switzerland)

OKUMURA Kaoru, FUJIMORI Yuta, KASHIWAGI Takahiro, ANDA Naomi, YAMADA Takayuki, **TAKAGI Akira**, **MURATE Takashi**, IWASAKI Toshihiro, KATSUMI Akira, YAMAMOTO Koji, MATSUSHITA Tadashi, NAOE Tomoki, SAITO Hidehiko, **KOJIMA Tetsuhito**

Molecular basis of antithrombin deficiency in four Japanese patients with pregnancy-associated thrombosis: antithrombin gene abnormalities including two novel mutations. (XXIIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis)

XXIIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2007.7 (Geneva, Switzerland)

SANDA Naomi, FUJIMORI Yuta, KASHIWAGI Takahiro, YAMADA Takayuki, OKUMURA Kaoru, **TAKAGI Akira**, **MURATE Takashi**, IWASAKI Toshihiro, KATSUMI Akira, YAMAMOTO Koji, MATSUSHITA Tadashi, NAOE Tomoki, SAITO Hidehiko, **KOJIMA Tetsuhito**

Four novel causative mutations identified in the PROS1 gene of Japanese deep vein thrombosis patients with protein S deficiency.(XXIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis)

XXIInd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2007.7 (Geneva, Switzerland)

北村文彦, 横山和仁, 石川 仁, 高木健次, 豊川智之, 木田博隆, ノルディンルスリーピン

マレーシアのタバコ作業者の農薬曝露による神経行動学的健康影響

第 80 回日本産業衛生学会, 2007.7 (大阪)

野田明子, 磯部 智, 山田 晶, 美濃島慎, 加藤克彦, 朱宮孝紀, 山田高彰, 海野一雅, 浅井 徹, 平井稔久, 大島 覚, 井澤英夫, 飯野重雄, 永田浩三, 室原豊明, 古森公浩, 横田充弘, 古池保雄

アデノシン負荷 Strain imaging による心筋虚血診断

第 57 回循環器負荷研究会, 2007.8 (東京)

横井豊治, 橋本克訓

病理系実習における免疫組織化学教育の取り組み

第 2 回日本臨床検査学教育学会, 2007.8 (高松)

大野民生, 川部 勤, 馬場泰輔, 空閑雅子, 小林美里, 橋本克訓, 堀尾文彦, 横井豊治, 西村正彦

マウス A/J 系統の第 7 番染色体を SM/J 系統に置換したコンソミック系統 (A-7SM) に観察される致死現象

第 24 回日本疾患モデル学会, 2007.8.31-9.1(つくば)

MIYACHI Masaaki, **NAGATA Kohzo**, FUKATA Ayako, KATO Mayuko, YAZAWA Hiroki, TSUBOI Koji, KASAI Yurie, KATO Yuriko, NISHIZAWA Takao, **KOIKE Yasuo**, YOKOTA Mitsuhiro.

Exercise Training Alters Left Ventricular Geometry and Improves Survival in Hypertensive Heart Failure Rats: Possible Role of Coronary Angiogenesis

第 11 回日本心不全学会学術集会, 2007.9 (浦安)

YAZAWA Hiroki, **NAGATA Kohzo**, FUKATA Ayako, KATO Mayuko, MIYACHI Masaaki, TSUBOI Koji, KASAI Yurie, KATO Yuriko, NISHIZAWA Takao, **KOIKE Yasuo**, YOKOTA Mitsuhiro.

Angiotensin-Converting Enzyme Inhibition Promotes Angiogenesis in the Failing Heart of Dahl Salt-Sensitive Hypertensive Rats

第 11 回日本心不全学会学術集会, 2007.9 (浦安)

原 祐樹, 野田明子, 尾崎紀夫, 大嶽正文, 小島 準, 杉浦真理, 美濃島慎, 原 祐樹, 本多久美子, 中田誠一, 中島 務, 古池保雄

Actigraphy による閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における生活パフォーマンス評価

第 18 回東海睡眠呼吸障害研究会, 2007.9 (名古屋)

堀 容子, 近藤高明, 榎原久孝, 水越真代, 丸山智美, 星野純子, 近藤良伸, 佐久間清美, 岡本和士

スーパーマーケットにおける健康づくり事業参加者の特徴 (二報) (抄録集 p322, 2007)

第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 新實夕香理, 桜井志保美, 永井邦芳, 前川厚子, 榊原久孝
在宅重度要介護者の主介護者における脳・心血管疾患リスクファクターの記述疫学的検討 「主介護者の健康支援システムの構築に関する研究」データを用いてー (抄録集 p510, 2007)
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

吉田理紗, 川村久美子, 水野理恵, 伊藤秀郎, 荒川宜親
MRSA を対象とした消毒薬耐性遺伝子の保有調査
日本感染症学雑誌講演抄録集, 2007.10 (京都)

水野理恵, 川村久美子, 吉田理紗, 伊藤秀郎, 荒川宜親
腸管出血性大腸菌 O157:H7 におけるトリクロサン適応耐性株の解析
日本感染症学雑誌講演抄録集, 2007.10 (京都)

藤森祐多, 沖松秀美, 柏木隆宏, 三田直美, 田中亮子, 中島大輔, 山田貴之, 奥村 薫, 高木 明, 村手 隆, 内田 文, 野出孝一, 小嶋哲人
アンチトロンピン欠損症と拡張型心筋症の合併家系における分子病態解析 (臨床血液 48(9):467, 2007)
第 69 回日本血液学会・第 49 回日本臨床血液学会合同総会, 2007.10 (横浜)

木村有美, 伊藤裕美, 祖父江沙矢加, 村上真史, 根本 聡, 高 四 強, 古畑彩子, 高木 明, 小嶋哲人, 幣光太郎, 村手 隆
JAK2 V617F 変異がもたらす Bcl-XL 発現増加とその転写調節機序の解明 (第 69 回日本血液学会・第 49 回日本臨床血液学会合同総会)
第 69 回日本血液学会・第 49 回日本臨床血液学会合同総会, 2007.10 (横浜)

祖父江沙矢加, 村上真史, 根本 聡, 伊藤裕美, 木村有美, 高 四 強, 古畑彩子, 高木 明, 小嶋哲人, 坂野喜子, 野澤義則, 村手 隆
白血病細胞株における SPHK1 発現と抗癌剤 Daunorubicin 耐性との関連 (プログラム集)
第 69 回日本血液学会・第 49 回日本臨床血液学会合同総会, 2007.10 (横浜)

岩崎年宏, 勝見 章, 谷崎亮平, 小林美希, 尾関和貴, 安部明弘, 清井 仁, 松下 正, 小嶋哲人, 直江知樹
急性骨髄性白血病における RhoH の生物学的意義 (第 69 回日本血液学会・第 49 回日本臨床血液学会 合同総会)
第 69 回日本血液学会・第 49 回日本臨床血液学会 合同総会, 2007.10 (横浜)

祖父江沙矢加, 村上真史, 根本 聡, 伊藤裕美, 木村有美, 高 四 強, 古畑彩子, 高木 明, 小嶋哲人, 村手 隆
白血病細胞株における SPHK1 発現と抗癌剤 Daunorubicin 体制との関連 (第 69 回日本血液学会・第 49 回日本臨床血液学会合同総会)
第 69 回日本血液学会・第 49 回日本臨床血液学会合同総会, 2007.10 (横浜)

近藤高明, 堀 容子, 玉腰浩司, 八谷 寛, 豊嶋英明
健常成人男性集団で体重が血圧値にあたる影響 経年的測定データの多重レベル解析 (抄録集 p 231, 2007)
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

水越真代, 近藤高明, 堀 容子, 榊原久孝, 丸山智美, 星野純子, 金森恭子, 伊藤英代, 佐久間清美, 岡本和士
スーパーマーケットにおける産官学協働型健康づくり事業の実践とその評価 (一報)(抄録集 p 321, 2007)
第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

永田浩三
ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬は低アルドステロン性高血圧ラットにおいて心肥大・心不全を抑制する。
第 24 回日本心電学会学術集会。シンポジウム I: 学術諮問委員会提言シンポジウム, 2007.10 (名古屋)

YOKOI Toyoharu, HASHIMOTO Katsunori, OHASHI Noritsugu, AOMATSU Motoaki, MORI Akihiro, TAKA-HASHI Miki, SHIBUYA Takashi, MARUYAMA Takako, INOUE Hiroshi, TAKEGOSHI Shoudou, OKUNO Masataka
Intravascular lymphoma with pulmonary involvement
The 10th Korean-Japanese Joint Conference of the International Academy of Pathology, 2007.10 (Jeju, Korea)

橋本克訓, 坂倉健司, 吉武 舞, 佐久間恵美, 西佐奈子, 森谷鈴子, 市原 周, 榊原沙知, 前多松喜, 氏平伸子, 佐竹立成, 横井豊治
胸膜悪性中皮腫・胸膜中皮過形成・肺腺癌の鑑別診断における免疫組織化学および形態計測の有用性の検討 (臨床病理 36 巻
Suppl.2 Page324(2007.10))
第 54 回日本臨床検査医学会学術集会, 2007.11 (大阪)

橋本直純, 今泉和良, 松尾正樹, 川部 勤, 久米裕昭, 近藤征史, 長谷川好規
エリスロマイシンによる微小血管内皮細胞上の CXCR4 表面発現誘導効果
第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2007.11 (横浜)

松島充代子, 川部 勤, 廣瀬悦子, 太田裕以, 高木健三
Anti-allergic actions of quercetin are mediated by heme oxygenase-1 in RBL-2H3 cells.
第 37 回日本免疫学会総会, 2007.11 (東京)

今泉和良, 橋本泉, 本多豊大, 橋本直純, 近藤征史, 長谷川好規, 川部 勤, 下方薫
癌性胸膜炎に対する胸膜癒着術における胸腔内サイトカイン産生の経時的解析と治療成績に与える影響
第 48 回日本肺癌学会総会, 2007.11 (名古屋)

太田裕以, 川部 勤, 松島充代子, 松本直樹, 廣瀬悦子, 高木健三
肥満細胞におけるケルセチンの HO-1 活性化制御の検討 (アレルギー 56 : 1117, 2007)
第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2007.11 (横浜)

廣瀬悦子, 川部 勤, 松島充代子, 松本直樹, 太田裕以, 高木健三
ケンフェロールの抗アレルギー作用における heme oxygenase (HO)-1 の役割 (アレルギー 56 : 1118, 2007)
第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2007.11 (横浜)

田中亮子, 中島大輔, 柏木隆宏, 三田直美, 藤森祐多, 山田貴之, 奥村 薫, 勝見 章, 山本晃士, 高松純樹, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人
先天性プロテイン C 欠損症 7 家系における遺伝子解析 (第 30 回日本血栓止血学会学術集会)
第 30 回日本血栓止血学会学術集会, 2007.11 (志摩)

原田直明, 岡嶋研二, 小嶋哲人
ダバロイドナトリウムによる臓器保護-その分子機構と重症敗血症治療への応用-(第 30 回日本血栓止血学会学術集会)
第 30 回日本血栓止血学会学術集会, 2007.11 (志摩)

奥村 薫, 山田貴之, 柏木隆宏, 三田直美, 藤森祐多, 田中亮子, 中島大輔, 松下 正, 小関道夫, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人
X 染色体の不活性化を伴う女兒血友病 B の分子病態解析 (第 30 回日本血栓止血学会学術集会)
第 30 回日本血栓止血学会学術集会, 2007.11 (志摩)

Tong Yin, 竹下 聡, 佐藤有希子, 阪田敏幸, 辛 英哲, 本田繁則, 川崎富夫, 辻 肇, 小嶋哲人, 窓岩清治, 坂田洋一, 村田 満, 池田康夫, 宮田敏行
わが国の妊産婦における静脈血栓塞栓症および関連周産期疾患と遺伝的素因についての解析 (第 30 回日本血栓止血学会学術集会)
第 30 回日本血栓止血学会学術集会, 2007.11 (志摩)

山崎鶴夫, 岡田浩美, 高木 明, 國島伸治, 濱口元洋, 齋藤英彦, 小嶋哲人
Warfarin 存在下においても分泌が抑制されない変異プロテイン S 分子の解析 (第 30 回日本血栓止血学会学術集会)
第 30 回日本血栓止血学会学術集会, 2007.11 (志摩)

石川淳子, 加藤久雄, 岡田浩美, 竹下 聡, 本田繁則, 川崎富夫, 末久悦次, 辻 肇, 小嶋哲人, 窓岩清治, 坂田洋一, 村田 満, 池田康夫, 小久保喜弘, 岡山 明, 友池仁暢, 宮田敏行
日本人の深部静脈血栓症患者における TFPI Asn221Ser 変異の頻度 (第 30 回日本血栓止血学会学術集会)
第 30 回日本血栓止血学会学術集会, 2007.11 (志摩)

山本晃士, 松下 正, 勝見 章, 小嶋哲人, 高松純樹
リバピリン併用の C 型肝炎治療に劇的な出血の改善を認めたインヒビター陽性血友病 A の 1 例 (第 30 回日本血栓止血学会学術集会)
第 30 回日本血栓止血学会学術集会, 2007.11 (志摩)

中島大輔, 田中亮子, 柏木隆宏, 三田直美, 藤森祐多, 山田貴之, 奥村 薫, 寺西正明, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人
60 歳時からの鼻出血で発症した遺伝性出血性末梢血管拡張症の遺伝子解析 (第 30 回日本血栓止血学会学術集会)
第 30 回日本血栓止血学会学術集会, 2007.11 (志摩)

CHENG Xian Wu, OKUMURA Kenji, **NAGATA Kohzo**, IZAWA Hideo, OBATA Koji, SASAKI Takeshi, INOUE Aiko, NISHIZAWA Takao, YAMADA Takashi, KOBAYASHI Masakazu, INDEN Yasuya, MURASE Yosuke, KUZUYA Mafumi, SHI Guo-Ping, MUROHARA Toyooki, YOKOTA Mitsuhiro.
Superoxide-Dependent Cathepsin Activation System is Associated with Hypertensive Myocardial Remodeling and Represents a Target for Angiotensin II Type 1 Receptor Blocker Therapy
AHA2007, 2007.11 (Orlando, U.S.A)

CHENG Xian Wu, OKUMURA Kenji, **NAGATA Kohzo**, INOUE Aiko, ZHANG Jie, NISHIZAWA Takao, YAMADA Takashi, MURASE Yosuke, IZAWA Hideo, ASANO Hiroyuki, OBATA Koji, KUZUYA Masafumi, SHI Guo-Ping, MUROHARA Toyooki, YOKOTA Mitsuhiro.
Azelnidipine Enhances Beneficial Effects of Olmesartan on Left Ventricular Remodeling During the Development of Hypertension-induced Heart Failure
AHA2007, 2007.11 (Orlando, U.S.A)

HARADA Ken, IZAWA Hideo, FUNAHASHI Hidehito, KATAOKA Hiroki, UNNO Kazumasa, YAMADA Takashi, MURASE Yosuke, HIRASHIKI Akihiro, KOBAYASHI Masakazu, ASANO Hiroyuki, NISHIZAWA Takao, CHENG Xian W, **NAGATA Kohzo**, OKUMURA Kenji, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyooki
A Randomized, Open-label, Crossover Pilot Study Comparing The Effects Of A Loop Diuretic With Antialdosteronergic Properties Versus A Pure Loop Diuretic On Activation Of Sympathetic Nerve System In Mildly Symptomatic Patients With Chronic Heart Failure
AHA2007, 2007.11 (Orlando, U.S.A)

HIRASHIKI Akihiro, IZAWA Hideo, FUNAHASHI Hidehito, KATAOKA Hiroki, UNNO Kazumasa, YAMADA Takashi, MURASE Yosuke, HARADA Ken, KOBAYASHI Masakazu, ASANO Hiroyuki, CHENG Xian Wu, ISOBE Satoshi, NISHIZAWA Takao, **NAGATA Kohzo**, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro

Dobutamine-induced Mechanical Alternans Predicts Poor Prognosis In Mildly To Moderately Symptomatic Patients With Idiopathic Dilated Cardiomyopathy In Sinus Rhythm

AHA2007, 2007.11 (Orlando, U.S.A)

NODA Akiko, NAKATA Seiichi, YAMADA Akira, NISHIZAWA Takao, IZAWA Hideo, IINO Shigeo, NAGATA Kohzo, MUROHARA Toyoaki, KOIKE Yasuo, YOKOTA Mitsuhiro

Myocardial Microvasculature Dysfunction and Impaired Left Ventricular Relaxation Revealed by Ultrasonic Strain Rate in Patients with Obstructive Sleep Apnea Syndrome

AHA2007, 2007.11 (Orlando, U.S.A)

NISHIZAWA Takao, YASUMA Fumihiko, SAKAI Motoko, KURU Satoshi, KIMURA Seigo, SHIBATA Rei, OHASHI Taiki, **NODA Akiko**, IZAWA Hideo, **NAGATA Kohzo**, YOKOTA Mitsuhiro, KONAGAYA Masaaki, MUROHARA Toyoaki.

Minor Myocardial Damage and LV Dysfunction in Patients with Duchenne Muscular Dystrophy-The Preventive Efficacy of Carvedilol on Plasma Cardiac Troponin I

AHA2007, 2007.11 (Orlando, U.S.A)

大嶽正文, 野田明子, 小島 準, 杉浦真理, 美濃島慎, 原 祐樹, 本多久美子, 中田誠一, 中島 務, 古池保雄

Actigraphy による睡眠時無呼吸症候群患者における睡眠・覚醒リズムの経過観察 (抄録集 p226,2007)

日本睡眠学会第 32 回定期学術集会, 2007.11 (東京)

野田明子

睡眠検査医学 PSG データを深く理解するための臨床検査 (抄録集 p115,2007)

日本睡眠学会第 32 回定期学術集会, 2007.11 (東京)

野田明子, 湧田雄基, 小島 準, 原 祐樹, 助川真代, 宮田聖子, 中田誠一, 尾崎紀夫, 福田敏男, 古池保雄

睡眠・覚醒リズムコントロール (抄録集 p177, 2007)

日本睡眠学会第 32 回定期学術集会, 2007.11 (東京)

NISHIZAWA Takao, OBATA Koji, MIYACHI Masaaki, KATO Mayuko, **NODA Akiko**, YAMADA Takashi, SHIBATA Rei, CHENG Xian Wu, IZAWA Hideo, **NAGATA Kohzo**, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro.

The Ca^{2+} Channel Blocker Benidipine Promotes Coronary Angiogenesis And Reduces Both Left Ventricular Stiffness And Mortality In Hypertensive Rats

AHA2007, 2007.11 (Orlando. U.S.A.)

NODA Akiko, NAKATA Seiichi, YAMADA Akira, NISHIZAWA Takao, IINO Shigeo, IZAWA Hideo, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro, **KOIKE Yasuo**

Myocardial Microvasculature Dysfunction and Impaired Left Ventricular Relaxation Revealed by Ultrasonic Strain Rate in Patients with Obstructive Sleep Apnea Syndrome

American Heart Association 2007, 2007.11 (Orlando. U.S.A.)

森永麻美, 中田誠一, 野田明子, 安間文彦, 中島 務

OSAHS 患者の咽頭形態についての検討 鼻手術による改善例において (抄録集 p253,2007)

日本睡眠学会第 32 回定期学術集会, 2007.11 (東京)

森本亜由美, 橋本克訓, 横井豊治

液状処理細胞診検体を用いた免疫細胞染色による中皮と腺癌の鑑別 (日本臨床細胞学会雑誌 46 巻 Suppl.2 p 593(2007.09))
第 46 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2007.12 (仙台)

鈴木 元, 富田秀太, 菱田 卓, 種子田艶, 中川善之, 紅 朋浩, 菊池韶彦, 村手 隆, 石原 廣, 高橋 隆
DNA ポリメラーゼ alpha と eta の共役による損傷乗り越え修復 (第 80 回日本生化学会抄録集)
第 80 回日本生化学会, 2007.12 (横浜)

根本 聡, 祖父江沙矢加, 村手 隆, 原 明, 岡野幸雄, 野澤義則, 坂野喜子
癌細胞の抗癌剤抵抗性とスフィンゴ脂質代謝との関連性 (第 80 回日本生化学会抄録集)
第 80 回日本生化学会, 2007.12 (横浜)

ITO Hiromi, SOBUE Sayaka, MURAKAMI Masashi, KIMURA Ami, GAO Siqiang, FURUHATA Ayako, **TAKAGI Akira**,
KOJIMA Tetsuhito, BANNO Yoshiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**
Regulatory mechanism of neutral sphingomyelinase 2 gene expression by daunorubicin in MCF-7 cells(抄録集)
第 80 回日本生化学会, 2007.12 (横浜)

SOBUE Sayaka, MURAKAMI Masashi, ITO Hiromi, KIMURA Ami, GAO Siqiang, FURUHATA Ayako, **TAKAGI Akira**,
KOJIMA Tetsuhito, BANNO Yoshiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**
Enhanced stabilition of sphingosine kinase 1 message half-life in v-Src transformed NIH3T3 cells(抄録集)
第 80 回日本生化学会総会, 2007.12 (横浜)

〔公開講座・講演会〕

野田明子

昼間の眠気予防に関する研究：睡眠覚醒コントロール

人と機械の健康的共生をめざして 第 1 回疲労，ストレスと健康 ，2007.1 (名古屋)

近藤高明

血中脂質

愛知県職員健康教室, 2007.3 (名古屋)

野田明子

心エコー法による心筋虚血評価

第 34 回名古屋心臓核医学医学研究会, 2007.4 (名古屋)

小嶋哲人

Xa 阻害薬の基礎と臨床 (Xa summit 2007)

Xa summit 2007, 2007.6 (東京)

横井豊治

呼吸器細胞診 (その他の病変) .

日本臨床細胞学会東海連合会細胞診基礎講習会, 2007.6 (名古屋)

近藤高明

高齢期の生活習慣病

名古屋大学ライフトピアシンポジウム, 2007.7 (名古屋)

近藤高明

血中脂質

愛知県職員健康教室, 2007.8 (名古屋)

永田浩三

日本人における心疾患エビデンス

ノバルティスファーマ社内研修会, 2007.9 (名古屋)

永田浩三

ミネラルコルチコイド受容体遮断の意義

第5回東海心血管系アルドステロン研究会, 2007.9 (名古屋)

永田浩三

特別講演「肥大心の病態」, 座談会のアドバイザー

Hypertension meeting 2007, 2007.10 (名古屋)

永田浩三

海外演者による講演の座長

Meet the Specialist in Nagoya, 2007.10 (名古屋)

永田浩三

ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬の心血管効果とその分子メカニズム

第5回関西 RAAS 研究会, 2007.10 (京都)

横井豊治

びまん性肺疾患の病理の基礎講座

第5回名古屋呼吸器領域卒後専門教育セミナー, 2007.10 (名古屋)

近藤高明

健康づくり研究・実践活動の発表会

厚生労働科学研究推進事業費による成果発表会, 2007.11 (東久留米)

横井豊治

スクリーニング解説

日本臨床細胞学会東海連合会細胞診実技講習会, 2007.11 (豊明)

近藤高明

健診結果の見方とこれからの健康管理

女性の健康診査・健康づくり教室, 2007.12 (尾張旭)

野田明子

SAS・循環器合併の予防

呼吸・循環セミナー, 2007.12 (名古屋)

理学療法学専攻

4 理学療法学専攻

〔著書〕

石田和人

変形性膝関節症

『障害別・ケースで学ぶ理学療法臨床思考 PBL で考え進める』(嶋田智明) 文光堂, 2007. pp 48-60

河上敬介, 宮津真寿美

第7章 筋系の解剖・生理学的基礎と治療技術の展開 筋系の解剖・生理学的基礎

『系統別・治療手技の展開 改訂第2版』(奈良 勲, 黒澤和生, 竹井 仁) 協同医書出版社, 2007. pp 159-175

河上敬介, 宮津真寿美

第6章 機械刺激による骨格筋の応答

『筋機能改善の理学療法とそのメカニズム 理学療法の科学的基礎を求めて (第2版)』(望月 久, 山田 茂) ナップ, 2007. pp 138-154

鈴木重行, 中山彰一

理学療法

『プライマリケアのための整形外科疼痛マニュアル』(菊池臣一) 金原出版, 2007. pp 97-107

鈴木重行, 平野幸伸, 鈴木敏和

(全体執筆)

『アクティブIDストレッチング』(鈴木重行) 三輪書店, 2007.

内山 靖

理学療法の基盤

『理学療法概論第5版』(奈良勲) 医師薬出版株式会社, 2007. pp 17-37

内山 靖

みんなで考えよう 問題基盤型学習 (PBL) による自己決定・主導型協同学習

『理学療法のとらえかた PART4』(奈良 勲・内山 靖) 文光堂, 2007. pp 99-111

内山 靖

平衡障害

『理学療法技術ガイド第3版』(石川 斉・武富由雄) 文光堂, 2007. pp 214-222

山田純生, 河野裕治

有酸素運動とレジスタンストレーニング

『心臓リハビリテーション』(濱本 紘・野原隆司) 最新医学社, 2007. pp 42-51

〔原著論文〕

加藤智香子, 猪田邦雄, 原田 敦, 長屋政博, 徳田治彦

施設入所高齢者の転倒恐怖と QOL, ADL, 身体活動量との関連

Osteoporosis Japan 15(2): 317-319, 2007

井上貴行, 沖田 実, 高橋裕司, 原田裕司, 鈴木重行

不動終了後のラットヒラメ筋に対する間歇的伸張運動が関節可動

理学療法学 34: 1-9, 2007

IWATA Masahiro, HAYAKAWA Kimihide, MURAKAMI Taro, NARUSE Keiji, KAWAKAMI Keisuke, INOUE-MIYAZU Masumi, YUGE Louis, **SUZUKI Shigeyuki**

Uniaxial cyclic stretch-stimulated glucose transport is mediated by a Ca^{2+} -dependent mechanism in cultured skeletal muscle cells

Pathobiology 74(3): 159-168, 2007

高木 聖, 森 紀康, 石原正博, 山本大海, 川口 学, 鈴木重行

短下肢装具の足関節背屈制動に関する一考察

日本義肢装具学会誌 23(2): 163-168, 2007

田中宏明, 足立 宗, 田中由布子, 中村優希, 森 紀康, 今村康宏, 高木 聖, 鈴木重行

理学療法士の救命処置に対する意識の実態調査

愛知県理学療法士会誌 19(2): 97-103, 2007

林 琢磨, 上田周平, 片上智江, 桑原道生, 小竹伴照, 有馬征宏, 鈴木重行

骨格筋電気刺激が糖負荷後の血糖値変動に及ぼす影響

理学療法 24(4): 618-623, 2007

SATO Koichi, **TORIHASHI Shigeko**, HORI Masatoshi, NASU Tetsuyuki, OZAKI Hiroshi

Phagocytotic activation of muscularis resident macrophages inhibits smooth muscle contraction in rat ileum

J Vet Med Sci 69(10): 1053-1060, 2007

TORIHASHI Shigeko, KUWAHARA Masaki, KURAHASHI Masaaki

In vitro developmental model of the gastrointestinal tract from mouse embryonic stem cells.

Nagoya J Med Sci 69(3,4): 133-137, 2007

松田 梢, 内山 靖

本邦における「痙縮筋に対する筋力増強運動」についての理学療法士の認識

理学療法科学 22(4): 515-520, 2007

橋立博幸, 内山 靖

歩行予備能の信頼性と妥当性

日本老年医学会雑誌 1: 1, 2007

樋口大輔, 内山 靖

頸髄症の術後回復過程の特徴

理学療法科学 1: 1, 2007

山田純生, 長谷部武久, 井澤英夫, 大宮一人, 大野三良, 加藤林也, 室原豊明, 横田充弘

慢性心不全リハの阻害要因を考える 慢性心不全の不安・抑うつへの運動介入をどうとらえるか

心臓リハビリテーション 12(1): 47-51, 2007

〔総説・解説・その他〕

山田優子, 林 久恵

末梢循環障害をもたらす足部機能障害と理学療法

理学療法 24: 711-719, 2007

河上敬介, 磯貝 香

頸部後面の筋の形と位置

メディカルプレス・理学療法 24: 894-899, 2007

河上敬介, 宮津真寿美, 縣 信秀, 磯貝 香, 小林邦彦

前鋸筋の上部筋腹の形と位置および筋連結

メディカルプレス・理学療法 24: 659-663, 2007

河上敬介, 宮津真寿美, 縣 信秀, 磯貝 香

前鋸筋の下部筋腹の形と位置

メディカルプレス・理学療法 24: 531-535, 2007

河上敬介, 宮津真寿美, 磯貝 香

広背筋と大円筋の形と位置

メディカルプレス・理学療法 24: 411-415, 2007

河上敬介, 宮津真寿美, 縣 信秀, 磯貝 香, 小林邦彦

背部の筋の形と位置

メディカルプレス・理学療法 24: 786-791, 2007

河上敬介, 今井和泉, 磯貝 香

内転筋群の形と位置(2)

メディカルプレス・理学療法 24: 291-295, 2007

河村守雄

三位一体型の腰痛再発予防運動の展開 開かれた大学をめざして

健康文化振興財団紀要 : 25-31, 2007

平野幸伸, 鈴木重行

筋と関節に働きかける治療 理学療法

ペインクリニック 28: 448-457, 2007

鈴木重行

運動器の痛みのアセスメント

MB Med Reha 79: 30-38, 2007

内山 靖

ICF に基づく理学療法の展望と課題

理学療法学 34: 99-102, 2007

山田純生, 岩津弘太郎, 三好都子, 清水優子

慢性心不全

総合リハビリテーション 35: 31-36, 2007

飯田有輝, 山田純生

慢性心不全における栄養管理と運動療法の関わり

理学療法ジャーナル 41: 471-478, 2007

山田純生, Neil Gordon

心臓リハビリテーション 遠隔医療を利用した在宅プログラムの実際と効果

Modern Physician 27: 225-227, 2007

Neil Gordon, 山田純生

二次予防における生活習慣介入の役割 課題, 機会, その解決策

心臓リハビリテーション 12: 10-15, 2007

〔科研費・班研究等〕

加藤智香子, 猪田邦雄 (研究協力者)

骨折予防技術の QOL に関する効果

大腿骨頸部骨折予防技術による施設介護高齢者の転倒恐怖緩和, 生活機能及び QOL の維持・向上に関する研究 平成 18 年度

厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業総括研究報告書 1: 29-35, 2007

河上敬介, 宮津真寿美, 田中英一, 山本創太

どのくらいの張力で筋の萎縮抑制がおこるか?

平成 17 年度 ~ 平成 18 年度科学研究費補助金 (基盤研究 C) 報告書, 2007

木山喬博, 河上敬介, 長谷和徳, 宮津真寿美

詳細な人体解剖情報を加えた, 新しい筋骨格コンピュータモデルによる関節運動の解析

平成 18 年度科学研究費補助金 (萌芽研究) 実績報告書雑誌名 1: 1, 2007

〔学会発表〕

KIYOSHIMA Daisuke, **KAWAKAMI Keisuke**, HAYAKAWA Kimihide, TATSUMI Hitoshi, SOKABE Masahiro

Mechanically induced clathrin-dependent endocytosis of integrin in endothelial cells. (The Journal of Physiological Sciences 57(Suppl.):S132, 2007)

第 84 回日本生理学会, 2007.3 (大阪)

倉橋正明, 鳥橋茂子

PDGF シグナルはマウス胎児腸管の外縦走筋の発生に重要な役割を果たす (全国学術集会抄録集 p204, 2007)

日本解剖学会第 112 回総会 Acta Anatomica Nipponica, 2007.3 (大阪)

石田和人

脳を知る

名古屋大学ライフトピアシンポジウム「高齢化社会の認知症」, 2007.3 (名古屋)

鳥橋茂子, 倉橋正明

消化管平滑筋層の発生に関わる PDGF シグナル (全国学術集会抄録集 p96, 2007)

日本解剖学会第 112 回総会 Acta Anatomica Nipponica, 2007.3 (大阪)

勝水健吾, 河村守雄

超音波照射が異所性骨化に及ぼす影響 組織学的検討 (理学療法学: Vol.32(sup2))

第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.4 (新潟)

TORIHASHI Shigeko, KURAHASHI Masaaki

In vitro formation of gut-like structures from mouse ES cells and developmental study using this system(Book of Abstract pp14-15,2007)

4th Pfizer Science and Research Symposium, 2007.4 (Nagoya)

TORIHASHI Shigeko, HATTORI Takako, HASEGAWA Hirotaka, KURAHASHI Masaaki

In vitro gut formation from mouse ES cells as an useful tool for developmental study(Abstract p75,2007)

21st International Symposium on Neurogastroenterology and Motility, 2007.4 (Jeju, Korea)

川島隆史, 縣 信秀, 笹井宣昌, 宮津真寿美, 山本創太, 河上敬介

ラット足関節背屈運動を制御し, 同時に関節トルクを測定できる装置の開発 (理学療法の医学的基礎 11 (1) 24)

第 12 回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2007.5 (新潟)

片岡亮人, 縣 信秀, 笹井宣昌, 宮津真寿美, 河上敬介

周期的伸張刺激の日内頻度と筋萎縮抑制効果の関係について (理学療法学 34 (Suppl.No. 2): 239, 2007)

第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

笹井宣昌, 縣 信秀, 宮津真寿美, 河上敬介, 早川公英, 小林邦彦

伸張刺激による培養骨格筋細胞肥大の分子メカニズム MEK/ERK 経路を抑制しても筋細胞が肥大した (理学療法学 34 (Suppl. No. 2): 234, 2007)

第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

縣 信秀, 笹井宣昌, 宮津真寿美, 河上敬介, 早川公英, 小林邦彦

周期的伸張刺激による筋萎縮抑制は蛋白質合成経路の mTOR が関与する (理学療法学 34 (Suppl. No. 2): 240, 2007)

第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

石田章真, 渡邊裕介, 石田和人

脳出血モデルラットにおける CI 療法の効果に関する検討 (理学療法学 Vol.34, Supple 2, p 605, 2007)

第 41 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

清島大資, 河上敬介, 辰巳仁史, 早川公英, 曾我部正博

機械刺激により引き起こされるクラスリン依存性エンドサイトーシスによる接着斑の消失について (理学療法の医学的基礎 11 (1) 26)

第 12 回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2007.5 (新潟)

太田秀樹, 伊藤琴美, 八木 了, 太田 進

肩の夜間痛に対するサポーターの製作

第 14 回義肢装具士協会学術大会, 2007.5 (名古屋)

井上貴行, 原田裕司, 沖田 実, 高橋裕司, 萩原竜佑, 鈴木重行

異なる様式の伸張運動が関節可動域と筋線維におよぼす影響 ラット尖足拘縮モデルを用いた検討 (理学療法学)

第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

坂野裕洋, 沖田 実, 井上貴行, 鈴木重行, 小林由依, 高浪美香, 林 綾子, 吉田奈央

事前の熱刺激が再荷重によって起こる筋線維損傷に与える予防効果 後肢ギプス固定モデルラットを用いての検討 (理学療法学)

第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

西浜かずり, 服部真理, 岩田全広, 平澤 純, 鈴木重行

培養骨格筋細胞に電気刺激を与えると p70S6k がリン酸化される (理学療法学)

第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

井上貴行, 原田裕司, 沖田 実, 高橋裕司, 萩原竜佑, 鈴木重行
異なる様式の伸張運動が関節可動域と筋線維におよぼす影響 ラット尖足拘縮モデルを用いた検討 (理学療法学)
第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

岩田全広, 鈴木勝也, 馬渡敬介, 沖田 実, 鈴木重行
ラットの遅発性筋痛における病理組織学的変化
第 3 回日本ペインリリース研究会学会大会, 2007.5 (大阪)

小澤佑介, 原田慎一, 内山 靖
脳卒中片麻痺者における姿勢傾斜および姿勢認知の障害は何を意味するか
第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

内山 靖, 臼田 滋, 吉田剛ほか
国際生活機能分類に基づく疾患非特異的な評価指標の検証
第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

内山 靖, 山路雄彦, 坂本雅昭ほか
客観的臨床能力試験 (OSCE) は学内成績および臨床実習教育とどのような関係があるか
第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

松田 梢, 内山 靖
痙縮筋に対する筋力増強運動は有効か? 小規模 RCT による介入効果の検証
第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

松田 梢, 内山 靖
痙縮筋に対する筋力増強運動についての理学療法士の認識
第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

栗原慶太, 新井智之, 内山 靖
高齢者に対する立ち上がり着座テストはどのような体力構成要素をはんえいしているのか
第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

橋立博幸, 内山 靖
歩行の予備能は高齢者において重要な臨床指標となる
第 42 回日本理学療法学会大会, 2007.5 (新潟)

IWATA Masahiro, HAYAKAWA Kimihide, MURAKAMI Taro, NARUSE Keiji, **KAWAKAMI Keisuke**, **INOUE-INOUE-MIYAZU Masumi**, **SUZUKI Shigeyuki**

The Release of Calcium from Sarcoplasmic Reticulum is Essential for Stretch-stimulated Glucose Transport in Cultured Skeletal Muscle Cells.(Physiotherapy)

15th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, 2007.6 (Vancouver Canada)

OTA Susumu, NAKASHIMA Takeshi, MORISAKA Ayako, **KAWAMURA Morio**, IDA Kunio

Comparison of the patellar mobility in female adults with and without patellofemoral pain

World Confederation for Physical Therapy, 2007.6 (Canada)

INOUE Takayuki, OKITA Minoru, TAKAHASHI Yuji, HARADA Yuji, HAGIWARA Ryusuke, **SUZUKI Shigeyuki**
Effect of intermittent stretching on disuse muscle atrophy and muscle contracture in rat soleus muscle(Physiotherapy)
15th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, 2007.6 (Vancouver Canada)

Okita Minoru, Banno Yasuhiro, Hibino Itaru, Inoue Takayuki, Suzuki Shigeyuki
Oral administration of geranylgeranylacetone induce expression of heat shock protein 70 in mice soleus muscle (Physiotherapy)
15th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, 2007.6 (Vancouver Canada)

BANNNO Yasuhiro , OKITA Minoru , INOUE Takayuki , **SUZUKI Shigeyuki**
Effects of heat stress on muscle fibers damage in reloading after immobilized rat soleus muscle(Physiotherapy)
15th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, 2007.6 (Vancouver Canada)

IIDA Yuki, **YAMADA Sumio**, NISHIDA O
RESPIRATORY MUSCLE WEAKNESS AFTER CARDIAC SURGERY IS RELATED TO PROINFLAMMATORY CYTOKINE(Physiotherapy)
15th International Congress of The World Confederation for Physical Therapy, 2007.6 (Vancouver, Canada)

KAMIYA M, **YAMADA Sumio**, YAGI R, NAKAGAWA M, OHNO O, WATANABE T
NEUROMUSCULAR ELECTRICAL STIMULATION TO THE LOWER EXTREMITY AFTER CARDIAC SURGERY:
A RANDOMIZED CONTROLLED TRIAL(Physiotherapy)
15th International Congress of The World Confederation for Physical Therapy, 2007.6 (Vancouver, Canada)

SATONAKA A, SUZUKI N, ITOH Y, **KAWAMURA Morio**
Maximal aerobic power and physical activities of challenged people.(J Biomec 40(S2): S237, 2007.)
21th Congress of the International Society of Biomechanics, 2007.7 (Taipei)

SATONAKA A, SUZUKI N, ITOH Y, **KAWAMURA Morio**
Analysis of frequency distribution of continuous heart rates of challenged people on weekday and weekends. (J Biomec 40(S2): S236, 2007.)
21th Congress of the International Society of Biomechanics, 2007.7 (Taipei)

平敷安希博, 井澤英夫, 原田 憲, 小林正和, 因田恭也, 山田純生, 横田充弘, 室原豊明
若年の肺動脈性肺高血圧症患者に対する運動療法の効果を検討した 2 症例 (日本心臓リハビリテーション学会誌 12(Suppl.): 110,2007)
第 13 回日本心臓リハビリテーション学会, 2007.7 (東京)

三好都子, 上坂建太, 清水優子, 河野裕治, 祖父江俊和, 加藤林也, 山田純生
心疾患患者の塩分制限セルフ・エフィカシーと推定食塩摂取量との関連 (日本心臓リハビリテーション学会誌 12(Suppl.): 110,2007)
第 13 回日本心臓リハビリテーション学会, 2007.7 (東京)

飯田有輝, 山田純生
冠動脈バイパス術後患者の術前 Body Mass Index は術後のサイトカイン産生と呼吸筋力に関連する (日本心臓リハビリテーション学会誌 12(Suppl.): 110,2007)
第 13 回日本心臓リハビリテーション学会, 2007.7 (東京)

中島將宏，山田純生

一過性睡眠不足は運動時の主観的強度と生理学的強度の関連性を変動させる (日本心臓リハビリテーション学会誌 12(Suppl.): 110,2007)

第 13 回日本心臓リハビリテーション学会, 2007.7 (東京)

山田純生，鈴木 誠，清水優子，河野裕治，上坂建太，矢野秀典

生活機能とヘルシーエイジング 生活機能低下をどう予防するか (第 15 回日本運動生理学大会プログラム・抄録集)

第 15 回日本運動生理学大会, 2007.7 (秋田)

作井大介，山田純生

高速度トレーニングによる呼吸困難感改善効果に関する研究 (日本心臓リハビリテーション学会誌 12(Suppl.): 110,2007)

第 13 回日本心臓リハビリテーション学会, 2007.7 (東京)

岩津弘太郎，山田純生

胸郭拘束による運動時呼気終末排気量の変化に関する検討 (第 62 回日本体力医学会大会予稿集)

第 62 回日本体力医学会大会, 2007.9 (秋田)

加藤智香子，猪田邦雄

介護施設女性高齢者の Quality of Life に対する ADL の関連 (日本公衆衛生雑誌 54(10): 502, 2007)

第 66 回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (松山)

斉藤拓也，加藤智香子

高齢者における転倒と反応時間について (第 23 回東海北陸理学療法学会大会誌: 68, 2007)

第 23 回東海北陸理学療法学会大会, 2007.10 (名古屋)

中島由季，加藤智香子

地域在住高齢者の足部の問題と関連因子の検討 (転倒予防医学研究会第 4 回研究集会 プログラム・抄録集 pp102, 2007)

第 4 回転倒予防医学研究会研究集会, 2007.10 (京都)

大森祐介，山本 実，内藤幸子，佐藤仁俊，内藤幸子，太田 進，森嶋直人

自在曲線定規を用いた性別および腰痛有無別の背部矢状面形態

第 23 回東海北陸理学療法士学会大会, 2007.10 (名古屋)

伊藤沙夜香，湯口 聡，鷺見理香，石川貴子，牧野恵理子，林 歩洋，渡井陽子，林 久恵，熊田佳孝，古橋 究一，鳥山 高伸，川原 弘久

下肢血行再建術後の健康関連 QOL の変化～炭酸泉継続群と非継続群の比較～

第 12 回人工炭酸泉研究会, 2007.11 (東京)

牧野恵理子，渡井陽子，湯口 聡，鷺見理香，伊藤沙夜香，林 久恵，熊田佳孝，古橋究一，鳥山高伸，川原弘久

炭酸泉足浴における経皮的酸素分圧・二酸化炭素分圧の変化～足趾切断群と保存経過群の比較～

第 12 回人工炭酸泉研究会, 2007.11 (東京)

ARFAJ A., YATES C., REESE N., **ISHIDA Kazuto**, SKINNER R.D., GARCIA-RILL E.

Changes in the H-reflex after spinal cord injury: a longitudinal study in awake rats.(Neuroscience 2007)

Society for Neuroscience 37rd annual meeting, 2007.11 (San Diego, USA)

OTA Susumu, NAKASHIMA Takeshi, MORISAKA Ayako, YAGI Ryo, OISHI Yukiyooshi, **KAWAMURA Morio**

The relevance between patellar mobility and knee motion in patients with knee osteoarthritis after total knee arthroplasty (JBSE 2(suppl.): s29, 2007)

Third Asia Pacific conference on Biomechanics, 2007.11 (東京)

山田純生

慢性心不全患者における臨床症状, 抑うつと運動介入 (日本精神障害者リハビリテーション学会 第15回名古屋大会)

日本精神障害者リハビリテーション学会 第15回名古屋大会, 2007.11 (名古屋)

SATONAKA A, SUZUKI N, ITOH Y, **KAWAMURA Morio**

Reliability of RPE during exercise for challenged people.

Asia-Pacific Conference on Exercise and Sports Sciences 2007, 2007.12 (Hiroshima)

〔公開講座・講演会〕

太田 進

整形外科疾患のリハビリテーション 臨床のヒント

第17回愛知県理学療法学会, 2007.2 (刈谷)

鈴木重行

肩関節周囲筋に対するIDストレッチング

奈良肩関節フォーラム, 2007.2 (奈良)

河村守雄

運動療法とリハビリテーション(1)

愛知県医師会健康スポーツ医研修会(1), 2007.3 (名古屋)

鈴木重行

肩こりに対する理学療法—広汎性侵害抑制調節(DNIC)とIDストレッチング—

肩こらん会, 2007.3 (旭川)

鈴木重行

慢性痛のメカニズム

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会, 2007.3 (東京)

河上敬介

運動器を三次元で捉えるための解剖観察 (社団法人分県理学療法士協会第34回研修会)

社団法人分県理学療法士協会第34回研修会, 2007.4 (名古屋)

内山 靖

ICFの展開

岩手県理学療法士会, 2007.5

河村守雄

運動療法とリハビリテーション(2)

愛知県医師会健康スポーツ医研修会(2), 2007.6 (名古屋)

山田純生

慢性心不全の疾病管理と運動療法 (循環器疾患とリハビリテーション懇話会)
, 2007.6 (岐阜)

加藤智香子

エビデンスに基づく高齢者転倒・骨折予防
平成 19 年度職業人向け公開講座「健康開発のための運動基礎理論」, 2007.7 (名古屋)

河上敬介, 清島大資, 縣信秀

PT に必要な筋の構造と触察法 肩関節周辺の筋を中心として (社団法人岐阜県理学療法士会平成 19 年度生涯学習部研修会)
社団法人岐阜県理学療法士会平成 19 年度生涯学習部研修会, 2007.7 (美濃加茂)

河村守雄

背骨はからだの大黒柱 腰痛からのがれるために
尾張旭市高齢者教室講演, 2007.7 (尾張旭)

鈴木重行

腰痛とストレッチング
コツコツふくしま腰痛市民公開講座～おらが福島の腰痛事情, 2007.7 (福島)

山田純生

健康のための体づくりのコツは何か (ライフトピア講演会)
, 2007.7 (名古屋)

山田純生

理学療法におけるリスク管理 (沖縄県理学療法士会講習会)
, 2007.7 (沖縄)

加藤智香子, 猪田邦雄

転倒予防について
平成 19 年度なごや健康カレッジ「転ばん大幸教室」, 2007.8 (名古屋)

河村守雄

骨粗鬆症にうち勝つために (3)
尾張旭市骨粗鬆症検診講演 (31), 2007.8 (尾張旭)

河村守雄

骨粗鬆症にうち勝つために (2)
尾張旭市骨粗鬆症検診講演 (2), 2007.8 (尾張旭)

河村守雄

骨粗鬆症にうち勝つために (1)
尾張旭市骨粗鬆症検診講演 (1), 2007.8 (尾張旭)

太田 進

膝, 肩関節のリハビリテーション 臨床のヒント
名古屋理学療法研究会, 2007.8 (名古屋)

鈴木重行

ID ストレッチング

日本理学療法士協会第 888 回現職者講習会, 2007.8 (名古屋)

鈴木重行

ID 触診術・ID ストレッチング

国際医療福祉大学理学療法研究会, 2007.8 (大田原)

加藤智香子

骨粗鬆症について

平成 18 年度なごや健康カレッジ「転ばん大幸教室」再会教室, 2007.9 (名古屋)

河村守雄

腰痛の予防とリハビリテーション

東三河運動器リハビリテーション研究会講演, 2007.9 (豊橋)

河村守雄

運動療法とリハビリテーション(3)

愛知県医師会健康スポーツ医研修会(3), 2007.9 (名古屋)

内山 靖

臨床運動学に基づく治療指向的評価

日本理学療法士協会(現職者講習会), 2007.9

石田和人

脳と環境と理学療法(第 23 回東海北陸理学療法学会学術大会プレコンgresセミナー)

第 23 回東海北陸理学療法学会学術大会プレコンgresセミナー, 2007.10 (名古屋)

加藤智香子

転倒・骨折を防ぐためには

平成 19 年度名古屋大学医学部保健学科市民公開講座「健やかに過ごすためのリハビリテーション」, 2007.10 (名古屋)

太田 進

運動機能向上への取り組みについて

豊橋市介護保険等事業者連絡会, 2007.10 (豊橋)

太田 進

膝の痛みを防ぐためには

名古屋大学市民公開講座, 2007.10 (名古屋)

鈴木重行

痛みの病態生理

第 15 回日本物理療法学会学術大会, 2007.10 (福岡)

河上敬介

運動刺激における筋の可塑性とそのメカニズム 基礎知識から分子メカニズムまで (社団法人長野県理学療法士会第 9 回市民公開研修会)

社団法人長野県理学療法士会第 9 回市民公開研修会, 2007.11 (松本)

鈴木重行

徒主的疼痛抑制法とIDストレッチング

第15回日本腰痛学会, 2007.11 (大阪)

内山 靖

理学療法士アイデンティティの追求

沖縄県理学療法士学会, 2007.11

山田純生

心不全に対する運動介入は病態進行のカウンターメジャーとなるか (臨床心不全研究会)

, 2007.11 (名古屋)

太田 進

知って得する高齢者の運動と地域におけるリハビリテーション

豊橋創造大学市民公開講座, 2007.12 (豊橋)

内山 靖

症候障害学に基づく理学療法モデルと臨床思考過程

東北ブロック理学療法学会, 2007.12

作業療法学専攻

5 作業療法学専攻

〔著書〕

後藤真也

第2章 2. 介護保険における訪問リハビリテーションの制度について

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル スモン患者さんのかかりつけ医，リハスタッフのための手引き〔改訂版〕』（松岡幸彦）厚生労働省科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業） スモンに関する調査研究班, 2007. pp 25-32

竇珠山 稔, 杉村公也, 美和千尋, 清水英樹, 伊藤恵美, 森 明子, 後藤真也

リハスタッフのためのスモン患者さんへの訪問リハビリテーションの経済的側面

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル 改訂版』（松岡幸彦編集）厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班, 2007. pp 58-60

竇珠山 稔, 杉村公也, 美和千尋, 清水英樹, 伊藤恵美, 森 明子, 後藤真也

スモン患者さんの日常生活

『スモン患者さんの訪問リハビリテーションマニュアル 改訂版』（松岡幸彦編集）厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班, 2007. pp 12-16

竇珠山 稔, 杉村公也, 美和千尋, 清水英樹, 伊藤恵美, 森 明子, 後藤真也

医療保険での訪問リハビリテーション

『スモン患者さんへの訪問リハビリテーションマニュアル 改訂版』（松岡幸彦編集）厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班, 2007. pp 33-35

辛島千恵子

外傷性脳損傷

『作業療法士のイエローノート専門編』（鷲田孝保）メジカルビュー社, 2007. pp 412-414

辛島千恵子

二分脊椎

『作業療法士のイエローノート専門編』（鷲田孝保）メジカルビュー社, 2007. pp 407-409

辛島千恵子

代謝・内分泌性疾患

『作業療法士のイエローノート専門編』（鷲田孝保）メジカルビュー社, 2007. pp 438-439

辛島千恵子

先天奇形

『作業療法士のイエローノート専門編』（鷲田孝保）メジカルビュー社, 2007. pp 410-411

辛島千恵子

呼吸・循環器障害

『作業療法士のイエローノート専門編』（鷲田孝保）メジカルビュー社, 2007. pp 432-435

辛島千恵子

腎疾患（小児ネフローゼ症候群）

『作業療法士のイエローノート専門編』（鷲田孝保）メジカルビュー社, 2007. pp 436-437

辛島千恵子

末梢神経麻痺（分娩麻痺）

『作業療法士のイエローノート専門編』（鷲田孝保）メジカルビュー社, 2007. pp 421-423

美和千尋

VI. 精神障害 -統合失調症に対する社会生活支援-

『標準作業療法学 社会生活行為学』(田川義勝, 濱口豊太) 医学書院, 2007. pp 342-345

田川義勝, 濱口豊太, 澤 俊二, 岩永竜一郎, 菊池恵美子, 桐本 光, 脇本之博, 鬼頭伴周, 土嶋政宏, 大山峰生, 能登真一, 篠崎雅江, 福田恵美子, 田平隆行, 今井 潤, 中村 剛, 松井 学, 美和千尋, 山田恭子, 伊藤恵美

高齢障害 下肢機能障害に対する福祉用具と住宅改修

『標準作業療法学 専門分野 社会生活行為学』(矢谷令子監修 田川義勝・濱口豊太編集) 医学書院, 2007. pp 323-329

〔原著論文〕

竇珠山 稔

聴覚 MMN と adaptation 反応

臨床脳波 49: 740-744, 2007

UEMURA Jun-Ichi, **HOSHIYAMA Minoru**

Variability of P300 in elderly patients with dementia during a single day

Int J Rehabil Res 30:167-170, 2007

NOGUCHI Yasuyuki, TANABE Hiroki C, SADATO Norihiko, **HOSHIYAMA Minoru**, KAKIGI Ryusuke

Voluntary attention changes the speed of perceptual neural processing

Eur J Neurosci 25: 3163-3172, 2007

HOSHIYAMA Minoru, OKAMOTO Hidehiko, KAKIGI Ryusuke

Priority of repetitive adaptation to mismatch response following indiscriminable auditory stimulation: a magnetoencephalographic study

Eur J Neurosci 25: 854-862, 2007

AKATSUKA Koji, WASAKA Toshiaki, NAKATA Hiroki, KIDA Takashi, **HOSHIYAMA Minoru**, TAMURA Yohei, KAKIGI Ryusuke

Objective examination for two-point stimulation using a somatosensory oddball paradigm: an MEG study

Clin Neurophysiol 118: 403-411, 2007

NOGUCHI Yasuyuki, SHIMOJO Shinsuke, KAKIGI Ryusuke, **HOSHIYAMA Minoru**

Spatial contexts can inhibit a mislocalization of visual stimuli during smooth pursuit

J Vis 7: 1-15, 2007

慶野裕美, 美和千尋, 川喜田健司, 細川昌則, 慶野宏臣

広汎性発達障害児に見られた乗馬の効果

ヒトと動物の関係学会誌 18: 45-51, 2007

橋本明日香, 美和千尋

老人保健施設デイケアの効果～活動量と Quality Of Life～

岐阜作業療法 10: 21-25, 2007

鈴村恵理, 出口 晃, 浜口 均, 川村陽一, 田中紀行, 川村直人, 川村憲市, 美和千尋, 杉村公也

健常人における温泉浴の唾液分泌と唾液中分泌型 IgA 分泌に及ぼす影響

日本温泉気候物理医学会雑誌 70(3): 127-132, 2007

美和千尋, 小川祐美子

T 病院デイケア通所者における社会福祉制度の理解とその利用は進んでいるか
愛知県作業療法 15: 3-7, 2007

美和千尋, 杉村公也, 白石成明, 田中紀行, 川村陽一, 出口 晃, 鈴木恵理

足浴が高齢者の鼓膜温, 発汗量, 血圧心拍数に与える影響

日本温泉気候物理医学会雑誌 70(2): 84-88, 2007

美和千尋, 杉村公也, 白石成明, 田中紀行, 川村陽一, 出口 晃, 鈴木恵理

足浴が片麻痺患者に及ぼす影響

日本温泉気候物理医学会雑誌 70(4): 209-214, 2007

深津孝英, 前川和範, 鈴木國文, 天野直二, 兼本浩祐

脳炎か急性精神病か? 致死性緊張病と非ヘルペス性辺縁系脳炎の異同をめぐって

精神科治療学 22(10): 1203-1216, 2007

S.Yamada, **SUZUKI Kunifumi**

Applicaton of Empowerment Scale to patients with Schizophrenia: Japanese experience

Psychiatry and Clinical Neurosciences 61(6): 594-601, 2007

鈴木國文

現在の精神科医療に欠けているもの 「ストレス」と「うつ」の医療を越えて

精神科治療学 22(2): 201-206, 2007

〔総説・解説・その他〕

辛島千恵子

過去 10 年間に掲載された論文の分析と投稿のすすめ: 発達障害領域の論文から学ぶ実践とこれからの研究

作業療法 26: 246-252, 2007

田中宣秀, 船津静代, 杉村和美, 小川豊昭, 鶴田和美, 加藤容子, 津田 均, 古橋忠晃, 鈴木國文

大学から社会への移行問題

名古屋大学学生相談総合センター紀要 (6): 3-10, 2007

鈴木國文, 鶴田和美, 杉村和美, 加藤容子, 小川豊昭, 津田 均, 古橋忠晃, 田中宣秀, 船津静代

学生相談総合センターにおける研究のこれまでとこれから

名古屋大学学生相談総合センター紀要 (6): 36-46, 2007

〔科研費・班研究等〕

寶珠山 稔, 伊藤恵美, 杉村公也, 美和千尋, 清水英樹, 後藤真也

スモン患者におけるリハビリテーションの必要性 訪問検診受診者の症例より

厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班平成 18 年度総括・分担研究報告書雑誌名

104-107, 2007

〔その他の印刷物等〕

伊藤恵美

アジア太平洋作業療法学会報告

愛知県作業療法士会ニュース: 1, 2007

辛島千恵子

生活力をつけることから、食事、着がえ、清潔指導の実際
発達障害をもつ子や「気になる子」への保育・指導発達協会 1: 1, 2007

辛島千恵子

子どもの生活を広げる家族支援
第 41 回日本作業療法学会誌 抄録集 p39 : , 2007

〔学会発表〕

杉村実希, 寺田裕子, 清水英樹
患者の ADL 能力を効果的に引き出すための申し送り 能力発揮度からのアプローチ ~ (抄録集 p 79)
全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会第 9 回研究大会, 2007.2 (熊本)

川合利枝, 堀北友絵, 小田美咲, 清水英樹

当院独自の食事評価表の開発とその有効性 (抄録集 p 98)
全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会第 9 回研究大会, 2007.2 (熊本)

美和千尋, 水口和代, 久野裕子, 山内邦夫

愛知県における新人教育プログラムの実態と動向 (プログラム)
第 15 回愛知県作業療法学会, 2007.4 (名古屋)

板倉光智, 川村直人, 鈴村恵理, 出口 晃, 浜口 均, 高瀬幸次郎, 大倉誉暢, 川村陽一, 美和千尋, 杉村公也

かゆみを訴える維持透析患者に対するアーム浴の試み (プログラム・抄録集)
第 72 回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会, 2007.5 (足柄下郡箱根町)

美和千尋, 白石成明, 田中紀行, 杉村公也, 川村陽一, 出口 晃, 鈴村恵理, 岩瀬 敏

温泉水が胃電図および心拍変動に及ぼす影響 (プログラム・抄録集)
第 72 回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会, 2007.5 (足柄下郡箱根町)

鈴村恵理, 出口 晃, 浜口 均, 川村陽一, 川村直人, 田中紀行, 川村憲市, 美和千尋, 杉村公也

健常人における足浴の唾液分泌に及ぼす影響 (プログラム・抄録集)
第 72 回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会, 2007.5 (足柄下郡箱根町)

梅山 純, 大倉誉暢, 川村直人, 鈴村恵理, 出口 晃, 浜口 均, 高瀬幸次郎, 川村陽一, 美和千尋, 杉村公也

透析患者に対する温泉水を利用した下肢こむら返り予防の試み (プログラム・抄録集)
第 72 回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会, 2007.5 (足柄下郡箱根町)

ITO Emi, HATTA Takeshi, IWAHARA Akihiko, NAGAHARA Naoko

Time allocation of occupational engagement for the healthy elderly: relation to well being (4th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2007)

4th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, 2007.6 (Hong Kong, China)

森田亜矢子, 美和千尋, 石原美奈子, 小川祐美子, 光松由紀子

デイケア通所統合失調患者における日中の作業内容, 作業意識が QOL に及ぼす影響 (第 41 回日本作業療法学会プログラム)
第 41 回日本作業療法学会, 2007.6 (鹿児島)

美和千尋, 森田亜矢子, 石原美奈子, 光松由紀子, 小川祐美子
デイケア通所統合失調患者における運動量と生活の質との関係 (第 41 回日本作業療法学会プログラム)
第 41 回日本作業療法学会, 2007.6 (鹿児島)

SHIMIZU Hideki, RAIKAI Umi
Relations between outing and IADL and SDL in debilitated elderly persons
4th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, 2007.6 (Hong Kong, China)

伊藤恵美, 八田武志, 岩原昭彦, 永原直子
言語流暢性検査の鑑別能 (第 31 回日本神経心理学会)
神経心理学, 2007.9 (金沢)

永原直子, 八田武志, 伊藤恵美, 岩原昭彦
Stroop 検査標準化の試み (1) 妥当性の検討 (学会プログラム)
第 71 回日本心理学会, 2007.9 (東京)

鈴木國文
発達障害概念が統合失調症の病理学にもたらしたもの—言語と精神活動という視点から
30 回精神病理・精神療法学会, 2007.10 (倉敷)

鈴木國文
「芸術療法」という言葉, 使い心地が悪くないか 精神を病むこと, 「芸術」, そしてゴミ
39 回日本芸術療法学会, 2007.10 (東京)

浅野京子, 小松則登, 野邑健二
漢字学習に対する OT アプローチ 粗大運動を用いて (第 7 回東海北陸学会 第 7 巻 p75, 2007)
第 7 回東海北陸作業療法学会, 2007.11 (四日市)

浅野京子, 辛島千恵子
地域発達支援センターの母親に対する質問紙からわかること 第 1 報 子どもの育ちで「困っていること」「良くなったこと」(抄録集 p76)
第 7 回東海北陸作業療法学会, 2007.11 (四日市)

林 昌吾, 立松麻記子, 小西一馬, 河村留実香, 美和千尋
急性期病棟患者の心理教育における内容検討~アンケート調査から~ (第 7 回東海北陸作業療法学会誌)
第 7 回東海北陸作業療法学会, 2007.11 (四日市)

美和千尋, 杉村公也, 清水英樹, 伊藤恵美, 寶珠山 稔
スモン患者の基本移動動作時間と転倒回数との関係 (第 7 回東海北陸作業療法学会誌)
第 7 回東海北陸作業療法学会, 2007.11 (四日市)

小西一馬, 立松麻記子, 林 昌吾, 河村留実香, 美和千尋
当院の社会復帰病棟における心理教育の変遷 (第 7 回東海北陸作業療法学会誌)
第 7 回東海北陸作業療法学会, 2007.11 (四日市)

河村留実香, 豊福健一, 立松麻記子, 林 昌吾, 小西一馬, 美和千尋
高齢の慢性統合失調症患者を対象とした回想法の取り組み (第 7 回東海北陸作業療法学会誌)
第 7 回東海北陸作業療法学会, 2007.11 (四日市)

立松麻記子, 林 昌吾, 小西一馬, 河村留実香, 美和千尋
統合失調症患者の糖尿病に対する生活改善プログラム効果 (第7回東海北陸作業療法学会誌)
第7回東海北陸作業療法学会, 2007.11 (四日市)

SUZUKI Kunifumi

L'agressivité et la socialité— l'agression dans la société japonaise d'aujourd'hui(日仏医学コロク 2007, Colloque médical franco japonais 2007p25)
Colloque médical franco japonais, 2007.11 (東京)

〔公開講座・講演会〕

辛島千恵子
身辺自立の力をつける
中津川発達支援センター, 2007.8 (中津川)

伊藤恵美

家庭器機使用に関する調査研究 認知症(痴呆)予防における手段的ADL(IADL)の意義(Habilis Project 住まいと健やかな暮らし研究会)
Habilis Project 住まいと健やかな暮らし研究会 , 2007.9 (名古屋)

伊藤恵美

趣味活動で認知症予防(平成19年度名古屋大学医学部保健学科公開講座)
平成19年度名古屋大学医学部保健学科公開講座, 2007.10 (名古屋)

辛島千恵子

発達障害をもつ子どもと成人, 家族のためのADL
日本作業療法士協会, 2007.10 (名古屋)

辛島千恵子

情動の共有・共感から育む家族の育ち
中津川発達支援センター, 2007.11 (中津川)

辛島千恵子

発達障害をもつ子どもと成人, 家族のためのADL
福岡県士会主催, 2007.12 (福岡)

辛島千恵子

自尊感情を促す作業療法
日本発達障害ネットワーク, 2007.12 (名古屋)

編集後記

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報第11巻を発刊しました。第11巻には平成19年度（2007年度）の各専攻の教育・研究活動の報告と保健学科の公開講座、2007年（1月から12月）の各教員の教育・研究業績を掲載しました。

第1巻から第11巻までの研究・業績は以下の通りです。

	第1巻	第2巻	第3巻	第4巻	第5巻	第6巻	第7巻	第8巻	第9巻	第10巻	第11巻
	(1997年)	(1998年)	(1999年)	(2000年)	(2001年)	(2002年)	(2003年)	(2004年)	(2005年)	(2006年)	(2007年)
著書	17	39	55	56	38	33	74	70	90	100	107
原著論文	58	123	141	163	137	175	138	156	153	219	157
総説・解説・その他	64	61	92	106	58	76	81	39	98	100	86
科研費・班研究	6	12	10	26	23	19	28	27	30	34	32
その他印刷物等	10	14	26	18	13	9	20	20	11	18	14
学会発表	115	173	252	268	246	287	341	376	380	380	420
公開講座・講演会	45	73	96	102	70	72	86	99	85	78	102
計	315	495	672	739	585	671	768	787	847	929	918

平成18年度に保健学科は大学院博士課程修了者（学位授与者）をはじめて送り出した状況を反映してか、2006年は過去最も高い業績を示しました。2007年は原著論文の業績数が減少したけれど2006年度に相当する業績を上げることができました。

本年報が自己評価の一つの指標となり、教育・研究のさらなる発展に寄与できるように期待します。

最後に、本年報の編集作業に携わっていただいた保健学情報掛の職員の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成21年3月
年報編集委員長 長瀬文彦

年報編集委員

看護学専攻	鈴木和代
放射線技術学専攻	加藤克彦
検査技術科学専攻	長瀬文彦
理学療法学専攻	加藤智香子
作業療法学専攻	辛島千恵子

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報 第11巻

2009年3月15日 発行

発 行 名古屋大学医学部保健学科

〒461 8673 名古屋市東区大幸南一丁目1番20号

TEL(052)719 1504

印 刷 (株)荒川印刷

〒460 0012 名古屋市中区千代田二丁目16番38号

TEL(052)262 1006 (代表)
